SII by Franklin

ネットワーク電子辞書

岩波書店 広辞苑 第五版・逆引き広辞苑

学研 新版 漢字源・パーソナルカタカナ語辞典

大修館書店 ジーニアス英和大辞典

ジーニアス和英辞典 第2版

日立システムアンドサービス 百科事典 マイペディア 電子辞書版

オックスフォード大学出版局 オックスフォード現代英英辞典 OXFORD Advanced Learner's Dictionary 第6版

旺文社 ロイヤル英文法

The princeton Review Cracking the TOEIC®

TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS).This product is not endorsed or approved by ETS.

取扱説明書（保証書付）

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、各機能を十分にご理解の上、正しくお取り扱いくださいますようにお願い申し上げます。また、お読みになった後も大切に保管して下さい。

DB-J990

セイコーインスツル株式会社

・本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や誤り、
　記載漏れなど、お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。

〒272-0023　千葉県市川市南八幡3-21-10
セイコーインスツル株式会社「CPサービスセンター内『ネットワーク電子辞書サポートデスク』」電話：0570 - 004696
[受付時間] 9:00～12:00　13:00～17:00　月曜日～金曜日（土・日・祝日を除く）

〒261-8507　千葉県千葉市美浜区中瀬1-8
セイコーインスツル株式会社　パーソナル機器事業部

セイコーインスツル株式会社 ホームページ
http://www.sii.co.jp/

本製品に関する最新情報ホームページ
http://www.sii.co.jp/cp/n-dictionary/

This unit may change operating modes, lose information stored in memory, or fail to respond due to Electrostatic Discharge or Electrical fast transients. Normal operation of the unit may be re-established by pressing the reset key, by pressing ON/OFF, or by removing and replacing the batteries.

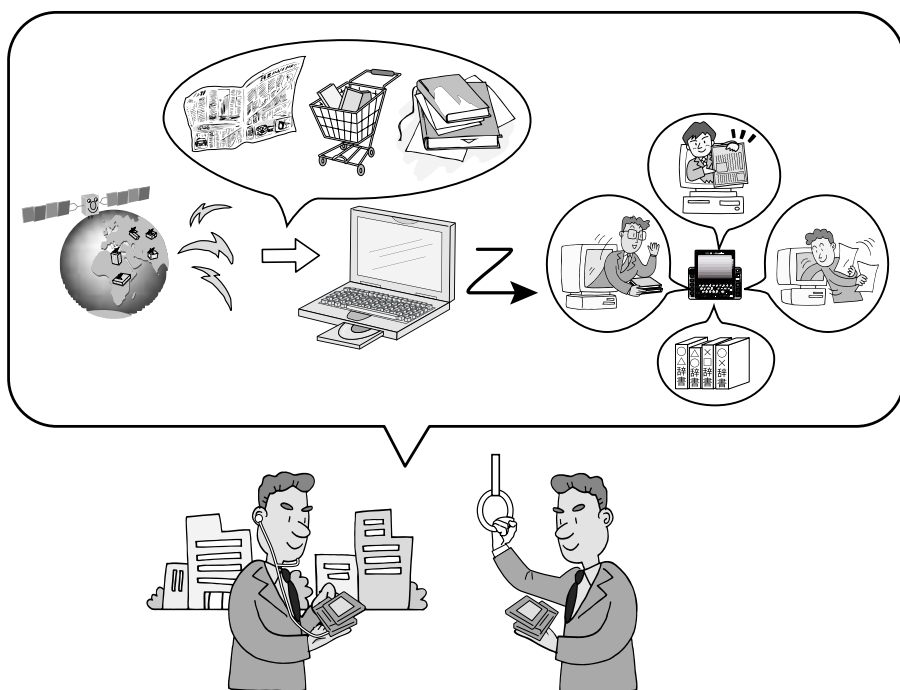
本製品は、充電式リチウムイオン電池を使用しています。
不要になった電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

＜最寄りのリサイクル協力店へ＞
詳細は、社団法人電池工業会小型二次電池再資源化推進センターホームページをご参照ください。
ホームページ:http://www.jbrc.com

はじめに

このたびは、ネットワーク電子辞書DB-J990をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、本章で製品の概略や本製品を使ってできることなどをご確認ください。また、本章の「安全上のご注意」と「取り扱い上のご注意」等をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ネットワーク電子辞書とは

パソコンを使って、お好きな電子書籍（英文書籍、青空文庫）や電子ニュース、オリジナル電子書類などのコンテンツを電子辞書（以降、単に本体と呼ぶ）に取り込んで持ち運び、いつでもどこでも取り込んだコンテンツを読むことを可能にした、SII by Franklinの新しいコンセプトの電子辞書の総称です。また、本体には、コンテンツを読むにあたって、各分野の辞書を内蔵していますので、わからないことばなど、即座に調べることもできます。あわせて、電卓やゲーム機能もありますので、お役だちパーソナルデバイスとしてお使いいただけます。

Mobipocket Reader Desktopとは

付属のDB-J付属CD-ROMに収録されているユーティリティソフトウェアの名称です。お好きな電子書籍（英文書籍、青空文庫）や電子ニュース、オリジナル電子書類などのコンテンツを入手し、本体に収録することは、本ソフトウェアが行います。パソコンにインストールしてお使いください。

＜Mobipocket Reader Desktopの主な機能＞

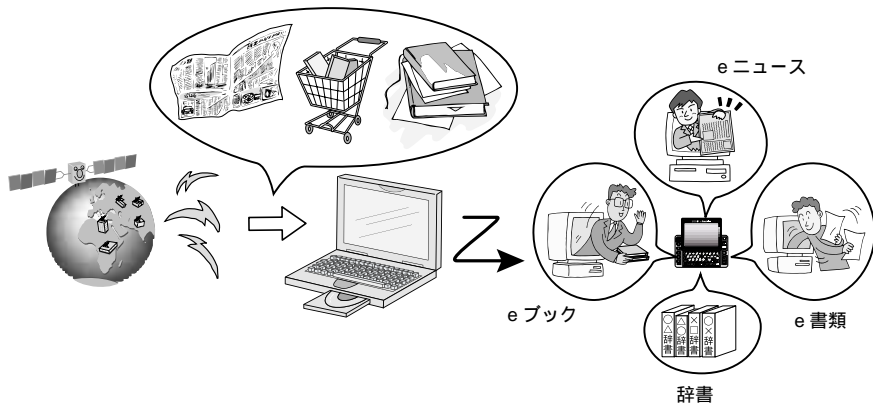
●電子書籍の入手機能
- ・オンライン書店から、英文書籍を購入できます。
- ・青空文庫などの無料ダウンロードサイトから、電子書籍を入手できます。
- ・eニューススタンドよりお好きな無料のeニュースを入手できます。

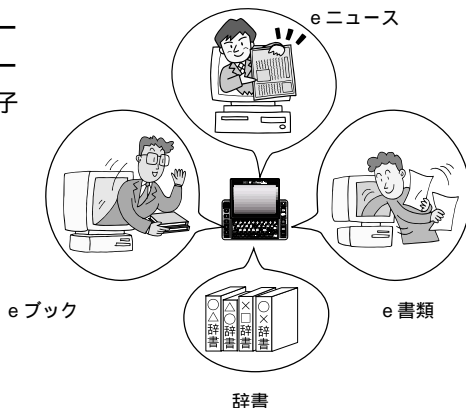
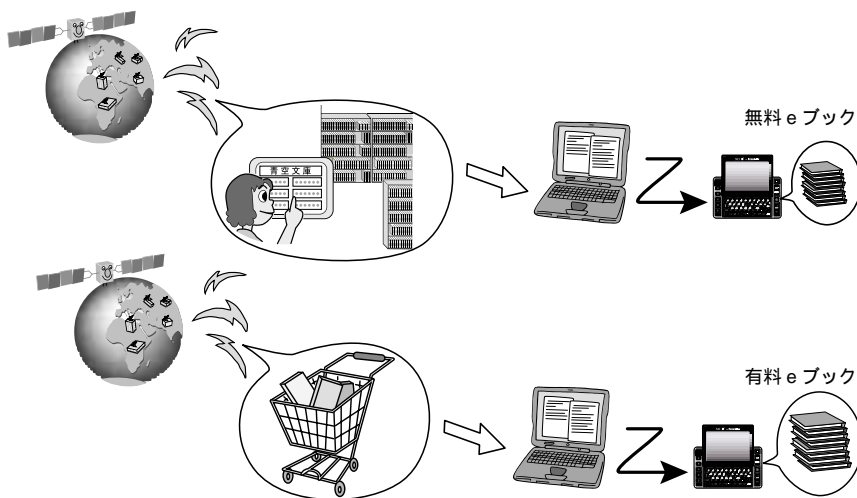
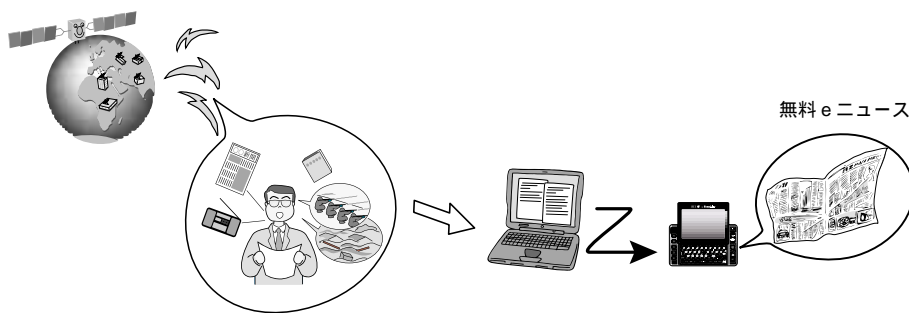
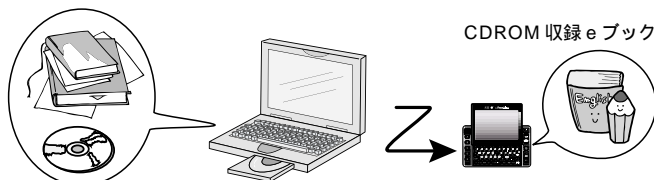
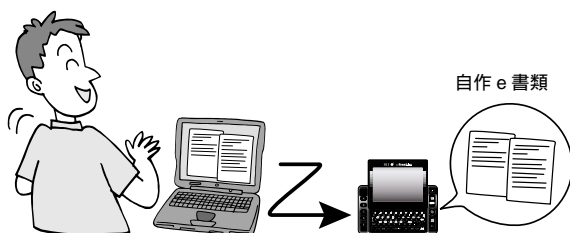
●入手した電子書籍のライブラリー管理機能
eブック・eニュース・その他・テストに分けてライブラリー管理を行えます。

●オリジナル電子書類の作成機能
オリジナルのOffice書類、PDF書類、HTML書類、テキスト書類から、本体で読めるフォーマットの電子書類（Mobipocketフォーマット）に変換することができます。

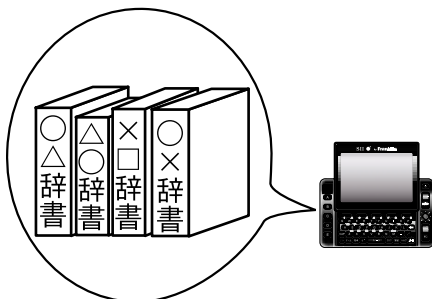
●入手電子書籍への編集マーク（ハイライト・コメント・リンク）設定機能
入手した電子書籍上にハイライトマークをつけたり、コメントをつけたり、リンクを設定したりすることができます。

●入手・作成した電子書籍の本体へのダウンロード機能
本体へ、入手した電子書籍を収録することができます。

●ダウンロード電子書籍の自動同期更新機能
本体へダウンロードした電子書籍を自動的に更新することができます。
- •eニュースの同期（新着eニュースへの更新）
- •ハイライト・コメント・リンク編集の同期（編集設定内容の更新）

ネットワーク電子辞書でできること

各種コンテンツをパソコン・インターネットから入手し、本体にダウンロードしてあなただけのオリジナルな電子ブックを作ることができます。

青空文庫または、オンライン書店から英文書籍を購入し、本体にダウンロードして持ち運び、どこででも読むことができます。

ニューススタンドからお好きな無料のeニュースを入手し、本体にダウンロードして持ち運び、どこででも読むことができます。

付属の CD-ROM に収録の英文書籍50冊を、選択して本体にダウンロードして持ち運び、どこででも読むことができます。

自作のオリジナル書類を本体にダウンロードして持ち運び、どこででも読むことができます。

本体に収録の TOEIC 学習プログラムでは、音声を聴きながら学習することができます。

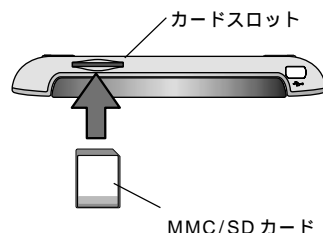
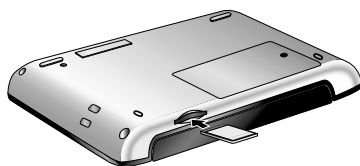
音声付き TOEIC コンテンツ

本体に収録されている各種辞書を使いながら、収録の電子書籍を読み進めることができます。もちろん、電子辞書としてもそのままお使いいただけます。

MMC/SD カードについて

本体には、SD/MMC カード用スロットが 1 つ用意されています。パソコンから本体にコンテンツをダウンロードする場合は、本体内蔵のユーザー領域に加えて、SD カードあるいは MMC にダウンロードすることができます。MMC/SD カードスロットには、必ず市販の MMC/SD カードを装着してご使用ください。（動作確認済みカード：San Disk（サンディスク社製）、Panasonic（松下製）、Toshiba（東芝製）ブランドの SD カード）
コンテンツを収録するためのメモリーとして使用されます。また、コンテンツをダウンロードする前に、カードを装着後、本体のメニューからカードのフォーマットを行ってからお使いください。

本カードには、Mobipocket Reader for Franklin を介して、本体で読み込み可能な Mobipocket フォーマット*のデータをダウンロードしてお使いください。他のフォーマットのカード、弊社製のシルカ*カード（例：シルカカード・レッド、シルカカード・ブルーなど）は、本機ではご使用できませんのご注意ください。また、本カードを他社の製品あるいはパソコンなどに装着してご使用することはできません。

＊ Mobipocket フォーマットは、SII by Franklin ネットワーク電子辞書や Mobipocket Reader ソフトウェアの専用データフォーマットです。

＊ シルカ（商標出願中）は、SII 製電子辞書本体に辞書を追加できる SII オリジナルカード群の愛称です。

取扱説明書の構成について

本機の取扱説明書は、下記の 3 冊より構成されています。

・**「ネットワーク電子辞書 DB-J990 取扱説明書」（本書）：**本体の操作について説明しています。
・**「DB-J 付属 CD-ROM 取扱説明書」：**付属 CD-ROM の操作について説明しています。
・**「ネットワーク電子辞書 DB-J990 簡単操作ガイド」：**本体と付属 CD-ROM を含めた簡易操作ガイドです。

本書では、ネットワーク電子辞書 DB-J990 本体をお使いいただく場合の基本的な操作方法と本体に収録の各種辞典の使用方法と代表的なダウンロードコンテンツの使用方法の一例について説明しています。

DB-J 付属 CD-ROM をパソコンにインストールして、本体と接続し、各種コンテンツをダウンロードする方法や CD-ROM に収録のコンテンツの詳細な使用方法については、別冊の「DB-J 付属 CD-ROM 取扱説明書」をご覧ください。

取り扱いに関しては、必ず 3 冊を併読してください。

なお、説明の便宜上、表示画面などは代表的なものを例として使用しています。
ご使用の表示画面と若干異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

本取扱説明書では、本機を正しくお使いいただき、使用するかたや周りの人への危害や損害を未然に防止するために、文頭に下記のマークを付けています。

⚠ 警告	この表示を無視して注意事項を守らない取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して注意事項を守らない取り扱いをすると、使用者が障害を負ったり、本機の破損、データの損失など使用上に重大な物的損害をこうむる可能性があります。
🚫	この記号のある説明は、禁止事項（してはいけない）を表します。 禁止内容にあてはまるような使い方は、絶対に行わないでください。
❗	この記号のある説明は、本機を正常に使用するために、必ずしなければいけない行為です。説明に従って正しく行ってください。

取り扱い上のご注意

下記の事項に当てはまる様な使いかたは絶対に行わないでください。故障、変形等の原因となります。

次のような場所での使用や保管、放置

直射日光のあたる場所や自動車内・暖房器具のそばなど温度が非常に高いところ（特に夏期直射日光下でしめきった車のシートやダッシュボードの上など）ホコリの多い場所 / 風呂場など水滴、湿けの多いところ磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ

上に重いものを置かない

表示部表面を強く押したり、本などの重いものを載せないでください。

曲げたり、ひねったり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない

キーを、先のとがった硬いもので操作したり、必要以上に強く押さない

飲物等をこぼさない

コーヒー、ジュース等を飲みながら操作するときは、ご注意ください。

改造したり、ご自分での修理はしない

合成皮革製品、ゴム製品等と密着させて長期間の使用や保管、放置をしない

化学変化等により双方が融けてくっついたり、変色したりして本機表面を傷めることがあります。

表面の汚れを取る場合に、シンナー・ベンジン・アルコール等の揮発性溶剤やぬれた布は、使用しない。変質、変色等で表面の仕上げを傷めることがあります。

はじめてお使いになる時は、付属のACアダプタで内蔵のリチウムイオン電池をフル充電し、「リセット」ボタンを押してからお使いください。（☞31,32 ページ参照）

お手入れの際はきれいな柔らかい布などを使用してください。特に汚れがひどい場合は、水に浸した布を固く絞っておふきください。

寒いとき暖房をつけた直後など、表示部表面に露（水滴）がつく場合があります。乾いたきれいな柔らかい布などで軽く拭きとってから使用してください。

本機へのカードの抜き差しは、必ず本機の電源を切った状態で行ってください。データが破壊されたり、故障することがあります。

電池を除いた本体を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理するようお願い致します。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

電池について

本機は、充電式のリチウムイオン電池を使っています。
電池が充電できなくなった場合など、電池の交換に関しては、セイコーインスツル株式会社「CP サービスセンター内『ネットワーク電子辞書サポートデスク』」へご相談ください。（☞250 ページ）

電池は、付属の AC アダプタを本機に接続し、充電してからお使いください。

電池残量は、画面左上の マーク表示が点滅して、少ないことを知らせます。
このマークが表示されたら、充電してください。

万一、漏れた液体が皮膚や衣服に付着した場合は、きれいな水で洗い流し、目に入った時は、きれいな水で洗い流した後、ただちに医師の治療を受けてください。

不要になった電池は、本体と一緒に廃棄せず、充電式リサイクル協力店へお持ちください。（☞ 巻頭）

<リチウムイオン電池の取りはずし方>

1 本体底面のねじ（1本）を ⊕ ドライバーではずし、電池カバーを取りはずします。

2 本体内部よりリチウムイオン電池を取りだし、コネクタを矢印（右図中）の向きに引き出し、取りはずします。

目次

ここでは、本体に収録されている辞典について説明します。

収録辞典

本体には、各種辞書（英語辞典、国語辞典、漢和辞典、百科事典、カタカナ辞典）と音声付き TOEIC 学習コンテンツを収録しました。

書籍版辞書の写真、図表、囲み記事、一部の付録は本機には収録されていません。

収録辞典の著作権一覧

●『広辞苑 第五版』©1998，2006
新村出編、著作権者代表／財団法人 新村出記念財団、 発行所／株式会社 岩波書店
『広辞苑』は、株式会社 岩波書店の登録商標です。
本機に収録した辞典の内容は、新村出編『広辞苑 第五版』に基づき、岩波書店のご協力を得て編集してあります。
※本機で表示が困難な『広辞苑 第五版』収録の表、系図、出典略称一覧については、取扱説明書に記載しています。

●『逆引き広辞苑 第五版対応』©1999，2006
岩波書店辞典編集部編、 発行所／株式会社 岩波書店
※書籍版に収録の「囲み記事」は、本機には収録されておりません。
本機は、書籍版『広辞苑 第五版』の全項目について「逆引き（後方一致検索）」が行えます。

●『ジーニアス英和大辞典』© KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2001-2002
本機に収録した辞典の内容は、小西友七・南出康世編集主幹『ジーニアス英和大辞典』に基づき、大修館書店のご協力を得て編集してあります。『ジーニアス英和大辞典』は小西友七・南出康世氏と大修館書店の著作物です。

●『ジーニアス和英辞典 第２版』© KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2003-2004
本機に収録した辞典の内容は、小西友七・南出康世編集主幹『ジーニアス和英辞典 第２版』に基づき、大修館書店のご協力を得て編集してあります。『ジーニアス和英辞典 第２版』は小西友七・南出康世氏と大修館書店の著作物です。

●『漢字源（JIS 漢字版）』©1993
藤堂明保・松本昭・竹田晃編、 発行所／株式会社 学習研究社
『漢字源』は、株式会社 学習研究社の登録商標です。
本機に収録した辞典の内容は、藤堂明保・松本昭・竹田晃編『漢字源 初版』に基づく『漢字源（JIS 漢字版）』を、学習研究社のご協力を得て編集してあります。
※本機で使用している『字体』は JIS X 0208-1990 に準拠しており、画数等もその漢字表に示された漢字に準拠しています。

●『パーソナル カタカナ語辞典』©1999
金田一春彦監修、 発行所／株式会社 学習研究社
『漢字源』は、株式会社 学習研究社の登録商標です。
本機に収録した辞典の内容は、金田一春彦監修『パーソナル カタカナ語辞典』に基づき、学習研究社のご協力を得て編集してあります。

● Oxford Advanced Learner’s Dictionary © Oxford University Press 2000

●『マイペディア　電子辞書版』

編集・発行　株式会社 日立システムアンドサービス

編集協力　　株式会社 平凡社　 株式会社 平凡社地図出版

※マイペディアは、書籍版に最新（2004年7月）のデータ・項目を改訂および追加収録してます。

※マイペディアは、書籍版（平凡社発行）は現在刊行されておりません。

●『ロイヤル英文法　改訂新版』

綿貫　陽：改訂・著、宮川　幸久、須貝　猛敏、高松　尚弘：共著、マーク・ピーターセン：英文校閲、©綿貫　陽、宮川　幸久、須貝　猛敏、高松　尚弘、マーク・ピーターセン 2000

発行所：株式会社 旺文社

本機に収録した辞典の内容は、綿貫　陽 改訂・著、宮川　幸久、須貝　猛敏、高松　尚弘 共著、マーク・ピーターセン：英文校閲『ロイヤル英文法　改訂新版』に基づき、旺文社のご協力を得て編集してあります。

●『Cracking the TOEIC®』

This product published by arrangement with The Princeton Review, an imprint of Random House, Inc.

TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS).

This product is not endorsed or approved by ETS.

収録辞典の内容について

※この電子辞書（本機）に格納されている各辞典のデータは、著作権法によって保護されており、私的使用の範囲を超えての転載・複製などは禁じられています。また、この電子辞書に格納されている各辞典のデータを引用した著作物を公表する場合には、出典名・発行所を必ず明記してください。

※この電子辞書（本機）に格納されている各辞典のデータは、図・表・付録などを除き書籍版の本文テキストデータ（文字データ）をほぼ全部収録しています。内容は、書籍版に基づいていますので、各辞典の書籍版発行年時点の記述内容となっております。また、画面表示の都合上などにより､各辞典発行元の監修に基づいて書籍版の内容を改変した部分があります。

※本機に収録した各辞典は､出版されているそれぞれの書籍版辞典に基づいて作成しています。それぞれの辞典における誤記（誤植)､誤用につきまして､弊社ではその責任を負いかねますので何卒ご了承ください。

記述内容についてのお問い合わせ先

本機に収録されている各辞典の記述内容についてのご質問等は、下記までお問合せください。

◯『広辞苑 第五版』・『逆引き広辞苑 第五版対応』の記述内容についてのお問合せ：
株式会社 岩波書店　　電話：03（5210）4082

◯『ジーニアス英和大辞典 』『ジーニアス和英辞典 第 2 版』の記述内容についてのお問合せ：
株式会社 大修館書店　　電話：03（3294） 2355

◯『漢字源（JIS 漢字版）』・『パーソナルカタカナ語辞典』の記述内容についてのお問合せ：
株式会社 学習研究社　デジタルコンテンツ事業部　　電話：03（3493）3286

◯『マイペディア 電子辞書版』の記述内容についてのお問合せ：
株式会社 日立システムアンドサービス
FAX： 03-3763-0542　　電子メール： hdhinfo@hitachi-system.co.jp

◯『Oxford Advanced Learner’s Dictionary』の記述内容についてのお問合せ：
オックスフォード大学出版局株式会社　　電話：03（3459）6489

◯『ロイヤル英文法』の記述内容についてのお問合せ：
株式会社 旺文社　　電話：03（3266）6400

ここでは、製品構成、機能と特徴、本体の各部の名称とはたらきなど、製品の概要について説明します。

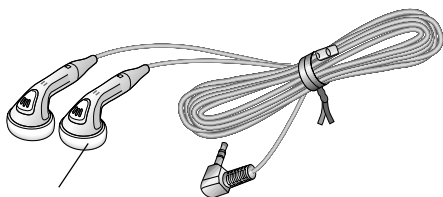
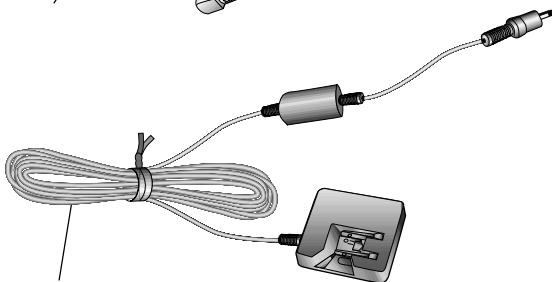
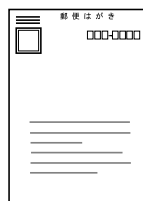
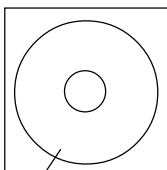
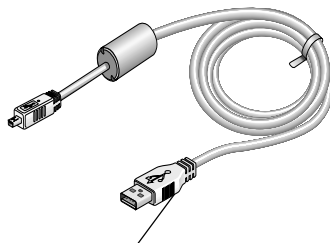
製品構成

箱をあけたら、内容物をご確認ください。
万一、欠品あるいは内容物に損傷がある場合には、お手数ですがお買い求めの販売店にご連絡ください。なお、各構成品は、消耗品として単品で１本あるいは１台単位でお買い求めいただけます。（取扱説明書、アンケートはがき、セキュリティーシールを除く。）
ご注文時には、名称・型番・数量をご指示ください。

No.	名　称	型　番	数　量	備　考
①	本体	DB-J990	1	※
②	イヤホン	DBE100	1	
③	AC アダプタ	P800-01-0990G	1	
④	USB ケーブル	DBU100	1	USB1.1 準拠、1.5m
⑤	DB-J 付属 CD-ROM	DBCD100	1	1.Mobipocket Reader for Franklin 2.英文書籍 50 冊コンテンツ
⑥	ネットワーク電子辞書 DB-J990 取扱説明書	KMJ1H11AA	1	
⑦	DB-J 付属 CD-ROM 取扱説明書	KMZ1H11AA	1	
⑧	ネットワーク電子辞書 DB-J990 簡単操作ガイド	KMJQM1H11AA	1	
⑨	アンケートはがき	ー	1	
⑩	セキュリティシール	ー	1	

表中の番号は、右のページの内容物の番号に対応しています。

※：カードスロットには、出荷時にダミーカードが装着されています。

内容物

SII by Franklin
メニュー
ライブラリー
戻る
①
②
③
④
⑤
DB-J990本体
取扱説明書
⑥
DB-J990付属CD ROM
取扱説明書
⑦
DB-J990
簡単操作ガイド
⑧
郵便はがき
⑨
⑩

機能と特徴

ここでは、本機の主な機能と特徴について説明しています。本体と DB-J 付属 CD-ROM に分けて説明しています。

＜本体＞

●電子書籍リーダー機能

DB-J 付属 CD-ROM に収録の Mobipocket Reader for Franklin を使って、本体にお好きな電子書籍コンテンツ*を収録できます。
収録したコンテンツは、本体とともに持ち運べ、いつでもどこでも読むことができます。

*：・オンライン書籍から購入した英文電子書籍
・青空文庫などのダウンロードサイトにある電子書籍
・DB-J 付属 CD-ROM 中の電子書籍（英文書籍 50 冊）
・報道機関等からの電子ニュース（e ニュース）
・Office 書類、PDF 書類、HTML 書類、テキスト書類から作成したオリジナル電子書類

●電子辞書機能

本体に、各種辞書*を収録しています。収録した電子書籍コンテンツを読んでいる途中で、不明な単語、語句に出合っても、収録の辞書で素早く調べることができます。また、単に電子辞書としてももちろんご使用になれます。

*：**・英語辞書**
- ジーニアス英和大辞典
- ジーニアス和英辞典 第 2 版
- オックスフォード現代英英辞典 第 6 版
- ロイヤル英文法

・国語辞典
- 広辞苑 第五版
- 逆引き広辞苑 第五版対応

・漢和辞典
- 漢字源

・百科事典
- マイペディア

・カタカナ辞典
- パーソナルカタカナ語辞典

電子辞書の基本機能：

- **リアルタイム検索**（すばやく便利な見出し検索）
  1文字入力するごとに見出し語の検索が行われ、該当する見出し語を即座にリスト表示します。目的の見出し語をすばやく見つけることができます。
- **マッチメーカー機能**
  ワイルドカード「？や＊」を入力すると、一部を省略して入力することができます。ことばの読みやスペルの一部がわからなくても、見出し語を検索することができます。
- **単語帳**
  各辞書モードで検索した見出し語を 1000 件まで登録できます。必要なときにすぐに辞書画面を呼び出すことができます。
- **履歴機能**
  一度検索した見出し語は1000件まで履歴として記録します。もう一度同じ単語を調べるときは、履歴を使って簡単に調べることができます。

●環境設定機能

本機を使いやすくするために、各種の操作環境の設定をすることができます。

（ユーザー設定）

- **コントラスト調整**
  表示濃度を 0 ～ 30 段階で設定できます。
- **音量設定**
  音声ボリュームを 0 ～ 30 段階で設定ができます。
- **文字サイズ切替**
  画面表示の文字サイズを切り替えることができます。（小 / 中 / 大）
  文字を大きくすると、小さい文字まではっきりと見ることができます。文字を小さくすると 1 行に収まる文字数が増え、長い英文などが読みやすくなります。
- **表示言語切替**
  画面表示の言語を切り替えることができます。（日本語 /English）
- **今日の単語**
  電源**オン**時に今日の単語を表示することができます。（ジーニアス英和大辞典 / オックスフォード現代英英辞典 / オフ）
- **オートパワーオフ切替**
  設定した時間（初期設定は約 2 分間）、キー操作がない場合は自動的に電源が切れて、電池のムダな消耗を防ぎます。（オフ / 1 分 / 2 分 / 3 分 / 5 分）
- **行揃え切替**
  表示画面の行揃え（行末揃え）を切り替えます。（オン / オフ）
- **余白切替**
  表示画面の余白の有 / 無を切り替えます。（オン / オフ）

（ゲーム設定）

- **レベル**
  ゲームのレベルを設定できます。（初級 / 中級 / 上級 / 最上級 / 超級）
- **ゲームブック**
  ゲームで参照するソースを設定します。（ジーニアス英和大辞典 / オックスフォード現代英英辞典 / 単語リスト）
- **単語リスト**
  ゲームリストで「単語リスト」を設定した場合の参照単語リストを設定します。（全単語 /TOEFL® 単語リスト）

（バージョン情報）

バージョン、装置番号、個人 ID 番号の情報を見ることができます。

下線部が初期設定となります。

●レジューム機能

電源を切っても、そのときの状態（表示画面）を保持するので、次に電源を入れたとき、前回の状態から操作を始めることができます。

●電卓機能

12 桁 1 メモリーの四則演算、入力値の逆数、平方根、2 乗値、百分率（100 で割った値）の計算ができます。

●ゲーム機能

4 つの学習ゲームを搭載しています。

- **フラッシュカード**
  単語が次々に現れ、その意味を考えるゲーム。
- **ジャンブル（並べ換え）ゲーム**
  ゴチャゴチャ並びの文字を入れ替えて単語を作るゲーム。
- **アナグラム（綴り換え）ゲーム**
  単語の中の文字をいくつか選んで単語を作るゲーム。
- **コンジュマニア**
  動詞の活用形を勉強するゲーム。

●ヘルプ機能

操作に迷ったときなど、[ヘルプ] を押すことによりヘルプ画面を表示することができます。

●ファンクションキー機能

いくつかのよく使う操作をファンクションキーとして割り付けてあります。[FN]キーと同時に他のキーを押すと作動します。

- [FN]+[M]: 文字サイズを中→大→小→中に切り替えます。
- [FN]+[音声]: 音声設定画面を表示します。

●ジャンプ機能・編集マーク設定機能

[決定/ジャンプ] を押し、辞書または電子書籍中の全画面表示で、カーソルを移動し、語の意味を調べたり、訳を調べたりする検索機能に加え、テキストにマークをつけたり、コメントをつけたり、訂正をしたりするなどの編集機能を使うことができます。

注意
著作権が消滅した作品であっても、その内容に編集を施した場合は、個人使用のみを目的にご使用ください。営利目的でなくても、個人、団体に編集を施したものを再配付することは、著作権法に違反します。

● MMC/SD カード（外部メモリー）

本体内蔵メモリー（内部ユーザー領域）に加えて、市販の MMC/SD カードを外部のユーザー領域として使うことができます。

● MMC/SD カードのフォーマット機能

MMC/SD カードを本体に装着し、本体のメニューから装着したカードをフォーマットすることができます。外部からコンテンツをダウンロードする前に、空のカードはフォーマットしてからお使いください。

●設定値の初期化機能

本体のメニューから、環境設定を初期値に戻すことができます。

●ジョイスティック型のカーソル移動機能

ナビゲーションキーで、カーソルを 4 方向にスムースに移動することができます。

●画面スライド機能

読むときはコンパクトに、調べるときは画面を上にスライドしてお使いください。画面の下にはキーボードが収納されています。

●ワイド画面で美しい表示

480 × 320 ドット（HVGA サイズ)の高精細ワイド画面。しかも 16 階調のグレースケールで美しく表現します。

●アクティブスピーカー搭載（イヤホン付属）

DB-J 付属 CD-ROM に収録の TOEIC コンテンツなど、音声付きコンテンツの音声再生ができます。音声は 31 段階に調整することができます。また、付属のイヤホンを使って音声を聴くこともできます。

●リチウムイオン充電池（AC アダプタ付属）

リチウムイオン充電池を採用。繰り返し充電してお使いいただけます。

＜ DB-J 付属 CD-ROM ＞

DB-J付属CD-ROMには、Mobipocket Reader for Franklinと英文書籍50冊の電子書籍コンテンツが収録されています。

Mobipocket Reader for Franklin

●電子書籍の入手機能

・オンライン書店から、英文書籍コンテンツを購入できます。
・青空文庫などのダウンロードサイトから､無料の電子書籍コンテンツを入手できます。
・ニューススタンドよりお好きな無料の e ニュースコンテンツを入手できます。

●入手した電子書籍のライブラリー管理機能

e ブック・e ニュース・e 書類に分けてライブラリー管理を行えます。

●オリジナル電子書類の作成機能

オリジナルのOffice書類、PDF書類、HTML書類、テキスト書類から、本体（ネットワーク電子辞書）で読めるフォーマットの電子書類（Mobipocket フォーマット）に変換することができます。

●入手電子書籍へのハイライト・コメント・リンク設定機能

入手した電子書籍上にハイライトをつけたり、コメントをつけたり、リンクを設定したりすることができます。

●入手・作成した電子書籍の本体（ネットワーク電子辞書）へのダウンロード機能

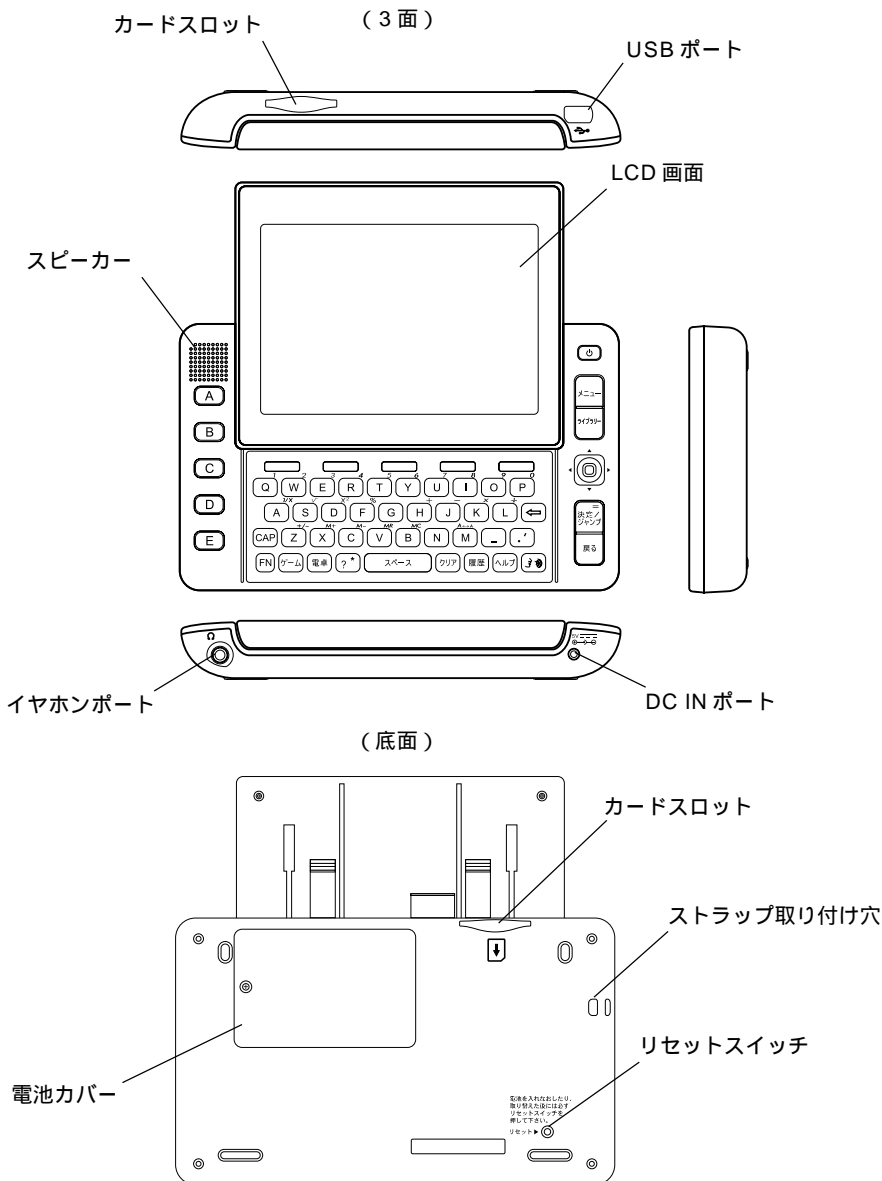
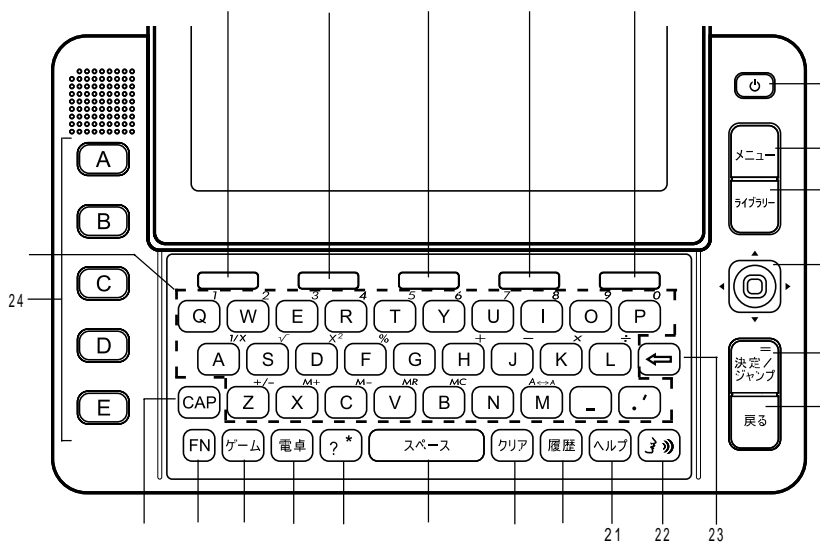
本体（ネットワーク電子辞書）に装着のカードへ、入手した電子書籍を収録することができます。

英文電子書籍コンテンツ

自由にお使いいただける英文書籍コンテンツ 50 冊分を用意しました。
お好きなコンテンツを本体のユーザー領域（または装着のカード）にダウンロードしてお読みください。

各部の名称とはたらき

ここでは、本体の各部の名称とはたらきについて説明します。

本 体

キー配列と説明

図の中の番号は、次のページの表中の番号に対応しています。

	アイコン	名　称	はたらき
①		電源ボタン	電源をオン/オフします。
②	メニュー	メニューボタン	このボタンを押すと、メニューを表示します。
③	ライブラリー	ライブラリーボタン	このボタンを押すと、本体に収録されているコンテンツのライブラリーを表示することができます。LCD画面の下に表示されるキーは、画面表示下の本体上のソフトキー1,2,3,4,5に相当します。ライブラリーは、各キーごとに分類されて収録されています。
④		4方向ナビゲーションキー	カーソルの4方向への移動に使用します。 中央を押すと、決定/ジャンプ と同じ機能をします。
⑤	決定/ジャンプ	決定/ジャンプボタン	決定またはジャンプ・編集機能を使うときに押します。
⑥	戻る	戻るボタン	前の画面に戻るときに押します。
⑦		ソフトキー1	LCD画面の下に表示される左側から1番目の表示キーに相当します。機能は、各LCD画面により異なります。また無効時にはLCD表示キーは無表示となります。
⑧		ソフトキー2	LCD画面の下に表示される左側から2番目の表示キーに相当します。機能は、各LCD画面により異なります。また無効時にはLCD表示キーは無表示となります。
⑨		ソフトキー3	LCD画面の下に表示される左側から3番目の表示キーに相当します。機能は、各LCD画面により異なります。また無効時にはLCD表示キーは無表示となります。
⑩		ソフトキー4	LCD画面の下に表示される左側から4番目の表示キーに相当します。機能は、各LCD画面により異なります。また無効時にはLCD表示キーは無表示となります。
⑪		ソフトキー5	LCD画面の下に表示される左側から5番目の表示キーに相当します。機能は、各LCD画面により異なります。また無効時にはLCD表示キーは無表示となります。
⑫	A 等	文字/数字入力キー	文字/数字を入力します。（かな入力は、ローマ字入力）
⑬	CAP	CAPキー	英字入力をするときに、大文字を入力する場合には、CAPキーを押しながら、文字/数字入力キーを押します。
⑭	FN	FNキー	ファンクションキー機能を使用する場合に、FNキーを押しながら、文字/数字入力キーを押します。
⑮	ゲーム	ゲームキー	ゲーム画面を選択します。
⑯	電卓	電卓キー	電卓画面を選択します。
⑰	? *	？＊キー	？：スペルがわからないとき、1文字の代わりに使います。 ＊：スペルがわからないとき、複数文字の代わりに使います。
⑱	スペース	スペースキー	スペースを入れるときに使います。
⑲	クリア	クリアキー	入力した文字/数字を一括消去するときやコンテンツの初期画面に移動するときに使います。
⑳	履歴	履歴キー	過去に検索した語句を表示します。
㉑	ヘルプ	ヘルプキー	このボタンを押すと、ヘルプ画面を表示します。操作に迷ったときなどに操作ガイドとして使用します。
㉒		音声再生キー	FN と同時に本キーを押すと、音声付きコンテンツの音量調整画面を表示します。
㉓	⇦	バックキー	文字/数字入力の1文字消去に使用します。
㉔	A 等	A,B,C,D,Eボタン	Cracking the TOEICを使用するときの解答ボタンとして使用します。また、ソフトキー1～5に相当します。

ここでは、まずご購入後はじめてご使用になるところから、本体にコンテンツをダウンロードして単体で持ち運び使えるようになるまでの一連のインストール作業の流れを説明します。
次に、各インストール作業の詳細手順を個別に説明しています。

DB-J 付属 CD-ROM のパソコンへのインストールやパソコン側での作業に関しては、別冊の「DB-J 付属 CD-ROM 取扱説明書」をご覧ください。

はじめてお使いになる時には、必ず電池を充電してからリセットスイッチを押してください。**(☞31, 32 ページ)**

インストール作業の流れ

購入後、はじめてご使用になるところから、本体にコンテンツをダウンロードして単体で持ち運び使えるようになるまでの一連のインストール作業の流れを説明します。
ここでは、全体の作業の流れを中心に説明しますので、各作業の詳細手順は、当該ページを参照してください。

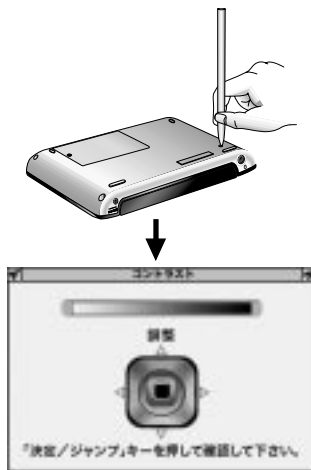
1 電池を充電します。

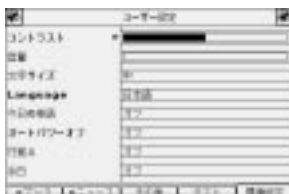
付属のACアダプタを本体に接続して電池を充電します。

☞「充電をする」31 ページ

2 本体の電源をオンにし、リセット操作をします。

本体の画面に、コントラスト調整画面が表示されたら、◎左右で、画面のコントラストを調整します。

☞「リセット操作をする」32 ページ

3 操作環境の設定をします。

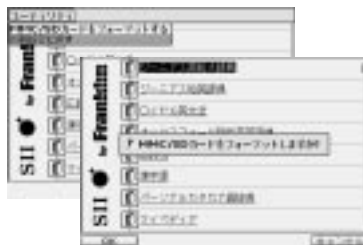
☞「操作環境の設定をする」33 ページ

4 電源をオフにし、MMC/SDカードを本体に装着します。MMC/SDカードが必要なければ、手順6へ進んでください。

☞ 「カードを装着 / 取り外しする」46 ページ

注意

- 出荷時には、ダミーカードが装着されています。ダミーカードを取り外してからカードを装着してください。
- カードの抜き差しは、電源オフの状態で行ってください。
- MMC/SD カードは、別途お客様がご用意ください。

5 本体の電源をオンにし、装着したMMC/SDカードをフォーマットします。

☞ 「カードをフォーマットする」47 ページ

6 DB-J990 付属 CD-ROM 中の Mobipocket Reader for Franklin をパソコンにインストールします。

☞ 『DB-J 付属 CD-ROM 取扱説明書』

7 パソコンにインストールした Mobipocket Reader for Franklinp を使って、お好きな電子書籍コンテンツを入手します。

☞ 『DB-J 付属 CD-ROM 取扱説明書』

8 パソコンと本体を付属の USB ケーブルを使って接続します。

☞ 『DB-J 付属 CD-ROM 取扱説明書』
☞ 「USB ケーブルを接続する」48 ページ

本体認識アイコン

9 Mobipocket Reader for Franklin を使って、入手した電子書籍コンテンツを本体にダウンロードします。

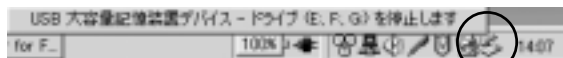
☞ 『DB-J 付属 CD-ROM 取扱説明書』

10 パソコンと本体を接続していた USB ケーブルを取り外します。

☞ 『DB-J 付属 CD-ROM 取扱説明書』
☞ 「USB ケーブルを接続する」48 ページ

注意

ネットワーク電子辞書をパソコンから取り外すときには、他の USB 大記憶装置デバイスと同様に、画面右下の USB 装置取り外しアイコンからの取り外し処理を必ず行ってください。

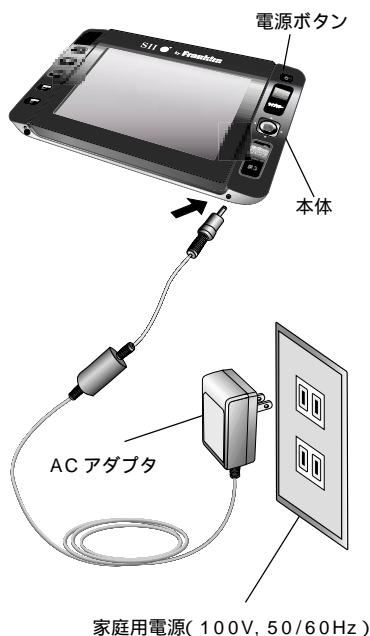
USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:, F:, G:) を停止します

11 以上の手順を終了すると、本体には、電子書籍コンテンツが収録され、本体単独で持ち運びでき、お使いいただけます。

充電をする

1 右図を参照の上、本体の電源を切り、ACアダプタを本体に接続して充電してください。

- 本機は、電源としてリチウムイオン電池を使用しています。電池の残量が少なくなると画面の左上に電池マーク が点滅して知らせます。使用を中止し、充電してください。充電が完了すると、電池マークが消えて使用可能な状態になります。
- 充電には、付属のACアダプタを使って行います。フル充電には、空の状態から約2.5時間かかります。
- USBケーブルを通じて、お使いのPC本体から充電することもできます。

＜電池マークと電源状態＞

- 3.5V以上　：電池マークの表示なし
- 3.2V～3.5V　：が点滅します
- 3.2V未満　：シャットダウンします
- フル充電　：
- 充電中　：（点滅）

注意

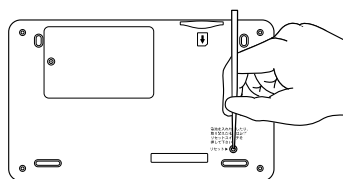
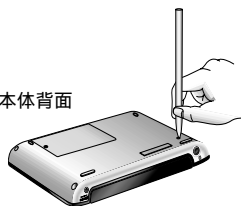
- ACアダプタは必ず付属のものをお使いください。
- ACアダプタの適用電源は日本国内の家庭用電源（100V 50/60Hz）です。それ以外の電源（海外でのご使用）ではお使いになれませんのでご注意ください。
- 本機は、必ず付属のACアダプタまたはUSBケーブルを通じて、内蔵のリチウムイオン電池を充電してください。
- DCジャックの先端部および電源プラグには触らないでください。
- 水のかかる場所等では、絶対に使用しないでください。感電や事故の原因になることがあります。
- ACアダプタの上に布団、毛布などを置いての使用や、熱器具の近くでは使用しないでください。発熱・変形・故障等の原因になることがあります。
- 異常を感じたら、すぐ使用を中止してください。
- ご使用にならない時は必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。

リセット操作をする

1 電源をオンにし、本体底面にあるリセットスイッチを、細い棒で押します。

- 本体の画面に、コントラスト調整画面が表示されたら、 左右で、画面のコントラストで調整します。

注意

- はじめてお使いになる時には、付属のACアダプタを本機に接続し、電池を充電して電源を**オン**にした後に、必ずリセットスイッチを押してください。（左図参照）
- リセットスイッチを押しても、本機内の履歴、単語帳データは消去されません。

⚠ 注意

- リセット操作を行いませんと、文字が正しく表示されなかったりする場合があります。
- すでに本機を使用していた場合、リセット操作を行うと、電卓のメモリーは全て消去され、環境設定は全て初期化されます。

電源をオン / オフする

1 本体正面右上の ⏻ を押します。

- キー操作は、**オン / オフ**の交互動作をします。

SII by Franklin

操作環境の設定をする（環境設定を使う）

環境設定画面には、次の 3 つの画面があります。

・ユーザー設定
・ゲーム設定
・バージョン情報

ここでは、それぞれの使い方について説明します。

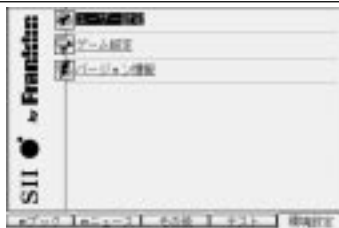
ユーザー設定

ユーザー設定画面に入る

1　本体右側の を押して、ライブラリー画面（ホーム画面）にします。

● を押すと、ライブラリー画面（ホーム画面）はeブック画面となります。

＜ライブラリー画面（e ブック初期画面）＞

2　画面の下の[環境設定]に相当するソフトキー 5 を押し、環境設定画面にします。

＜環境設定画面＞

3　 を使って、[ユーザー設定]を選択し、 または、 の中央を押すと、ユーザー設定画面になります。

●ユーザー設定画面で、下記の設定を行います。各設定項目の詳細は、当該ページを参照してください。

・コントラスト　☞34 ページ
・音量　☞34 ページ
・文字サイズ　☞35 ページ
・Language（表示言語）☞36 ページ
・今日の単語　☞37 ページ
・オートパワーオフ　☞38 ページ
・行揃え　☞39 ページ
・余白　☞40 ページ

＜ユーザ設定画面＞

コントラストを調整する

表示画面の濃さを調整できます。

1 **ユーザー設定画面で、◎ 上下を使って[コントラスト]を選択します。**

- ユーザー設定画面の表示方法は、「ユーザー設定画面に入る」 ☞33 ページ。
- 項目が選択されると、カーソル ▶ が表示されます。

2 **◎ 左右を使って、バーの長さを調整します。**

- 0 ～ 30 の 31 段階で調整できます。
- 黒いバーが右側に伸びるほど濃くなります。

音量を調整する

再生音量を調整できます。(音声再生は、テストカテゴリー中のCracking the TOEIC をお使いの場合にのみ有効です。)

1 **ユーザー設定画面で、◎ 上下を使って[音量]を選択します。**

- ユーザー設定画面の表示方法は、「ユーザー設定画面に入る」 ☞33 ページ。
- 項目が選択されると、カーソル ▶ が表示されます。

2 **◎ 左右を使って、バーの長さを調整します。**

- 0 ～ 30 の 31 段階で調整できます。
- 黒いバーが右側に伸びるほど 音量が大きくなります。

ヒント

- FN を押しながら、(音量キー) を押しても、音量設定バーを表示することができます。

文字サイズを設定する

表示文字の大きさを選択できます。

1 **ユーザー設定画面で、 上下を使って[文字サイズ]を選択します。**

- ユーザー設定画面の表示方法は､｢ユーザー設定画面に入る｣ ☞33ページ。
- 項目が選択されると、カーソル　が表示されます。

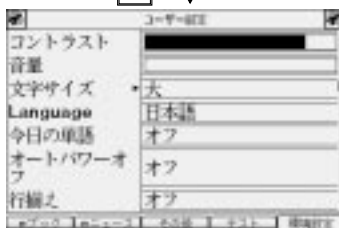
2 **右を使って､選択肢メニューを表示します。**

3 **上下を使って､選択肢を選択し反転表示させ、 決定／ジャンプ または 中央を押し、確定します。**

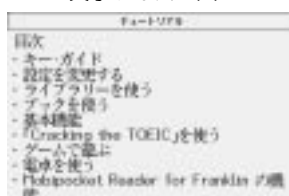
- 選択肢：小 / 中 / 大 （下線部は初期値）
- 選択されると選択肢が反転表示されます。

決定／ジャンプ

ヒント

- FN を押しながら、M を押すと、文字サイズが中→大→小の順に切り替わります。

<文字サイズ：小>

<文字サイズ：中>

<文字サイズ：大>

Language（表示言語）を設定する

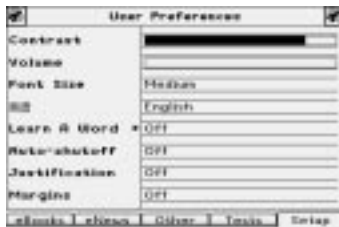
表示言語を選択します。

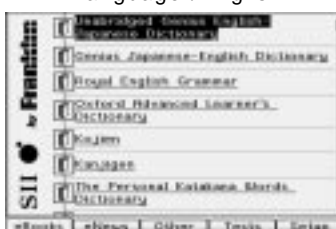
1 **ユーザー設定画面で、上下を使って[Language]を選択します。**

- ユーザー設定画面の表示方法は、「ユーザー設定画面に入る」☞33ページ。
- 項目が選択されると、カーソル ▶ が表示されます。

2 **右を使って、選択肢メニューを表示します。**

3 **上下を使って、選択肢を選択し反転表示させ、決定/ジャンプ または 中央を押し、確定します。**

- 選択肢：English/ 日本語 （下線部は初期値）
- 選択されると選択肢が反転表示されます。

＜Language：日本語＞

＜Language：English＞

今日の単語を設定する

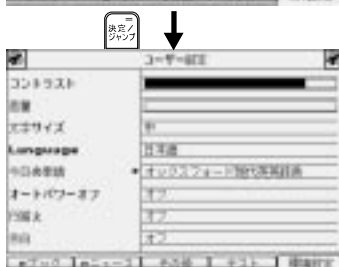
電源オンのたびに、毎回、搭載のジーニアス英和大辞典またはオックスフォード現代英英辞典から英単語を1つ選択して表示するように設定することができます。一日一単語、「今日の単語」として学習にお役立てください。

1 **ユーザー設定画面で、◎ 上下を使って[今日の単語]を選択します。**

- ユーザー設定画面の表示方法は、「ユーザー設定画面に入る」 ☞33ページ。
- 項目が選択されると、カーソル ▶ が表示されます。

2 **◎ 右を使って、選択肢メニューを表示します。**

3 **◎ 上下を使って、選択肢を選択し反転表示させ、[決定／ジャンプ] を押し確定します。**

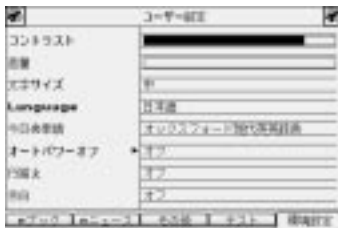
- 選択肢：ジーニアス英和大辞典／オックスフォード現代英英辞典／オフ（下線部は初期値）
- 選択されると選択肢が反転表示されます。
- 例えば[今日の単語]をオックスフォード現代英英辞典を選択設定すると、電源ボタンをオンするたびに、オックスフォード現代英英辞典中から毎回異なる英単語が選択され、解説画面が全画面表示されるようになります。
- 英単語の解説画面から、[戻る] を押すと、eブック画面になります。

＜今日の単語：オン＞

＜今日の単語：オフ＞

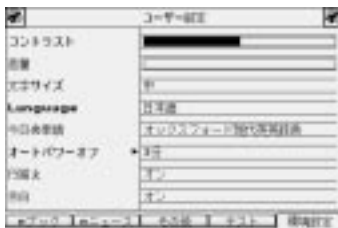
オートパワーオフを設定する

オートパワーオフとは、設定した時間、キー操作がないと自動的に電源が切れる機能です。

1 **ユーザー設定画面で、 上下を使って[オートパワーオフ]を選択します。**

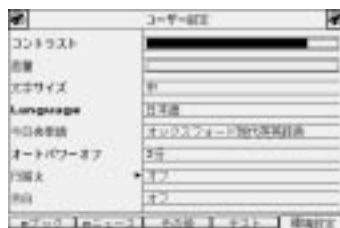
- ユーザー設定画面の表示方法は､「ユーザー設定画面に入る」 ☞33ページ。
- 項目が選択されると、カーソル ▶ が表示されます。

2 **右を使って､選択肢メニューを表示します。**

3 **上下を使って､選択肢を選択し反転表示させ、[決定/ジャンプ] を押し確定します。**

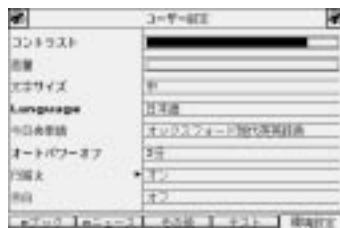
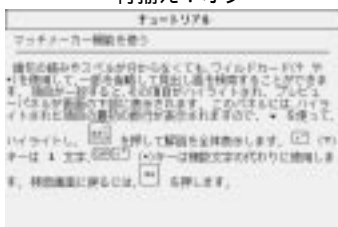
- 選択肢：オフ /1 分 /2 分 /3 分 /5 分 （下線部は初期値）
- 選択されると選択肢が反転表示されます。

行揃えの有 / 無を設定する

表示文字画面の行末揃えの有 / 無を選択できます。

1 **ユーザー設定画面で、◎ 上下を使って[行揃え]を選択します。**

- ユーザー設定画面の表示方法は､｢ユーザー設定画面に入る｣ ☞33 ページ。
- 項目が選択されると、カーソル ▶ が表示されます。

2 **◎ 右を使って､選択肢メニューを表示します。**

3 **◎ 上下を使って､選択肢を選択し反転表示させ、[決定／ジャンプ] または ◎ 中央を押し、確定します。**

- 選択肢：オン / オフ（下線部は初期値）
- 選択されると選択肢が反転表示されます。

＜行揃え：オフ＞

行末揃えで表示します。

＜行揃え：オン＞

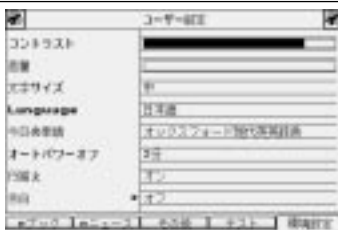
左詰めで表示します。

余白の有 / 無を設定する

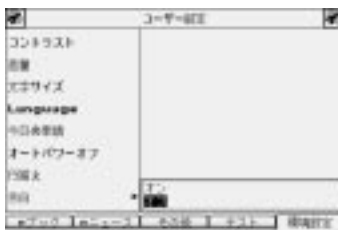
表示文字画面の余白の有 / 無を選択できます。

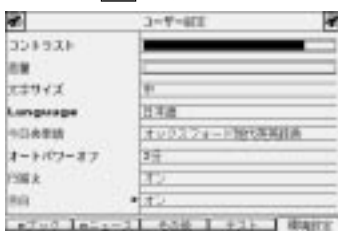
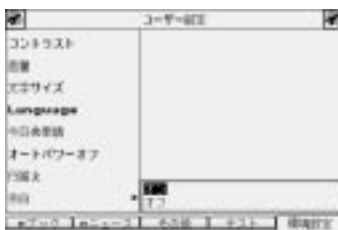
---

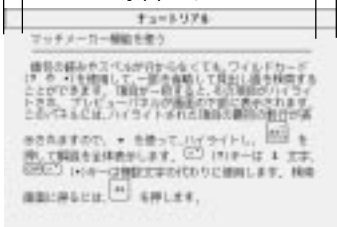
1 **ユーザー設定画面で、 上下を使って[余白]を選択します。**

- ユーザー設定画面の表示方法は､｢ユーザー設定画面に入る｣ ☞33ページ。
- 項目が選択されると、カーソル▶ が表示されます。

---

2 **右を使って､選択肢メニューを表示します。**

---

3 **上下を使って､選択肢を選択し反転表示させ、決定／ジャンプ を押し確定します。**

- 選択肢：オン / <u>オフ</u>（下線部は初期値）
- 選択されると選択肢が反転表示されます。

余白付きで表示します。

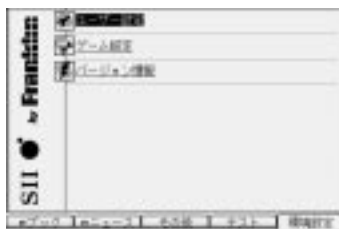
<余白：オフ>

余白無しで表示します。

ゲーム設定

ゲーム設定画面に入る

ゲーム設定画面への入り方を説明します。

1 **本体右側の [ライブラリー] を押して、ライブラリー画面（ホーム画面）にします。**

2 **画面の下の[環境設定]に相当するソフトウェアキー 5 を押し、環境設定画面にします。**

3 **[◎] を使って、[ゲーム設定]を選択し、[決定／ジャンプ] または [◎] 中央を押すと、ゲーム設定画面になります。**

●ゲーム設定画面で、下記の設定を行います。各設定項目の詳細は、当該ページを参照してください。

・レベル ☞42 ページ
・ゲームブック ☞43 ページ
・単語リスト ☞44 ページ

レベルを設定する

ゲームのレベルを選択できます。

1 **ゲーム設定画面で、 上下を使って[レベル]を選択します。**

- ゲーム設定画面の表示方法は、「ゲーム設定画面に入る」 ☞41ページ。
- 項目が選択されると、カーソル▶が表示されます。

2 **右を使って、選択肢メニューを表示します。**

3 **上下を使って、選択肢を選択し反転表示させ、 決定/ジャンプ または 中央を押し、確定します。**

決定/ジャンプ

- 選択肢：<u>初級</u> / 中級 / 上級 / 最上級 / 超級（下線部は初期値）
- 選択されると選択肢が反転表示されます。

ゲームブックを設定する

ゲームで参照するソースを選択できます。

1 **ユーザー設定画面で、上下を使って[ゲームブック]を選択します。**

- ゲーム設定画面の表示方法は、「ゲーム設定画面に入る」 ☞41ページ。
- 項目が選択されると、カーソル▶が表示されます。

2 **右を使って、選択肢メニューを表示します。**

3 **上下を使って、選択肢を選択し反転表示させ、決定/ジャンプ または 中央を押し、確定します。**

- 選択肢：ジーニアス英和大辞典 / オックスフォード現代英英辞典 / 単語リスト（下線部は初期値）
- 選択されると選択肢が反転表示されます。

単語リストを設定する

「ゲームブックを設定する」で選択したソースに対応する、単語リストを選択します。

1 **ユーザー設定画面で、 上下を使って[単語リスト]を選択します。**

- ゲーム設定画面の表示方法は、「ゲーム設定画面に入る」 ☞41ページ。
- 項目が選択されると、カーソル ▶ が表示されます。

2 **右を使って、選択肢メニューを表示します。**

- 選択肢は、「ゲームブックを設定する」で、選択したソースによって異なります。 ☞43ページ。

3 **上下を使って、選択肢を選択し反転表示させ、決定/ジャンプ または 中央を押し確定します。**

ゲームブックに選択した辞書の見出し語の中から、このリストに該当する単語が抽出されます。

決定/ジャンプ ↓

- 選択肢：全単語 / TOEFL®単語リスト（下線部は初期値）
- 選択されると選択肢が反転表示されます。
- TOEFL®単語リストとは、TOEFL®テストに出題される英単語、約4,000語を集めたリストです。

バージョン情報をみる

1 **本体右側の ライブラリー を押して、ライブラリー画面（ホーム画面）にします。**

2 **画面の下の[環境設定]に相当するソフトキー 5 を押し、環境設定画面にします。**

3 **上下を使って、[バージョン情報]を選択し、決定／ジャンプ または 中央を押すと、バージョン情報が表示されます。**

カードを装着 / 取り外しする

注意

- カードの装着は、本体の電源を必ずオフにしてから行ってください。
- 出荷時には、ダミーカードが装着されています。ダミーカードを取り外してからカードを装着してください。

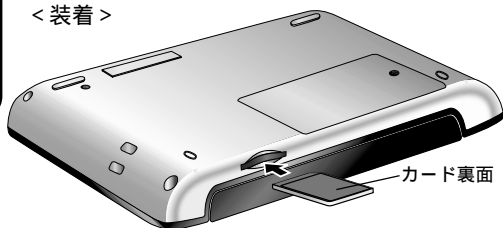
本機に、市販の MMC/SD カードを装着すると外部のユーザー領域として使うことができます。

ひとつのコンテンツを内部ユーザー領域（本体内蔵メモリー）と外部ユーザー領域とにまたがって保存することはできません。

他社製の専用カードあるいは、当社シルカカード・レッド、シルカカード・ブルーはお使いになれませんのでご注意ください。

カード装着時には、挿入向きに注意して本機にしっかりと押し込み、カードが内部でロックされるまで押し込みます。

＜装着＞

カード裏面

＜取り外し＞

＊　**カードの表裏に注意して、しっかり挿入してください。**

注意

- カードの取りはずしは、本体の電源を必ずオフにしてから行ってください。
- 本体の電源がオフの時にカードを挿入すると、電源が自動的にオンになります。
- カードを取りはずす時は、装着カードを指で、もう一段押し込むとカードが少し飛び出してきます。飛び出してきたカードを引き出してください。

①　装着カードを指で押し込みます。

②　ロックがはずれ、カードが本体から少し飛び出します。

カードをフォーマットする

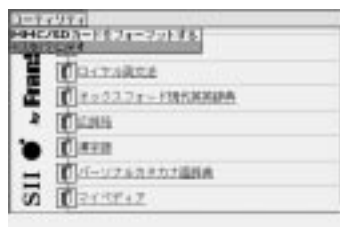
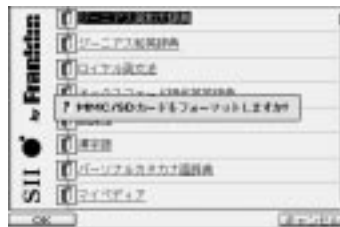
装着したカードをフォーマットすることができます。

注意
中にデータの入っているカードを装着し、フォーマットを実行すると中に入っていたデータが消去されますのでご注意ください。

1 **ライブラリー画面(ホーム画面)で、[メニュー]を押すと、ユーティリティ選択画面が表示されます。**

- ライブラリー画面(ホーム画面)の表示方法は、「ユーザー設定画面に入る」☞33ページ。

2 **上下を使って、選択肢メニュー[MMC/SDカードをフォーマットする]を選択します。**

- 項目が選択されると、背面が白く表示されます。

3 **[決定/ジャンプ]または 中央を押すと、「MMC/SDカードをフォーマットしますか？」と表示され、画面の下に[OK]と[キャンセル]が表示されます。**

4 **[OK]に相当するソフトキー1を押すと、装着したカードがフォーマットされます。**

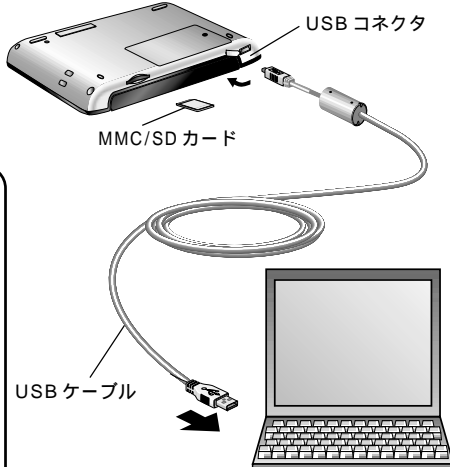
- [キャンセル]に相当するソフトキー 5 を押すと、フォーマットされずに元のホーム画面に戻ります。

USB ケーブルを接続する

本体に、パソコンからコンテンツをダウンロードするには、本体にカードを装着し、本体とパソコンを付属の USB ケーブルで接続しておこないます。左図を参照してUSBケーブルを接続してください。

注意

- カードは、本機を必ず**オフ**にしてから装着、取りはずしを行ってください。

  カードを装着 / 取り外しする（☞46 ページ）
- パソコンからのコンテンツのダウンロード方法等の詳細は、別冊の『DB-J 付属 CD-ROM取扱説明書』を参照して行ってください。
- 必ず付属の USB ケーブルを使用してください。

イヤホンを接続する

音声付きのコンテンツを本体のスピーカーから直接聴くことができますが、付属のイヤホンを接続して音声を聴くこともできます。左図を参照してイヤホンを接続してください。

注意

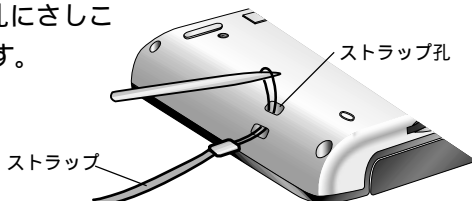
- 必ず付属のイヤホンを使用してください。

本体

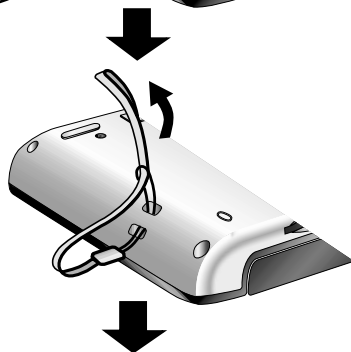
イヤホン

ストラップを付ける

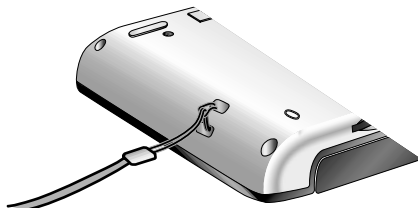
本体左側面にあるストラップ孔を利用して、ストラップを取り付けることができます。

1 ストラップの細い方のひもを孔にさしこみ、先の細い物で引き出します。

ストラップ孔

ストラップ

2 太い方のひもを、引き出した細いひもの中に確実に通し、引っ張ります。

注意

ストラップを持って振り回さないでください。

故障・けがの原因となることがあります。

ここでは、本体での共通の基本操作について説明します。

コンテンツの選択

例：「e ブック」中の「ジーニアス和英辞典」を選択する

1 **⏻ を押し、本体の電源を入れます。**

例：[今日の単語]:オフ

SII by Franklin

↓

2 **ライブラリー を押し、ライブラリー画面（ホーム画面）にします。**

3 **ライブラリー画面の下の各[カテゴリー]に相当するソフトキーを押すと、選択した[カテゴリー]に収録されているコンテンツが表示されます。**

例：「e ブック」

- e ブック：電子書籍カテゴリー
- e ニュース：電子ニュースカテゴリー
- その他：オリジナル書類カテゴリー
- テスト：Cracking the TOEIC®

注意

- 電源投入時のホーム画面は、e ブックのカテゴリー画面となります。

4 上下左右で、使用するコンテンツを選択し、反転表示させます。

- 上：上へ1つ移動
- 下：下へ1つ移動
- 左：前ページへ移動
- 右：次ページへ移動

5 決定/ジャンプ または 中央を押すと、選択したコンテンツの初期画面が表示されます。

文字入力

文字/数字入力キーを使って、入力します。

例：「post」と入力します。

英単語を入力した場合は、入力したアルファベットがそのまま表示されます。

スペースを入れるには、スペース を押します。

（CAP 入力）

CAP を押しながらアルファベットキーを押すとアルファベットの大文字が入力できます。

- CAP＋.’で、「 ’」を入力することができます。
- CAP＋? *で、「*」を入力することができます。

（リアルタイム検索）

1文字入力するごとに、該当する見出しリストが変わります。

- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。
- 和英辞典では、アルファベットのキーでローマ字入力すると、自動的にひらがなに変換されて表示されます。
- ローマ字入力と「かな」の対応については、「ローマ字/かな対応表」を参照してください。（☞248 ページ）

入力文字の削除

入力した最後の文字の削除は、単に ⇐ を押します。

例：誤って「poet」と入力した文字を「post」に訂正する場合

1 ◎ 左を 1 回押して、「e」の右側へカーソルを移動します。

poe|t

2 1文字削除するために、⇐ を押します。

po|t

3「s」を入力します。
文字を入力すると、カーソルのある文字の前に入ります。

pos|t

入力文字の全削除

入力した文字を一括ですべて削除してから、入力し直すことができます。

例：誤って「tacsi」と入力した文字をすべてクリアして、「taxi」と入力し直す場合

1 クリア をタッチすると､入力したすべての文字が削除されます。

tacsi

↓ クリア

|

2「taxi」を入力します。

taxi|

一部を省略した入力（ワイルドカード）

?* を押してワイルドカード「？、＊」を入力すると、一部を省略して入力することができます。ことばの読みやスペルの一部がわからなくても、見出し語を検索することができます。（マッチメーカー機能）

？ わからない部分の１文字の代わりをします。

＊ わからない部分の複数文字の代わりをします。ただし、＊は、複数入力しても意味がありません。

例：「pos?」と入力し 決定/ジャンプ を押します。

「pos」で始まる見出し語が表示されます。「?」が１文字の代わりをするので、全体で４文字の見出し語だけがリスト表示されます。

例：「po＊t」と入力し 決定/ジャンプ を押します。

「po」で始まり「t」で終わる見出し語が表示されます。「＊」が複数文字の代わりをするので、文字数に関係なく、該当する全ての見出し語がリスト表示されます。

● CAP ＋ ?* で、「＊」を入力することができます。

見出し語の選択

表示された見出しリストから、調べたい見出し語を選択します。

例： ◎ 上下を使って、「post⁴」を選択します。（反転表示させます。）
確定には、決定/ジャンプ または ◎ 中央を押します。

解説 / 訳の全画面表示

見出し語の選択画面で見出し語を選択した後、決定/ジャンプ を押すと、選択した見出し語の解説 / 訳の全画面表示になります。

全画面表示

＜解説 / 訳の全画面表示画面＞

- FN を押しながら 左右を使うと、前後の見出し語の解説／訳の全画面表示に移動します。

画面のスクロール

画面が長い場合には、スクロールさせて、画面の続きを見ることができます。

画面右側に スクロールバーが表示された場合は、画面に表示しきれない内容があることを示します。

- 上下を使うと、画面は 1 行ずつスクロールされます。
- 左右を使うと、画面は 1 ページずつスクロールされます。
- ただし、解説／訳の全画面表示の中に例文マークなどのリンクがある場合には、直前または直後のリンクをハイライト表示します。ハイライト表示させたくない場合は、FN を押しながら 上下を使うと、リンクをとばしてページをスクロールします。

1つ前の状態（画面）に戻る

戻る を押すと、いつでも、操作の途中で、1つ前の状態に戻ってやり直すことができます。

見出しの選択、文字入力のやり直しに便利です。

↓ 戻る キー

見出し語の入力画面に戻る

見出し語のリストや見出し語の解説／訳の全画面の表示中に、クリア を押すと見出し語の文字入力の画面（コンテンツの初期画面）に戻ります。

新しい見出し語入力のやり直しに便利です。

↓ クリア キー

メニューの使い方

[メニュー] を押すと、メニューを表示します。メニューは、使用している画面によって、下記の 3 種類があります。

- ・ライブラリー画面でのメニュー画面
- ・コンテンツの初期画面でのメニュー画面
- ・解説 / 訳全画面表示画面でのメニュー画面

それぞれのメニュー画面の使い方について説明します。

注意

テスト画面内の「Cracking the TOEIC」における [メニュー] キーは、他の辞書（含む e ブック）、e ニュース、e 文書内でのはたらきと異なります。
「Cracking the TOEIC」における [メニュー] キーの使い方は、別途「テストを使う」中の各使用モードの使い方の終わりに、[メニュー] キーの使い方として説明しています。

ライブラリー画面でのメニュー

ライブラリー画面で、[メニュー] を押すと、右図に示すメニューが表示されます。

＜メニュー画面構成＞
（ユーティリティ）

- ・MMC/SD カードをフォーマットする
- ・初期設定に戻す

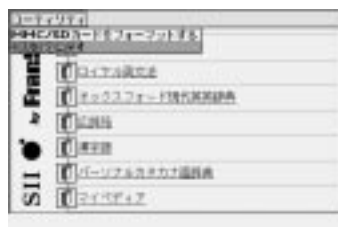
MMC/SD カードをフォーマットする

装着したカードをフォーマットすることができます。

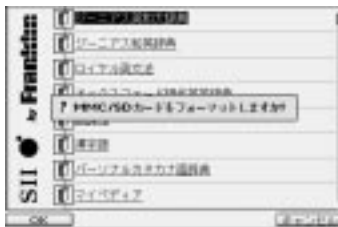
注意

中にデータの入っているカードを装着し、フォーマットを実行すると中に入っていたデータが消去されますのでご注意ください。

1　ライブラリー画面（ホーム画面）で、[メニュー] を押し、ユーティリティ選択画面を表示させます。

- ライブラリー画面（ホーム画面）の表示方法は、「ユーザー設定画面に入る」 ☞33 ページ。
- [メニュー] をもう 1 度押すと、メニューは消えます。

2 上下を使って、選択肢メニューを選択します。

- 項目が選択されると、背面が白く表示されます。

3 決定/ジャンプ または 中央を押すと、「MMC/SD カードをフォーマットしますか？」と表示され、画面の下に[OK]と[キャンセル]が表示されます。

4 [OK]に相当するソフトキー 1 を押すと、装着したカードがフォーマットされます。

- [キャンセル] に相当するソフトキー 5 を押すと、フォーマットされずに元のホーム画面に戻ります。

初期設定に戻す

本体の設定を出荷時の初期設定に戻すことができます。

1 **ライブラリー画面（ホーム画面）で、[メニュー]を押し、ユーティリティ選択画面を表示させます。**

- ライブラリー画面（ホーム画面）の表示方法は、「ユーザー設定画面に入る」 ☞33ページ。
- [メニュー] をもう 1 度押すと、メニューは消えます。

2 **[十字キー] 上下を使って、選択肢メニューを選択します。**

- 項目が選択されると、背面が白く表示されます。

3 **[決定／ジャンプ] または [十字キー] 中央を押すと、「初期設定に戻しますか？」と表示され、画面の下に[OK]と[キャンセル]が表示されます。**

4 **[OK]に相当するソフトキー1を押すと、本体の設定は出荷時の初期設定に戻ります。**

- [キャンセル]に相当するソフトキー 5 を押すと、設定は初期化されずに元のホーム画面に戻ります。

コンテンツの初期画面でのメニュー

コンテンツの初期画面で、メニュー を押すと、右図に示すメニューが表示されます。

＜メニュー画面構成＞

（e ブック）

●編集マーク
●環境設定

（移動）

●最初のページへ移動
●（コンテンツの初期画面）
●版権表示

解説 / 訳全画面表示画面でのメニュー

解説/訳全画面表示画面で、メニュー を押すと、右図に示すメニューが表示されます。

＜メニュー画面構成＞

（e ブック）

●ブックマークを追加（ブックマークを削除）
●編集マーク
●環境設定

（移動）

●最初のページへ移動
●（コンテンツの初期画面）
●版権表示

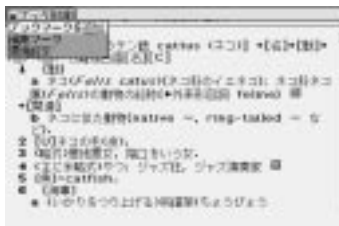
解説/訳全画面表示画面でのメニュー画面構成は、コンテンツの初期画面でのメニューとほぼ同じですが、（設定）メニューに「ブックマークを追加（ブックマークを削除）」が加わります。

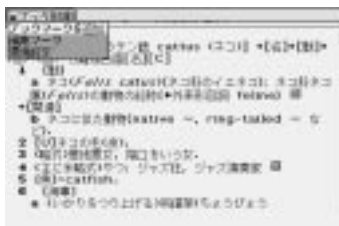
また、すでにブックマークがつけられているものの場合には、「ブックマークの追加」の代わりに「ブックマークを削除」が表示されます。

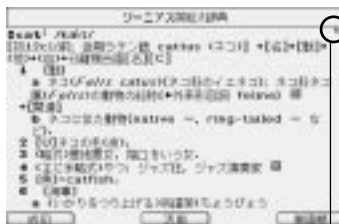
（e ブック）ブックマークを追加

使用中の画面にブックマーク（画面右上角の折り返しマーク）をつけることができます。

1 **解説/訳全画面表示画面で、[メニュー] を押し、メニュー画面を表示させます。**

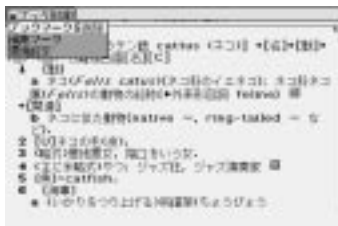
- 解説/訳全画面表示画面の表示方法は、☞56ページ。
- [メニュー] をもう 1 度押すと、メニューは消えます。

2 **[◎] 上下を使って、（設定）の下の[ブックマークを追加]を選択します。**

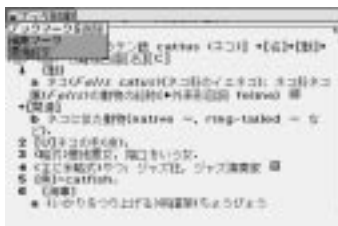
- 項目が選択されると、背面が白く表示されます。

3 **[決定/ジャンプ] または [◎] 中央を押すと、ブックマークが追加され、元の解説 / 訳全画面表示画面に戻ります。**

- ブックマーク（画面右上角の折り返しマーク）が付きます。

（e ブック）ブックマークを削除

ブックマーク（画面右上角の折り返しマーク）を削除することができます。

1 **ブックマークをつけた解説/訳全画面表示画面で、[メニュー]を押し、メニューを表示させます。**

- 解説/訳全画面表示画面の表示方法は、☞56ページ。
- [メニュー]をもう 1 度押すと、メニューは消えます。

2 **上下を使って、（設定）の下の[ブックマークの削除]を選択します。**

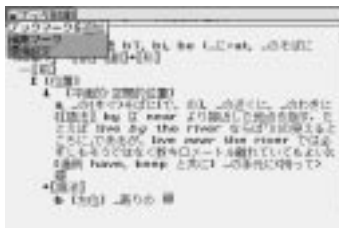
- 項目が選択されると、背面が白く表示されます。

3 **[決定/ジャンプ]または 中央を押すと、ブックマークが削除され、元の解説/訳全画面表示画面に戻ります。**

- ブックマーク（画面右上角の折り返しマーク）が消えます。

（e ブック）編集マーク

編集マークをつけた項目をリスト表示することができます。リスト中には、Mobipocket Readerで付けたコメントや修正コメントを見ることができます。また、そのリスト表示から編集マークをつけた項目へジャンプすることができます。

1 **解説/訳全画面表示画面で、[メニュー] を押し、メニューを表示させせます。**

● [メニュー] をもう 1 度押すと、メニューは消えます。

2 **[十字キー] 上下を使って、(eブック)の下の[編集マーク]を選択します。**

● 項目が選択されると、背面が白く表示されます。

3 **[決定/ジャンプ] または [十字キー] 中央を押すと、編集マーク画面が表示されます。**

4 **編集マーク画面で、[十字キー] 上下を使って、見たい項目を選択します。**

● 項目が選択されると、反転表示されます。

5 決定／ジャンプ または 中央を押すと、選択した項目の解説/訳画面を全画面表示することができます。

＜編集マークリストでのメニュー画面構成＞

（e ブック）

●環境設定

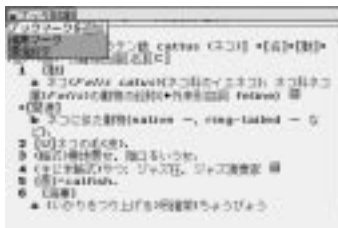
（移動）

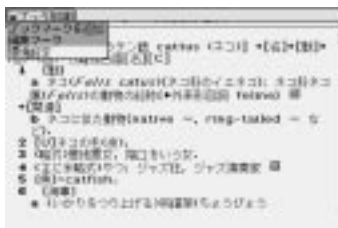
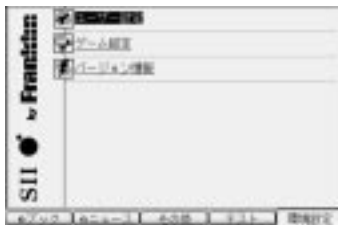
●最初のページへ移動

（e ブック）環境設定

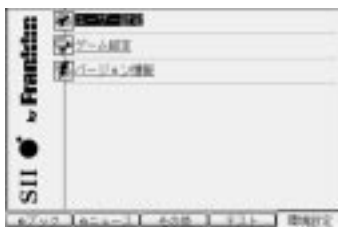
環境設定画面を表示することができます。

1 **解説/訳全画面表示画面で、[メニュー] を押し、メニューを表示させます。**

● [メニュー] をもう 1 度押すと、メニューは消えます。

2 **上下を使って、（e ブック）の下の[環境設定]を選択します。**

● 項目が選択されると、背面が白く表示されます。

3 **[決定/ジャンプ] または 中央を押すと、環境設定画面が表示されます。**

4 **環境設定画面で、上下を使って、見たい項目を選択します。**

● 項目が選択されると、反転表示されます。

以降の操作は、「操作環境の設定をする（環境設定を使う）」（☞33 ページ）をご覧ください。

（移動）最初のページへ移動

使用コンテンツの最初のページへ移動し表示することができます。

1 **解説/訳全画面表示画面で、[メニュー] を押し、メニューを表示させます。**

● [メニュー] をもう 1 度押すと、メニューは消えます。

2 **[◎] 上下左右を使って、（移動）の下の[最初のページへ移動]を選択します。**

● 項目が選択されると、背面が白く表示されます。

3 **[決定/ジャンプ] または [◎] 中央を押すと、使用中のコンテンツの最初のページが表示されます。**

（移動）コンテンツの初期画面

使用中のコンテンツの初期画面へ移動し表示することができます。

1 解説/訳全画面表示画面で、[メニュー]を押し、メニューを表示させます。

- [メニュー]をもう１度押すと、メニューは消えます。

2 [◎]上下左右を使って、（移動）の下の［（コンテンツの初期画面）］を選択します。

例：ジーニアス英和大辞典

- 項目が選択されると、背面が白く表示されます。

3 [決定/ジャンプ]または[◎]中央を押すと、使用中のコンテンツの初期画面が表示されます。

ヒント

[クリア]キーを押すことでも、コンテンツの初期画面に移動できます。

（移動）版権表示

使用中のコンテンツの版権表示画面を表示することができます。

1 **解説/訳全画面表示画面で、[メニュー] を押し、メニューを表示させます。**

● [メニュー] をもう 1 度押すと、メニューは消えます。

2 **上下左右を使って、（移動）の下の[版権表示]を選択します。**

● 項目が選択されると、背面が白く表示されます。

3 **[決定/ジャンプ] または 中央を押すと、使用中のコンテンツの版権表示画面が表示されます。**

単語帳の使い方

辞書モードで検索した見出し語を単語帳（英語）と単語帳（日本語）合わせて、合計1000件まで登録できます。必要なときにすぐに辞書画面を呼び出すことができます。

単語帳リスト表示

1 見出し語の解説 / 訳の全画面表示で、画面の下の[単語帳]に相当するソフトキー 5 を押すと、単語帳リスト表示画面が表示されます。

↓ [単語帳]

- 見出し語は、英語単語帳と日本語単語帳にわけて、合計 1000 件まで登録できます。
- 英語単語帳と日本語単語帳の切替は、単語帳画面の下の[言語]に相当するソフトキー 4 を押すごとに切り替えることができます。ただし、どちらか一方の単語帳しかない場合は、[言語]は表示されず、英語単語帳と日本語単語帳を切り替えることはできません。

＜日本語単語帳画面＞

← → [言語]

＜英語単語帳画面＞

広辞苑 :広辞苑
漢字源 :漢字源
百科 :マイペディア
和英 :ジーニアス和英辞典
カタカナ :パーソナルカタカナ語辞典

英和 :ジーニアス英和大辞典
OALD :オックスフォード英英辞典

- 見出し語の解説 / 訳の全画面表示が、単語帳にまだ登録されていない場合は、下図のように、単語帳リスト上に[“ xxx ”をリストに追加しますか？]の表示画面が表示されます。“ xxx ”は選択した単語を示します。

見出し語の登録

1 **見出し語の解説 / 訳の全画面表示で、画面の下の[単語帳]に相当するソフトキー 5 を押すと、単語帳リスト上に、[“ xxx ”をリストに追加しますか？]の表示画面が表示されます。**

“ xxx ” は選択した単語を示します。

↓ [単語帳]

2 **画面の下の[OK]に相当するソフトキー 1 を押すと、その見出し語を単語帳に登録することができます。**

・見出し語は、合計で 1000 件まで登録できます。
・同じ見出し語をだぶって登録することはできません。
・[キャンセル]に相当するソフトキー 5 を押すと、単語帳には登録せずに、元の単語帳リスト画面に戻ります。

登録した単語の呼出し

1 **単語帳リスト表示画面で、 上下を使って、呼び出したい単語を選択し、反転表示させます。**

・単語帳リスト表示画面（☞70 ページ）
・単語帳（日本語）と単語帳（英語）は、[単語帳切替]に相当するソフトキー4で切り替えることができます。

2 **または 中央を押すと、選択した単語の全画面表示画面が表示されます。**

単語帳への追加

見出し語の登録（☞71ページ）で示した手順での単語帳への登録のしかたとは別に、単語帳画面から直接、文字列を入力して辞書検索をして、その単語を単語帳に登録することもできます。

1 **単語帳リスト表示画面で、画面の下の[追加]に相当するソフトキー 1 を押すと、単語入力画面が表示されます。**

2 **追加したい単語のテキストを文字 / 数字入力キーを使って入力し、 または 中央を押すと、候補辞書名選択画面が表示されます。**

例：「LEXICON」と入力

・ の替わりに、画面下の[追加]に相当するソフトキー 1 を押すこともできます。

3 **上下を使って、辞書名を選択し、決定/ジャンプまたは 中央を押すと、単語帳に新たに登録することができます。**

登録した単語の削除

1 **単語帳リスト表示画面で、 上下を使って、削除したい単語を選択し、反転表示させます。**

・単語帳リスト表示画面（☞70 ページ）

2 **画面の下の[削除]に相当するソフトキー2を押すと、『“ XXX ”をリストから削除しますか？』が表示されます。**

“ XXX ” は選択した単語を示します。

3 **画面の下の[OK]に相当するソフトキー1を押すと、単語が単語帳リスト画面から削除されます。**

・画面の下の[キャンセル]に相当するソフトキー 5 を押すと、単語は削除されずに、元の単語帳リスト表示画面に戻ります。

単語帳リストの単語にマークをつける

登録した単語の先頭に、3 種類のマーク（•、√、！）をつけることができます。

1 **単語帳リスト表示画面で、◎ 上下を使って、マークをつけたい単語を選択し、反転表示させます。**

・単語帳リスト表示画面のしかたは、(☞70ページ)

2 **画面の下の[マーク]に相当するソフトキー 3 を押すと、単語の先頭のマークが切り替わります。**

・[マーク]に相当するソフトキー 3 を押すたびにマークは切り替わります。

・マークの種類：•、√、！

単語帳リスト画面を閉じる

1 **単語帳リスト表示画面で、画面の下の[閉じる]に相当するソフトキー 5 を押すと、単語帳リスト表示画面は閉じて、単語帳に入る前の画面に戻ります。**

・単語帳リスト表示画面は、(☞70 ページ)

↓ [閉じる]

履歴機能の使い方

検索履歴画面を表示する

1 履歴 **を押すと、検索履歴画面が表示されます。**

履歴画面のメニュー表示

1 **検索履歴画面で、** メニュー **を押すと、メニュー画面が表示されます。**

<メニュー画面構成>

（e ブック）

環境設定：環境設定画面へ移動します。

（移動）

最初のページへ移動：履歴画面の最初のページへ移動します。

↓ メニュー

履歴の削除

1 **履歴画面で、画面の下の[リセット]に相当するソフトキー 1 を押すと、履歴画面がリセット表示されます。**

↓ [リセット]

履歴画面を閉じる

1 **履歴画面で、画面の下の[閉じる]に相当するソフトキー 5 を押すと、履歴画面を表示する前の画面に戻ります。**

↓ [閉じる]

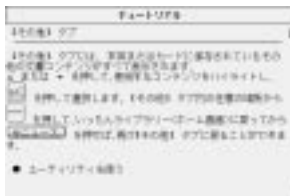
ヘルプ機能の使い方

ヘルプ画面を表示する

ヘルプ は、各 e ブック、e ニュース、その他、テスト、環境設定カテゴリーの初期画面においてのみ有効です。各選択カテゴリーに対応したヘルプ画面を見ることができます。操作に迷ったときなどのガイドとしてお使いください。

1 **各カテゴリーの初期画面で、ヘルプ を押すと、ヘルプ画面が表示されます。**

<[e ブック]のヘルプ画面>

<[e ニュース]のヘルプ画面>

<[その他]のヘルプ画面>

<[テスト]のヘルプ画面>

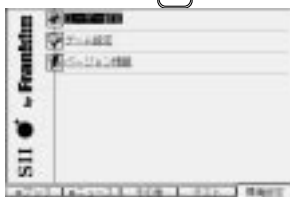
<[環境設定]のヘルプ画面>

<全画面のスクロール>

上下：1 行づつ

左右：ページごと

ヘルプ画面を閉じる

1 **ヘルプ画面を閉じるには、戻る を押すと、選択しているカテゴリーの初期画面に戻ります。**

ジャンプ・編集機能の使い方

解説 / 訳の全画面表示画面やその他 e ブック、e ニュース、e 文章の画面では、ジャンプ・編集機能を使うことができます。
ジャンプ・編集機能では、下記のことができます。

- ・参照　　　　　：1 言語辞書（広辞苑、英英辞典など）の参照ジャンプ機能
- ・翻訳　　　　　：2 言語辞書（英和、和英辞典など）を使っての翻訳ジャンプ機能
- ・コピー　　　　：コピー機能
- ・ハイライト表示：ハイライト表示機能

ジャンプ・編集モードへの入り方

1 **解説 / 訳の全画面表示画面で、[決定／ジャンプ] または [◎] 中央を押し、画面の左上に反転表示のカーソルを表示させます。**

2 **調べたい単語を [◎] を使って選択し、反転表示させ、[決定／ジャンプ] または [◎] 中央を押すとジャンプ・編集モードのメニューが表示されます。**

・文字が灰色で表示されるメニューは無効となります。

ジャンプ・編集モードメニューを使う

参照

1 言語辞書を使って、選択語句の参照ジャンプをすることができます。

1 **解説/訳の全画面表示画面で、[決定/ジャンプ] を押し、画面の左上に反転表示のカーソルを表示させます。**

2 **調べたい単語を [カーソル] 上下左右を使って選択し、反転表示させ、[決定/ジャンプ] または [カーソル] 中央を押すとジャンプ・編集モードのメニューが表示されます。**

・文字が灰色で表示されるメニューは無効となります。

3 **[カーソル] 上下を使って[参照]を選択し、背面を白く表示させ、[決定/ジャンプ] または [カーソル] 中央を押すと、検索候補辞書の選択画面が表示されます。**

4 **[カーソル] 上下を使って[辞書]を選択し、反転表示させ、[決定/ジャンプ] または [カーソル] 中央を押すと、見出し語候補の選択画面が表示され、選択して [決定/ジャンプ] または [カーソル] 中央を押すと、解説 / 訳の全画面表示画面が表示されます。**

↓ [決定/ジャンプ]

翻訳

2 言語辞書を使って、選択語句の翻訳ジャンプをすることができます。

1 **解説 / 訳の全画面表示画面で、 または 中央を押し、画面の左上に反転表示のカーソルを表示させます。**

2 **調べたい単語を を使って選択し、反転表示させ、 または 中央を押すとジャンプ・編集モードのメニュー画面が表示されます。**

・文字が灰色で表示されるメニューは無効となります。

3 ** を使って[翻訳]を選択し、反転表示させ、 または 中央を押すと、解説 / 訳の全画面表示画面が表示されます。**

↓

ヒント （参照と翻訳の違いについて）

「参照」とは、ある単語に対して同じ言語による解説（意味や定義など）を調べたいときに使います。例えば、日本語の単語を選択すると、日本語の 1 言語辞書（国語辞典や漢和辞典など）が、また英単語を選択すると、英語の 1 言語辞書（英英辞典や英語百科事典など）が、そのジャンプ先の候補辞書となります。

「翻訳」とは、ある単語に対して他の異なった別の言語による訳（言い換えや解説など）を調べたいときに使います。例えば、日本語の単語を選択すると、日本語から他言語への 2 言語辞書（和英辞典や和仏辞典など）が、また英単語を選択すると、英語から他言語への 2 言語辞書（英和辞典や英仏辞典など）が、そのジャンプ先の候補辞書となります。

コピー

1 **解説/訳の全画面表示画面で、[決定/ジャンプ] または [◎] 中央を押し、画面の左上に反転表示のカーソルを表示させます。**

2 **コピーしたい単語を [◎] 上下左右を使って選択し、反転表示させ、[決定/ジャンプ] または [◎] 中央を押すとジャンプ・編集モードのメニューが表示されます。**

3 **[◎] 上下を使って[コピー]を選択し、[決定/ジャンプ] または [◎] 中央を押すと、選択した文字がコピーされた状態になります。**

例：「sea」をコピー

4 **コンテンツの入力画面に戻って [メニュー] を押して[貼り付け]を選択し、[決定/ジャンプ] または [◎] 中央を押すと、コピーした文字・単語を貼り付けることができます。**

例：コピーした「sea」を貼り付け

ハイライト（ハイライト取り消し）

1 **解説/訳の全画面表示画面で、[決定/ジャンプ] または 中央を押し、画面の左上に反転表示のカーソルを表示させます。**

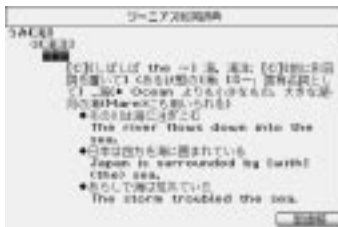
2 **単語を を使って選択し、反転表示させ、[決定/ジャンプ] または 中央を押すとジャンプ・編集モードのメニューが表示されます。**

・灰色で表示されるメニューは無効となります。

3 **を使って[ハイライト表示]を選択し、背面を白く表示させ、[決定/ジャンプ] または 中央を押すと、解説/訳の全画面表示画面の選択部分がハイライト表示されます。**

ハイライト表示では、選択部分が灰色に塗られます。

・ハイライト表示部分を再度選択すると、ジャンプ・編集モードのメニューが、「ハイライト表示」の代わりに「ハイライト表示取り消し」になります。「ハイライト表示取り消し」を選択するとハイライト表示が取り消されます。

↓ [決定/ジャンプ]

ここでは、e ブック画面の使い方について説明します。
本機に収録されている「ジーニアス英和大辞典」、「ジーニアス和英辞典」、「オックスフォード現代英英辞典」、「ロイヤル英文法」、「広辞苑」、「逆引き広辞苑」、「漢字源」、「マイペディア」、「パーソナルカタカナ語辞典」の使い方はこちらをご覧ください。
また、パソコンからダウンロードした電子書籍コンテンツもeブックのカテゴリーに組み込まれます。ここでは、ダウンロードした電子書籍コンテンツの一例を使って、その使い方を説明します。
また、本機のチュートリアルも搭載しています。操作ガイドとしてお使いください。

eブック画面を表示する

1 **[ライブラリー] を押し、画面の下の[eブック]に相当するソフトキー 1 を押すと、e ブック画面が表示されます。**

- どの画面からも、[ライブラリー] を押すと、e ブック画面（ホーム画面）となります。

＜e ブック画面＞

チュートリアルを見る

本機の取り扱いガイドを記したチュートリアルを目次から検索し参照することができます。

1 **eブック画面で、 上下を使って、[チュートリアル]を選択し、反転表示にします。**

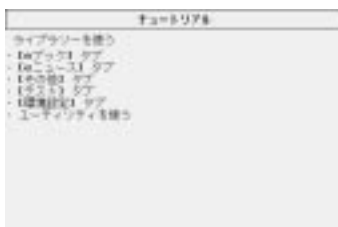
- eブック画面への入り方は、「eブック画面を表示する」を参照してください。（☞84ページ）

2 **[決定/ジャンプ] または 中央を押し、[チュートリアル]の目次画面を表示します。**

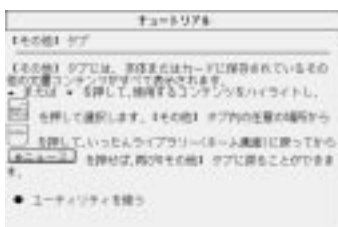
3 **[チュートリアル]の目次画面で、 上下を使って、見たい項目を選択し反転表示します。**

例：「ライブラリーを使う」を選択

4 **[決定/ジャンプ] または 中央を押すと、選択した項目の選択画面を表示します。**

- [戻る] を押すと、[チュートリアル]の目次画面に戻ることができます。

5 **上下を使って、見たい項目を選択し反転表示にさせ、[決定/ジャンプ] または 中央を押すと、選択した項目の全画面表示画面を表示します。**

例：「[その他]タブ」を選択

- [戻る] を押すと、前の画面に戻ることができます。

ジーニアス英和大辞典を使う

大修館書店「ジーニアス英和大辞典」の内容を収録しました。

（見出し語検索）

- 類似する単語を検索できます。
- 部分的にスペルのわからない英単語も検索できます。
- 入力した見出し語が変化形であった場合、プレビュー画面からその原形を知ることができます。
- 見出し語に付随する例文、成句、活用形、類音語を検索できます。

（成句検索、例文検索）

- 入力した特定の（単数または複数）を使った成句または例文を「ジーニアス英和辞典」のデータからピックアップして、その意味を解説します。

見出し語を検索する

例：ジーニアス英和大辞典で「hurry」の英和訳を調べる

1 **eブック画面で、 上下を使って、[ジーニアス英和大辞典]を選択し、反転表示にします。**

- eブック画面への入り方は、「eブック画面を表示する」を参照してください。（☞84ページ）

2 **または 中央を押し、[ジーニアス英和大辞典]の初期画面を表示します。**

<ジーニアス英和大辞典の初期画面>

3 **文字/数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。**

例：「hurry」と入力

入力した文字列に該当する見出しリストが表示されます。

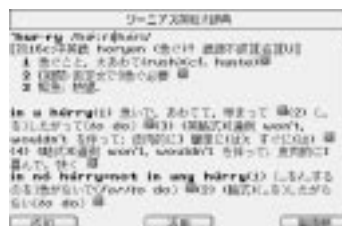
- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。また、[決定/ジャンプ]を押すとスペル訂正機能がはたらき、類似する単語のリストが表示されます。
- 見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「？」またはを「スペース」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当する候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」53 ページ
「入力文字の削除」54 ページ
「一部を省略した入力」55 ページ

5 上下を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「hurry」を選択

この例では既に目的の見出し語「hurry」が選択されています。

6 [決定/ジャンプ] または 中央を押すと、選択した見出し語の英和訳が、全画面表示されます。

ヒント

入力した見出し語が変化形であった場合、プレビュー画面からその原形を知ることができます。

例：「knives」を入力した場合

最初の候補のプレビューから「knife」の変化形であることがわかり、その原形の意味をすぐに知ることができます。

次の候補は、辞書の見出し語である「knives」を表示しています。

見出し語に付随する例文を見る

英和辞典で調べた単語に付随する例文を見ることができます。

例：ジーニアス英和大辞典の「hurry」に関連する例文を見る

1 **hurryの英和訳の全画面表示で、◎上下を使って調べたい例文マークを選択します。**

- 例文は、英和訳の全画面表示に例文マークがあるときに見ることができます。例文マークが表示されていないときは、予め画面をスクロールし、例文マークが見えるようにします。
  例文マーク：→文
- 選択された例文マークは、反転表示されます。

2 **決定/ジャンプ または ◎ 中央を押すと、選択した例文マークの解説画面が表示されます。**

見出し語に付随する成句を見る

英和辞典で調べた見出し語に付随する成句を検索することができます。

例：ジーニアス英和大辞典の「hurry」に関連する成句を調べる

1 **hurryの英和訳の全画面表示で、画面の下の[成句]に相当するソフトウェアキー 1 を押します。**

見出し語に付随する成句リストが表示されます。

2 **上下を使って、調べたい成句を選択します。**

例：「hurry up and wait」を選択

- 画面の下の[閉じる]に相当するソフトキー 5 を押すと、前の画面に戻ります。

3 **または 中央を押すと、選択した成句が全画面表示されます。**

見出し語の活用形を検索する

英和辞典で調べた見出し語の活用形を検索することができます。

例：ジーニアス英和大辞典の「hurry」の活用形を調べる

1 **hurryの英和訳の全画面表示で、画面の下の[活用]に相当するソフトキー3 を押します。**

見出し語の活用形が表示されます。

[活用]

2 **画面の下の[時制]に相当するソフトキー2を押し、調べたい活用形を 上下を使って選択します。**

例：「現在進行形」を選択

下

3 **決定/ジャンプ または 中央を押すと、選択した活用形が全画面表示されます。**

- 画面の下の[閉じる]に相当するソフトキー 5 を押すと、前の画面に戻ります。

見出し語の類音語を検索する

英和辞典で調べた見出し語の類音語を検索することができます。ただし、類音語のない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

例：ジーニアス英和大辞典の「air」の類音語を調べる

1 **airの英和訳の全画面表示で、画面の下の[類音語]に相当するソフトキー4 を押します。**

見出し語の類音語が表示されます。

2 **を押し、ジャンプモードに入り、上下を使って、調べたい類音語を選択します。**

例：「heir」を選択

- 画面の下の[閉じる]に相当するソフトキー 5 を押すと、前の画面に戻ります。

3 **または 中央を押すと、選択した類音語のジャンプ・編集モードを使うことができます。**

特定の英単語を含む成句を検索する

入力した英単語（単／複数）を含む成句を「ジーニアス英和大辞典」の全データの中から検索します。

例：ジーニアス英和大辞典で「take」と「care」を含む成句を調べる

1 **[ジーニアス英和大辞典]の初期画面を表示します。**

● [ジーニアス英和大辞典]の初期画面
（☞86 ページ）

2 **画面の下の［成句］に相当するソフトキー 1 を押します。**

［成句］入力画面が表示されます。

3 **文字 / 数字入力キーを使って、調べたい成句に含まれる英単語のスペルを入力し、［決定／ジャンプ］を押します。**

例：「take［スペース］care」と入力

入力した英単語を含む成句リストが表示されます。

● 複数の英単語を［スペース］を押して、区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む成句リストが表示されます。

●「スペース」を入力する前は前方一致です。

●「英単語［スペース］」と入力すると、その英単語の変化形を使っている成句も検索します。

例：「take［スペース］」と入力
take、takes、taking、takenを使っている成句を検索します。

● 入力した英単語を含む成句がない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

4 上下を使って、調べたい成句を選択し反転表示にします。

例：「take O into care」を選択

< 成句リストのスクロール >

上下　：1 行ずつ

- 画面の下の[閉じる]に相当するソフトキー 5 を押すと、前の画面に戻ります。

5 または 中央を押すと、選択した成句の全画面表示画面が表示されます。

選択した成句の解説が、全画面表示されます。

< 全画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ

左右　：ページごと

- 左右を使うと、全画面表示のまま、次または 1 つ前の成句解説を表示することができます。手順 **3** で表示した成句リストの順で表示されます。

特定の英単語を含む例文を検索する

入力した英単語（単／複数）を含む例文を「ジーニアス英和大辞典」の全データの中から検索します。

例：ジーニアス英和大辞典で「take」と「care」を含む例文を調べる

1 **[ジーニアス英和大辞典]の初期画面を表示します。**

● [ジーニアス英和大辞典]の初期画面（☞86ページ）

2 **画面の下の［例文］に相当するソフトキー2を押します。**

［例文］入力画面が表示されます。

3 **文字/数字入力キーを使って、調べたい例文に含まれる英単語のスペルを入力し、[決定／ジャンプ] を押します。**

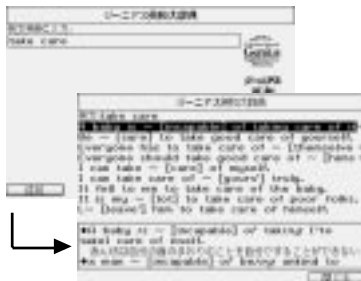
例：「take[スペース]care」と入力

入力した英単語を含む例文リストが表示されます。 [決定／ジャンプ]

● 複数の英単語を [スペース] を押して、区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む例文リストが表示されます。

●「スペース」を入力する前は前方一致です。

●「英単語[スペース]」と入力すると、その英単語の変化形を使っている成句も検索します。

例：「take[スペース]」と入力
take、takes、taking、takenを使っている例文を検索します。

● 入力した英単語を含む例文がない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

4 上下を使って、調べたい例文を選択し反転表示にします。

例：「Everyone should take good car...]」を選択

< 例文リストのスクロール >

上下　：1 行ずつ

5 または 中央を押すと、選択した例文の全画面表示画面が表示されます。

選択した例文の解説が、全画面表示されます。

< 全画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ

左右　：ページごと

- 画面の下の[閉じる]に相当するソフトキー 5 を押すと、前の画面に戻ります。

ジーニアス和英辞典を使う

大修館書店「ジーニアス和英辞典 第 2 版」の内容を収録しました。

・慣用句、複合語、派生語も直接検索できます。

見出し語を検索する

例：「要求」の和英訳を調べる

1 **e ブック画面で、◎ を使って、[ジーニアス和英辞典]を選択し、反転表示にします。**

● e ブック画面への入り方は、「e ブック画面を表示する」を参照してください。（☞84 ページ）

2 **決定/ジャンプ または ◎ 中央を押し、[ジーニアス和英辞典]の初期画面を表示します。**

3 文字 / 数字入力キーを使って、調べたい日本語を入力します。

例：ローマ字で、「YOUKYUU」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストとプレビュー（解説の一部）が表示されます。

- ローマ字入力と「かな」の対応については「ローマ字 / かな対応表」を参照してください。（☞248 ページ）
- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「？」または「＊」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

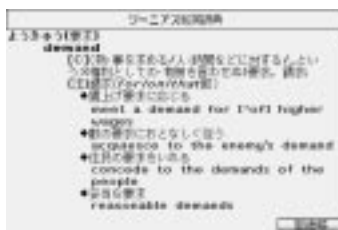
☞ 「文字入力」53 ページ
「入力文字の削除」54 ページ
「一部を省略した入力」55 ページ

4 上下を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「要求」を選択

< 見出しリストのスクロール >

上下　：1 行ずつ
左右　：ページごと

5 または 中央を押すと、選択した見出し語の和英訳が、全画面表示されます。

派生語、慣用句、複合語を検索する

派生語、慣用句、複合語を直接検索することができます。

例：「改訂する」を調べる

1 **[ジーニアス和英辞典]の初期画面で、文字/数字入力キーを使って、派生語の読みを入力します。**

例：「KAITEISURU」と入力

該当する見出しリストが表示されます。

2 **上下を使って、調べたい見出し語を選択します。**

例：そのまま「改訂する」を選択

3 **または 中央を押すと、選択した見出し語の和英訳が、全画面表示されます。**

4 **左を押します。**

「改訂」の和英訳が全画面表示されます。

オックスフォード現代英英辞典を使う

オックスフォード大学出版局「オックスフォード 現代英英辞典 第 6 版」の内容を収録しました。

（見出し語検索）

- 類似する単語を検索できます。
- 部分的にスペルのわからない英単語も検索できます。
- 入力した見出し語が変化形であった場合は、プレビュー画面からその原形を知ることができます。
- 入力した見出し語が動詞である場合、入力した動詞からなる句動詞（動詞＋副詞、動詞＋前置詞などの形からなり、全体で 1 つの動詞としてはたらくもの）を知ることができます。
- 活用形、類音語を検索することができます。

（成句検索）

- 成句検索画面から、入力した英単語（単数または複数）を使った成句を「オックスフォード現代英英辞典」からピックアップします。

（例文検索）

- 成句検索画面から、入力した英単語（単数または複数）を使った例文を「オックスフォード現代英英辞典」からピックアップします。

見出し語を検索する

例：「public 」の意味を調べる

1 **e ブック画面で、 上下を使って、[オックスフォード現代英英辞典]を選択し、反転表示にします。**

- e ブック画面への入り方は、「e ブック画面を表示する」を参照してください。（☞84 ページ）

2 **決定/ジャンプ または 中央を押し、[オックスフォード現代英英辞典]の初期画面を表示します。**

＜オックスフォード現代英英辞典の初期画面＞

3 **文字 / 数字入力キーを使って、調べたい英単語のスペルを入力します。**

例：「public 」と入力

入力した文字列に該当する見出しリストと、プレビュー（解説の一部）が表示されます。

- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。また、決定/ジャンプを押すと、スペル訂正機能がはたらき、類似する単語のリストが表示されます。
- 見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「？」または「スペース」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

☞「文字入力」53 ページ、「入力文字の削除」54 ページ、「一部を省略した入力」55 ページ

4 上下を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「public」を選択

この例では既に目的の見出し語「public」が選択されています。

<見出しリストのスクロール>

上下：1 行ずつ　左右：ページごと

5 決定/ジャンプ または 中央を押すと、選択した見出し語の解説が、全画面表示されます。

選択した見出し語の解説が、全画面表示されます。

<全画面のスクロール>

上下：1 行ずつ　左右：ページごと

ヒント

入力した見出し語が変化形であった場合、プレビュー画面からその原形を知ることができます。

例：「knives」を入力した場合

最初の候補のプレビューから「knife」の変化形であることがわかり、その原形の意味をすぐに知ることができます。

次の候補は、辞書の見出し語である「knives」を表示しています。

ヒント

入力した見出し語が動詞である場合、入力した動詞からなる句動詞（動詞＋副詞、動詞＋前置詞などの形からなり、全体で 1 つの動詞としてはたらくもの）を知ることができます。

例：「pull」を入力した場合

「pull ahead」、「pull apart」、「pull at」などの句動詞を知ることができます。

「pull apart」にはもうひとつ異なる意味があることもわかります。

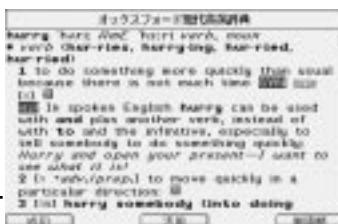
見出し語に付随する成句を検索する

英和辞典で調べた見出し語に付随する成句を検索することができます。

例：オックスフォード現代英英辞典の「hurry」に関連する成句を調べる

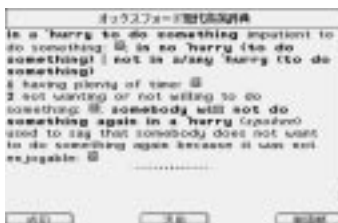
1 **hurryの英和訳の全画面表示で、画面の下の[成句]に相当するソフトキー1 を押します。**

見出し語に付随する成句リストが表示されます。

[成句]

2 **上下を使って、調べたい成句を選択します。**

例：「in a hurry to do something」を選択

- 画面の下の[閉じる]に相当するソフトキー 5 を押すと、前の画面に戻ります。

3 **または 中央を押すと、選択した成句が全画面表示されます。**

見出し語の活用形を検索する

英英辞典で調べた見出し語の活用形を検索することができます。ただし、活用形のない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

例：「put」の活用形を調べる

1 **putの全画面表示で、画面の下の[活用]に相当するソフトキー 3 を押します。**

見出し語の活用形の概略説明画面が表示されます。

2 **画面の下の[時制]に相当するソフトキー 2 を押すと、時制と叙法の目次画面画面が表示されます。**

- 画面の下の[次へ]に相当するソフトキー4を押すと、時制と叙法の目次の順に説明文が表示されます。同様に[前へ]に相当するソフトキー 3 を押すと、時制と叙法の目次の順に説明文が前に戻って表示されます。
- 画面の下の[閉じる]に相当するソフトキー5を押すと、見出し語の全画面表示画面が表示されます。

3 **上下を使って、調べたい時制と叙法を選択し、反転表示にします。**

例：「現在進行形」を選択

- 画面の下の[概略]に相当するソフトキー1を押すと、見出し語の活用形の概略説明画面が表示されます。
- 画面の下の[閉じる]に相当するソフトキー 5 を押すと、見出し語の全画面表示画面が表示されます。

4 **決定/ジャンプ または 中央を押すと、選択した時制と叙法の説明文が全画面表示されます。**

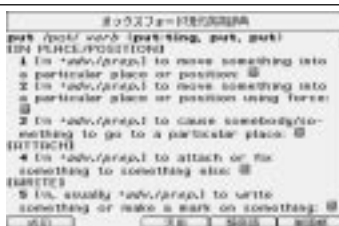
見出し語の類音語を検索する

英英辞典で調べた見出し語の類音語を検索することができます。ただし、類音語のない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

例：「put」の類音語を調べる

1 **putの全画面表示で、 画面の下の[類音語]に相当するソフトキー4を押します。**

見出し語の類音語が表示されます。
ただし、類音語のない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

- 画面の下の[閉じる]に相当するソフトキー5を押すと、見出し語の全画面表示画面が表示されます。

2 **を押し、ジャンプモードに入り、上下を使って、調べたい類音語を選択します。**

例：「putt」を選択

3 **または 中央を押すと、選択した類音語のジャンプ・編集モードを使うことができます。**

- 画面の下の[閉じる]に相当するソフトキー 5 を押すと、前の画面に戻ります。

特定の英単語を含む成句を検索する

入力した英単語（単／複数）を含む成句を「オックスフォード現代英英辞典」の全データの中から検索します。

例：「take」と「care」を含む成句を調べる

1 **[オックスフォード現代英英辞典]の初期画面を表示します。**

● [オックスフォード現代英英辞典]の初期画面（☞99 ページ）

2 **画面の下の［成句］に相当するソフトキー 1 を押します。**

［成句］入力画面が表示されます。

3 **文字 / 数字入力キーを使って、調べたい成句に含まれる英単語のスペルを入力し、決定／ジャンプ を押します。**

例：「take スペース care」と入力

入力した英単語を含む成句リストが表示されます。

● 複数の英単語を スペース を押して、区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む成句リストが表示されます。

●「スペース」を入力する前は前方一致です。

●「英単語 スペース」と入力すると、その英単語の変化形を使っている成句も検索します。

例：「take スペース 」と入力
take、takes、taking、takenを使っている成句を検索します。

● 入力した英単語を含む成句がない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

4 上下を使って、調べたい成句を選択し反転表示にします。

例：「take care of somebody...」を選択

<成句リストのスクロール>

上下　：1行ずつ

- 画面の下の[閉じる]に相当するソフトキー5を押すと、前の画面に戻ります。

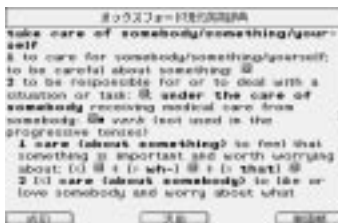
5 または 中央を押すと、選択した成句の全画面表示画面が表示されます。

選択した成句の解説が、全画面表示されます。

<全画面のスクロール>

上下　：1行ずつ

左右　：ページごと

- 左右を使うと、全画面表示のまま、次または1つ前の成句解説を表示することができます。手順**3**で表示した成句リストの順で表示されます。

特定の英単語を含む例文を検索する

入力した英単語（単／複数）を含む例文を「オックスフォード現代英英辞典」の全データの中から検索します。

例：「take」と「care」を含む例文を調べる

1 **[オックスフォード現代英英辞典]の初期画面を表示します。**

- [オックスフォード現代英英辞典]の初期画面（☞99 ページ）

2 **画面の下の［例文］に相当するソフトキー 2 を押します。**

［例文］入力画面が表示されます。

3 **文字 / 数字入力キーを使って、調べたい例文に含まれる英単語のスペルを入力し、[決定／ジャンプ] を押します。**

例：「take[スペース]care」と入力

入力した英単語を含む例文リストが表示されます。

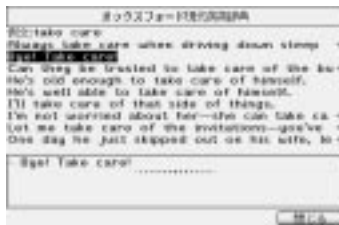
- 複数の英単語を [スペース] を押して、区切って入力することができます。入力したすべての英単語を含む例文リストが表示されます。
- 「スペース」を入力する前は前方一致です。
- 「英単語[スペース]」と入力すると、その英単語の変化形を使っている例文も検索します。

  例：「take[スペース]」と入力
  take、takes、taking、takenを使っている例文を検索します。
- 入力した英単語を含む例文がない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

4 上下を使って、調べたい例文を選択し反転表示にします。

例：「[Bye! Take care!]」を選択

< 例文リストのスクロール >

上下　：1 行ずつ

5 または 中央を押すと、選択した例文の全画面表示画面が表示されます。

選択した例文の解説が、全画面表示されます。

< 全画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ

左右　：ページごと

- 画面の下の[閉じる]に相当するソフトキー 5 を押すと、前の画面に戻ります。

ロイヤル英文法を使う

旺文社「徹底例解 ロイヤル英文法」の内容を収録しました。

・目次から検索して収録内容を見る機能、直接英文法用語を日本語または英語文字列を直接入力して検索する機能、各章ごとの Q&A 文とその解説を直接見る機能を用意しました。

目次から検索する

目次から検索して内容を見ることができます。

例：「第 2 章、第 2 説、§ 47 規則複数」の解説を見る

1 **e ブック画面で、 を使って、[ロイヤル英文法]を選択し、反転表示にします。**

● e ブック画面への入り方は、「e ブック画面を表示する」を参照してください。（☞84 ページ）

2 **決定/ジャンプ または 中央を押し、[ロイヤル英文法]の初期画面を表示します。**

＜ロイヤル英文法の初期画面＞

3 **画面の下の[目次]に相当するソフトキー 2 を押します。**

ロイヤル英文法の目次選択画面が表示されます。

4 上下左右を使って、調べたい章を選択します。

例：「第 2 章　名詞 NOUNS」を選択

< 章選択画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ
左右　：ページごと

5 または 中央を押し、上下左右を使って、調べたい節を選択します。

例：「第 2 節　名詞の数」を選択

< 章選択画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ
左右　：ページごと

6 または 中央を押し、上下左右を使って、調べたい§を選択します。

例：「§ 47 規則複数」を選択

< §選択画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ
左右　：ページごと

7 または 中央を押すと、選択した§の解説が全画面表示されます。

< 全画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ
左右　：ページごと

章ごとのQ&A文とその解説を見る

章ごとのQ&A文とその解説を直接見ることができます。

例：「第2章名詞 NOUNS」のQ&A15文とその解説を見る

1 **[ロイヤル英文法]の初期画面を表示します。**

- [ロイヤル英文法]の初期画面（☞108ページ）

2 **画面の下の[Q&A}に相当するソフトキー3を押します。**

[Q&A] の章選択画面が表示されます。

3 **上下左右を使って、調べたい章を選択します。**

例：「第2章　名詞 NOUNS」を選択

<章選択画面のスクロール>

上下　：1行ずつ
左右　：ページごと

4 決定/ジャンプ または 中央を押すと、選択した章のQ&A文がリスト表示されます。

<Q&A文リストのスクロール>

上下　：1行ずつ

左右　：ページごと

5 上下左右を使って、調べたいQ&A文を選択します。

例：「Q&A15...」を選択

Q&A文単位で選択され、選択されると反転表示されます。

6 決定/ジャンプ または 中央を押すと、選択したQ&A文の解答と解説文が表示されます。

- 解答と解説文は、目次から検索する全画面表示画面の該当箇所へのジャンプとなります。

<全画面のスクロール>

上下　：1行ずつ

左右　：ページごと

特定の英文法用語（日本語）から検索する

特定の英文法用語（日本語）を直接入力して検索することができます。

例：「名詞句」を入力して検索する

1 [ロイヤル英文法]の初期画面を表示します。

- [ロイヤル英文法]の初期画面（☞108 ページ）

2 文字 / 数字入力キーを使って、調べたい用語を入力します。

例：ローマ字で「MEISIKU」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストと、プレビュー（和英訳の一部）が表示されます。

- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、もっとも近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「？」または「スペース」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」53 ページ
「入力文字の削除」54 ページ
「一部を省略した入力」55 ページ

3 上下を使って、用語を選択し反転表示にします。

例：「めいしく（名詞句）」を選択

<見出しリストのスクロール>

上下　：1 行ずつ
左右　：ページごと

4 または 中央を押します。

選択した用語の説明のあるセクション情報が表示されます。

5 上下を使って、見たいセクションを選択し、反転表示にします。

例：「§20名詞句（Noun Phrases）」を選択

<見出しリストのスクロール>

上下　：1行ずつ

6 または 中央を押します。

選択したセクションの内容の全画面表示画面が表示されます。

<全画面のスクロール>

上下　：1行ずつ

左右　：ページごと

特定の英文法用語（英語）から検索する

特定の英文法用語（英語）を直接入力して検索することができます。

例：「Noun Phrase」を入力して検索する

1 **[ロイヤル英文法]の初期画面を表示します。**

- [ロイヤル英文法]の初期画面（☞108 ページ）

2 **画面の下の[英語]に相当するソフトキー1 を押します。**

英語での文字列入力画面が表示されます。

3 **文字 / 数字入力キーを使って、調べたい用語を入力します。**

例：ローマ字で「NOUN［スペース］PHRASE」と入力

該当する見出しリストと、プレビュー（解説画面の一部）が表示されます。

- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、もっとも近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「？」または「スペース」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」53 ページ
「入力文字の削除」54 ページ
「一部を省略した入力」55 ページ

4 上下を使って、用語を選択し反転表示にします。

例：「Noun Phrase」を選択

<見出しリストのスクロール>

上下　：1行ずつ

左右　：ページごと

5 または 中央を押します。

選択した用語の説明のあるセクション情報が表示されます。

6 上下を使って、見たいセクションを選択し、反転表示にします。

例：「§20　名詞句（Noun Phrases）」を選択

<見出しリストのスクロール>

上下　：1行ずつ

7 または 中央を押します。

選択したセクションの内容の全画面表示画面が表示されます。

<全画面面のスクロール>

上下　：1行ずつ

左右　：ページごと

広辞苑を使う

岩波書店「広辞苑 第五版」および「逆引き広辞苑 第五版対応」の内容を収録しました。

(広辞苑見出し語検索)

・同音異義語は見出し語のリスト表示で、検索も簡単です。

・部分的にしかわからない、うろ覚えの単語を検索できます。

(逆引き広辞苑)

・入力した文字が、ことばの末尾と一致する見出し語を検索できます。(後方一致検索)

見出し語を検索する(広辞苑)

例:「調和」の意味を調べる

1 **eブック画面で、[カーソルキー]上下を使って、[広辞苑]を選択し、反転表示にします。**

● eブック画面への入り方は、「eブック画面を表示する」を参照してください。(☞84ページ)

2 **[決定/ジャンプ]または[カーソルキー]中央を押し、[広辞苑]の初期画面を表示します。**

＜広辞苑の初期画面＞

3 文字 / 数字入力キーを使って、調べたいことばの読みを入力します。

例：ローマ字で、「CHOUWA」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストと、プレビュー（解説の一部）が表示されます。

- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「？」または「スペース」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」53 ページ
「入力文字の削除」54 ページ
「一部を省略した入力」55 ページ

3 上下を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「調和」を選択

< 見出しリストのスクロール >

上下　　：1 行ずつ

4 または 中央を押します。

選択した見出し語の解説が全画面表示されます。

- 下にまだ続いている場合は、画面の右端にスクロールバーが表示されます。

< 全画面のスクロール >

上下　　：1 行ずつ

左右　　：ページごと

ことばの末尾から検索する（逆引き広辞苑）

入力した文字列が、ことばの末尾と一致する見出し語を検索することができます。

例：ことばの末尾が、「〜わおん」で終わる見出し語を調べる

1 **広辞苑の初期画面を表示させます。**

- 広辞苑の初期画面の表示は、（☞116 ページ）

2 **画面下の[逆引き]に相当するソフトキー1を押すと、「逆引きかな入力」画面が表示されます。**

3 **文字/数字入力キーを使って、調べたいことばの末尾の読みを入力します。**

例：ローマ字で、「WAONN」と入力

ローマ字がひらがなに変換されます。

☞ 「文字入力」53 ページ
「入力文字の削除」54 ページ
「一部を省略した入力」55 ページ

- 画面下の[見出し語]に相当するソフトキー1を押すと、広辞苑の初期画面に戻ります。

4 を押すと、該当する見出し語リストが表示されます。

- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

5 上下を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「さん - わおん【三和音】」を選択

- 選択さえた見出し語は、反転表示されます。

6 または 中央を押すと、選択した見出し語の解説が、全画面表示されます。

漢字源を使う

学習研究社「漢字源（JIS 漢字版）」の内容を収録しました。

（部品読み、音訓読み、部首画数、総画数検索）

・読めない漢字も、4 種類の検索方法を自由に組み合わせて、候補を検索できます。

（熟語検索機能）

・熟語の検索もできます。

漢字を部首画数、総画数で検索する

例：「紐」を部首画数と総画数で調べる

1 e ブック画面で、◎ 上下を使って、[漢字源]を選択し、反転表示にします。

● e ブック画面への入り方は、「e ブック画面を表示する」を参照してください。（☞84 ページ）

2 決定／ジャンプ または ◎ 中央を押し、[漢字源]の初期画面を表示します。

＜漢字源の初期画面＞

3 ◎ 上下を使って、[部首画数] を選択します。

［部首画数］の入力ボックスにカーソルが移動します。

4 文字 / 数字入力キーを使って、[部首画数] を入力し、決定／ジャンプ を押します。

例：Y （6）を入力

6 画の部首リストが表示されます。

5 上下左右を使って、部首を選択します。

例：「糸」を選択

6 または 中央を押します。

部首が「糸」の漢字候補が表示されます。

● 漢字が表示される順序は、Unicodeの文字コード順です。

7 CAP を押し、 上を使って、併用する検索方法［総画数］を選択します。

［総画数］の入力ボックスにカーソルが移動します。

8 文字 / 数字入力キーを使って、［総画数］を入力し、 を押します。

例：Q P （10）を入力

部首が「糸」で総画数が 10 画の漢字候補が表示されます。

9 上下左右を使って、目的の漢字を選択します。

例：「紐」を選択

10 決定/ジャンプ または 中央を押します。

選択した漢字の解説が、全画面表示されます。

< 全画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ

左右　：ページごと

漢字を音訓読みで検索する

例：「翠」を、音訓読み「すい」で調べる

1 **[漢字源]の初期画面を表示させます。**

- [漢字源]の初期画面は（☞120 ページ）

2 **上下を使って、[音訓読み] を選択します。**

[音訓読み] の入力ボックスにカーソルが移動します。

3 **文字 / 数字入力キーを使って、漢字の読みを入力し、[決定/ジャンプ] を押します。**

例： ローマ字で「SUI」と入力

ローマ字がひらがなに変換されます。

- 漢字の読みが 2 つ以上ある場合、「スペース」で区切って複数の読みを入力して候補を絞ることもできます。

4 **上下左右を使って、目的の漢字を選択します。**

読みが「すい」に該当する漢字候補が表示されます。
例：「翠」を選択

- 目的の漢字が画面に表示されない場合は、上下を使って漢字候補画面をスクロールしてください。
- この段階では、入力した文字は、カーソルを移動して修正することができません。修正するときは、削除して入れなおしてください。
- [音訓読み]の入力文字は、途中まで一致していれば、その漢字候補が表示されます。

5 **決定/ジャンプ または 中央を押すと、選択した漢字の解説が、全画面表示されます。**

<全画面のスクロール>

上下　：1 行ずつ
左右　：ページごと

漢字を部品読みで検索する

漢字を細かな部品に分け、部品の読みから元の漢字を検索することができます。例えば、「沓」という漢字を「水」（みず）、「日」（ひ）の 2 つの部品に分け、「みず」「ひ」を入力して検索することができます。

例：「沓」を部品に分けて調べる

1 **[漢字源]の初期画面を表示させます。**

● [漢字源]の初期画面は（☞120 ページ）

2 **上下を使って、[部品読み] を選択します。**

[部品読み］の入力ボックスにカーソルが移動します。

3 文字 / 数字入力キーを使って、漢字の読みを入力し、決定/ジャンプ を押します。

例： ローマ字で「MIZU スペース HI」と入力

読みが「みず」「ひ」に該当する部品が使われた漢字候補が表示されます。

- [部品読み]は、「スペース」で区切って複数の読みを入力して候補を絞ることもできます。
- [部品読み]の入力文字は、途中まででも一致していれば、その漢字候補が表示されます。例えば、「さんず」を入力すると、「さんずい」の漢字候補が表示されます。

4 上下左右を使って、目的の漢字を選択します。

読みが「みず」「ひ」に該当する漢字候補が表示されます。
例：「沓」を選択

- 目的の漢字が画面に表示されない場合は、 上下を使って漢字候補画面をスクロールしてください。

5 決定/ジャンプ または 中央を押すと、選択した漢字の解説が、全画面表示されます。

< 全画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ
左右　：ページごと

漢字源に収録されている熟語を検索する

漢字源に収録されている熟語を検索します。

例：「演技」を調べる

1 [漢字源]の初期画面を表示させます。

- [漢字源]の初期画面は（☞120 ページ）

2 画面の下の[熟語］に相当するソフトキー 1 を押します。

熟語入力画面が表示されます。

3 文字 / 数字入力キーを使って、調べたい熟語の読みを入力し、決定/ジャンプ を押します。

例：ローマ字で、「ENGI」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する熟語リストと、プレビュー（熟語解説の一部）が表示されます。

- 入力した文字列に該当する熟語がない場合は、もっとも近い熟語から順に表示されます。熟語リストをスクロールすると、入力文字を含まない熟語も順に表示されます。
- 「？」または「スペース」を入力した場合、該当する熟語がない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」53 ページ
「入力文字の削除」54 ページ
「一部を省略した入力」55 ページ

4 上下を使って、調べたい熟語を選択し反転表示にします。

例：そのまま「【演技】えんぎ」を選択

<熟語リストのスクロール>

上下　：1行ずつ
左右　：ページごと

5 決定／ジャンプ または 中央を押すと、選択した熟語が全画面表示されます。

<全画面のスクロール>

上下　：1行ずつ
左右　：ページごと

- 画面の下の熟語・語頭・語中・語尾に相当するソフトキー1～4を押すと、それぞれ「演」を含んだ熟語、「演」を語頭に持つ熟語、「演」を語中に持つ熟語、「演」を語尾に持つ熟語がリスト表示されます。
  また、 上下左右を使って、熟語を選択し、決定／ジャンプ または 中央を押すと選択した熟語を全画面表示することができます。

＜熟語＞

＜語頭＞

＜語中＞

＜語尾＞

マイペディアを使う

日立システムアンドサービス百科事典「マイペディア電子辞書版」の内容を収録しました。

（見出し語検索）

・同音異義語は見出し語のリスト表示で、検索も簡単です。

・部分的にしかわからない、うろ覚えの単語を検索できます。

（キーワード検索）

・説明文に含まれる言葉から見出し語を検索します。

見出し語を検索する

例：「磁器」の意味を調べる

1　eブック画面で、◎上下を使って、[マイペディア]を選択し、反転表示にします。

● eブック画面への入り方は、「eブック画面を表示する」を参照してください。（☞84ページ）

2　決定／ジャンプ または ◎ 中央を押し、[マイペディア]の初期画面を表示します。

＜マイペディアの初期画面＞

3 文字 / 数字入力キーを使って、調べたいことばの読みを入力します。

例：ローマ字で、「JIKI」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストとプレビュー（解説の一部）が表示されます。

- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、最も近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「？」または「スペース」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」53 ページ
「入力文字の削除」54 ページ
「一部を省略した入力」55 ページ

4 上下を使って、[調べたい見出し語を選択します。

例：「磁器」を選択

< 見出しリストのスクロール >

上下　：1 行ずつ
左右　：ページごと

5 決定／ジャンプ または 中央を押します。

選択した見出し語の解説が全画面表示されます。

< 全画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ
左右　：ページごと

キーワードから見出し語を検索する

説明文に含まれる言葉から逆に見出し語を検索します。

例：「さんそ」をキーワードにして見出し語を調べる

1 **[マイペディア]の初期画面を表示させます。**

- [マイペディア]の初期画面は（☞128 ページ）

2 **画面の下の［キーワード］に相当するソフトキー 1 を押します。**

［キーワード入力］画面が表示されます。

- 画面の下の[見出し語]に相当するソフトキー 1 を押すと、[マイペディア]の初期画面に戻ります。

3 **文字 / 数字入力キーを使って、調べたいキーワードを入力し [決定/ジャンプ] または [◎] 中央を押します。**

例：ローマ字で、「SANSO」と入力

ローマ字がひらがなに変換され、該当する見出しリストとプレビュー（解説の一部）が表示されます。

- 入力した文字列に該当するキーワードを有する見出し語を表示します。
- 複数の語句を [スペース] を使って「スペース」で区切って入力することができます。
- 「スペース」を入力する前は前方一致です。
- 入力した単語を含むキーワードがない場合、「該当候補がありません。」と表示されます。

☞「文字入力」53 ページ
「入力文字の削除」54 ページ
「一部を省略した入力」55 ページ

4 上下を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：「オゾン」を選択

< 見出しリストのスクロール >

上下　：1 行ずつ

左右　：ページごと

5 または 中央を押します。

選択した見出し語の解説が全画面表示されます。

< 全画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ

左右　：ページごと

パーソナルカタカナ語辞典を使う

学習研究社「パーソナルカタカナ語辞典」の内容を収録しました。

・カタカナ語の他に、アルファベットの略語の意味を調べることもできます。

カタカナ語を検索する

例：カタカナ語の「サーバー」を調べる

1 **e ブック画面で、◎ 上下を使って、[パーソナルカタカナ語辞典]を選択し、反転表示にします。**

● e ブック画面への入り方は、「e ブック画面を表示する」を参照してください。（☞84 ページ）

2 **決定／ジャンプ または ◎ 中央を押し、[パーソナルカタカナ語辞典]の初期画面を表示します。**

[カタカナ入力]画面が表示されます。

＜パーソナルカタカナ語辞典の初期画面＞

3 文字 / 数字入力キーを使って、調べたいカタカナ語の読みを入力します。

例：ローマ字で、「SA-BA-」と入力

ローマ字がカタカナに変換され、該当する見出しリストとプレビュー（解説の一部）が表示されます。

- アルファベットの略語を検索する場合は、画面の下の[ABC]に相当するソフトキー1を押し、「ABC 入力」画面にして、略語の入力エリアに英文字で入力します。
- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、もっとも近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「？」または「スペース」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」53 ページ
「入力文字の削除」54 ページ

4 上下を使って、調べたい見出し語を選択し、反転表示にします。

例：そのまま「サーバー」を選択

5 決定/ジャンプ または 中央を押します。

選択した見出し語の解説が、全画面表示されます。

アルファベットの略語を検索する

例：「BSE」の略語を検索する

1 **[パーソナルカタカナ語辞典]の初期画面を表示させます。**

- [パーソナルカタカナ語辞典]の初期画面は（☞132 ページ）

2 **画面の下の［略語］に相当するソフトキー 1 を押します。**

［ABC 入力］画面が表示されます。

- 画面の下の[カタカナ]に相当するソフトキー 1 を押すと、[カタカナ]入力画面に戻ります。

3 **文字 / 数字入力キーを使って、調べたい略語を入力します。**

例：「BSE」と入力

該当する略語リストとプレビュー（解説の一部）が表示されます。

- 入力した文字列に該当する見出し語がない場合は、もっとも近い見出し語から順に表示されます。見出しリストをスクロールすると、入力文字を含まない見出し語も順に表示されます。
- 「？」または「スペース」を入力した場合、該当する見出し語がない場合は、「該当候補がありません。」と表示されます。

☞ 「文字入力」53 ページ
「入力文字の削除」54 ページ
「一部を省略した入力」55 ページ

4 上下を使って、調べたい見出し語を選択します。

例：そのまま「BSE[bovine spogiform encophalopathy]」を選択

<見出しリストのスクロール>

上下　：1行ずつ
左右　：ページごと

5 または 中央を押します。

選択した見出し語の解説が全画面表示されます。

<全画面のスクロール>

上下　：1行ずつ
左右　：ページごと

ダウンロードした電子書籍を使う

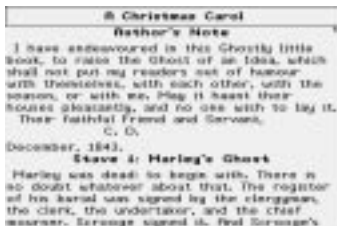
例：ダウンロードした「A Christmas Carol」を使う

1 **eブック画面で、上下左右を使って、[A Christmas Carol]を選択し、反転表示にします。**

- eブック画面への入り方は、「eブック画面を表示する」を参照してください。(☞84ページ)

2 **決定/ジャンプ または 中央を押し、[A Christmas Carol]の初期画面を表示します。**

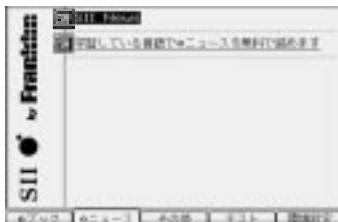
<全画面のスクロール>

上下　：1行ずつ
左右　：ページごと

ここでは、eニュース画面の使い方について説明します。
パソコンからダウンロードした電子ニュースのコンテンツは、eニュースのカテゴリーに組み込まれます。ここでは、ダウンロードした電子ニュースコンテンツの一例を使って、その使い方を説明します。

eニュース画面を表示する

1 **［ライブラリー］を押し、画面の下の[eニュース]に相当するソフトキー 2 を押すと、eニュース画面が表示されます。**

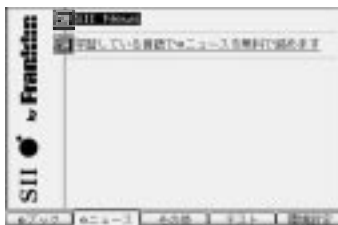
例：「SII News」（仮想）を本体にダウンロードした場合

- ダウンロードしたeニュースのコンテンツがない場合は、画面上には何も表示されません。

＜eニュース画面の例＞

[学習している言語でeニュースを無料で読めます]を見る

[学習している言語でeニュースを無料で読めます]には、eニュースを本知にダウンロードして読むまでの操作ガイド情報が収録されています。

1 **eニュース画面を表示させます。**

- eニュース画面への入り方は、「eニュース画面を表示する」を参照してください。（☞138 ページ）

2 **上下を使って[学習している言語でeニュースを無料で読めます]を選択し反転表示させ、［決定／ジャンプ］または 中央を押すと、[学習している言語でeニュースを無料で読めます]画面が全画面表示されます。**

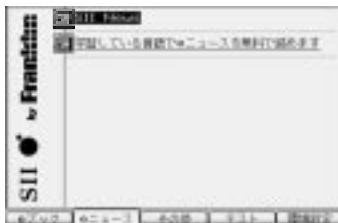
＜全画面表示のスクロール＞

- 上下：1 行ずつ
- 左右：ページごと

ダウンロードしたｅニュースを使う

例：ダウンロードした「SII News」を使う

1 **ｅニュース画面で、◎上下を使って、[SII News]を選択し、反転表示にします。**

- ｅニュース画面への入り方は、「ｅニュース画面を表示する」を参照してください。（☞138ページ）

2 **決定/ジャンプ または ◎ 中央を押し、「SII News」の画面を表示します。**

3 **◎ 右を押し、「SII News」の目次画面を表示します。**

4 **◎ 上下を使って、見たい項目を選択し反転表示にさせ、決定/ジャンプ または ◎ 中央を押すと、選択した項目の記事を見ることができます。**

その他を使う

ここでは、その他画面の使い方について説明します。
パソコンからダウンロードした自作のオリジナル書類を Mobipocket フォーマットに変換した電子書類は、その他のカテゴリーに組み込まれます。ここでは、ダウンロードしたオリジナル電子書類の一例を使って、その使い方を説明します。
また、本製品のソフトウェアの版権に関する情報を収めた Notices を搭載しています。

その他画面を表示する

1 **を押し、画面の下の[その他]に相当するソフトウェアキー3を押すと、その他画面が表示されます。**

例：「夏目漱石　吾輩は猫である」を青空文庫からコンピューターにダウンロードし、Mobipocketフォーマットに変換して、本体にダウンロードした場合

- ダウンロードしたコンテンツがない場合は、画面上には Notices だけが表示されます。

<その他画面の例>

[Notices]を見る

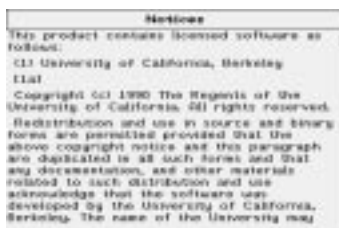
[Notices]には、本製品のソフトウェアに関する版権関係の情報が収められています。

1 **その他画面を表示させます。**

- その他画面への入り方は、「その他画面を表示する」を参照してください。（☞142 ページ）

2 **上下を使って[Notices]を選択し反転表示させ、 または 中央を押すと、[Notices]画面が全画面表示されます。**

<全画面表示のスクロール>

- 上下：1 行ずつ
- 左右：ページごと

ダウンロードしたオリジナル電子書類を使う

例：ダウンロードした電子書類「夏目漱石　吾輩は猫である」を使う

1 **その他画面で、 上下を使って、[夏目漱石　吾輩は猫である]を選択し、反転表示にします。**

- その他画面への入り方は、「その他画面を表示する」を参照してください。（☞142 ページ）

2 **決定/ジャンプ または 中央を押し、「夏目漱石　吾輩は猫である」の画面を表示します。**

↓ 右

ここでは、テスト画面の使い方について説明します。
本機に収録されている「Cracking the TOEIC」の使い方は、こちらをご覧ください。
「Cracking the TOEIC」では、次の 4 つの使い方ができます。

・「Cracking the TOEIC」を読む：

「Cracking the TOEIC」書籍版の前半部分の解説を収録しました。
目次から選択して収録内容を読み進めることができます。

・練習問題を使う：

リスニング 100 問、リーディング 100 問からなる練習問題を 2 回分収録しました。
各問題には、固定の制限時間が設定されています。

・練習問題の解答と解説を使う：

練習問題の解答と解説を選択して見ることができます。練習問題後の復習を行う際にお使いください。

・ショートテストを使う：

練習問題をランダムに出題し、解答します。その都度正解を確認して解説を読み進めます。

ここでの、表示は全て英語表示となります。

テスト画面を表示する

1 ライブラリー **を押し、画面の下の[テスト]に相当するソフトキー4を押すと、テスト画面が表示されます。**

2 **[Cracking the TOEIC]を選択し、**決定/ジャンプ **または** **中央を押すと The Princeton Review-TOEIC のメニュー選択画面が表示されます。**

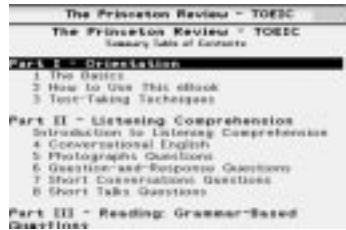
＜The Princeton Review-TOEIC のメニュー選択画面＞

「Cracking the TOEIC」を読む

「Cracking the TOEIC」書籍版の前半部分の解説を収録しました。目次から選択して収録内容を読み進めることができます。

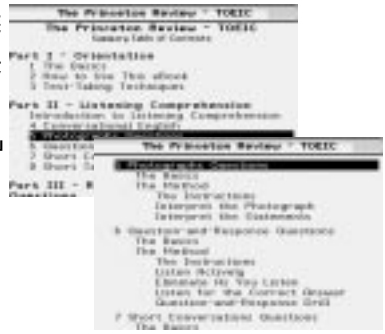
1 The Princeton Review-TOEIC のメニュー選択画面を表示させます。

- The Princeton Review-TOEIC のメニュー選択画面（☞146 ページ）

2 上下を使って、[Read the book]を選択し反転表示にし、［決定／ジャンプ］または中央を押すと[The Princeton Review-TOEIC]の目次が表示されます。

3 上下を使って、内容を見たい章を選択し反転表示にし、［決定／ジャンプ］または中央を押すと収録項目が表示されます。

例：「Part II, 5 Photographs Questions」を選択

<全画面のスクロール>

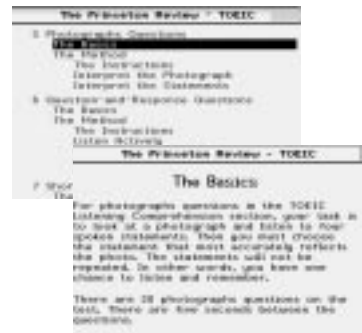
上下　：1 行ずつ

左右　：ページごと

4 上下を使って、内容を見たい項目を選択し反転表示にし、［決定／ジャンプ］または中央を押すと収録内容が表示されます。

例：「The Basics」を選択

<全画面のスクロール>

上下　：1 行ずつ

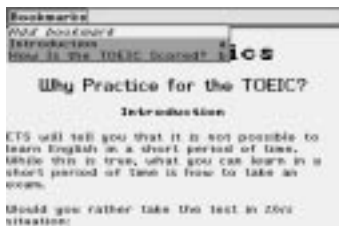
左右　：ページごと

- ［戻る］を押すと収録項目選択画面に戻ります。

Read the book でのメニューの使い方

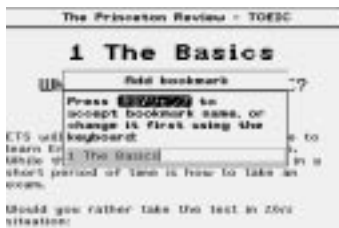
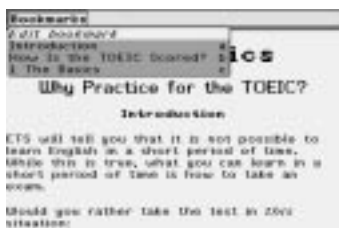
現在のページにブックマークを設定する

今読んでいるページに、新しくブックマークを付けることができます。

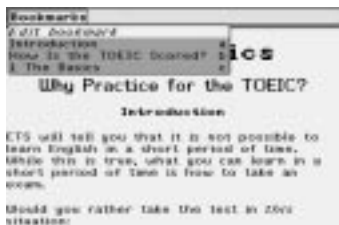
1 **Read the book の今読んでいるページの表示画面で、メニュー を押すと、[Add bookmark]リストが表示されます。。**

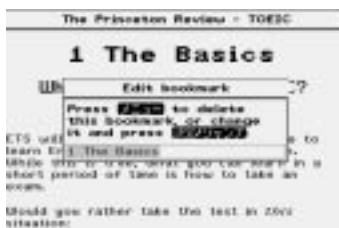
- ブックマーク先に飛ぶときは、目的のブックマークを 上下を使って選択して 決定/ジャンプ を押すか、その右端のアルファベットに対応するキーを入力します。（キーボードショートカット）

2 **決定/ジャンプ を押すと、ブックマークのリストに今読んでいるページを新たに登録することができます。**

ページの先頭行から抽出された数語がブックマークの名称になります。
ブックマークの名称を変更したい場合は、任意の文字（英数字）に書き換えた後に、決定/ジャンプ を押すと名称変更されたブックマークに登録しなおされます。
ブックマークの設定を途中で止めたい時は、戻る を押すとブックマークには登録されません。

- ブックマークへのキーボードショートカット（ブックマーク名称の右端のアルファベット）は、自動的に付番され、変更することはできません。

設定済みブックマークの削除・編集をする

すでにブックマークが設定されているページでは、ブックマークの削除・編集をすることができます。

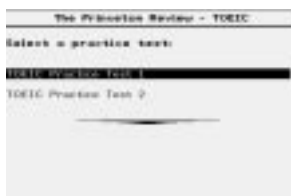
1 **すでにブックマークが設定されているページの表示画面で、［メニュー］を押すと、[Edit bookmark]リストが表示されます。**

2 **表示中のページのブックマークを削除する場合は、［メニュー］を押すと[Add bookmark]リストと[Edit bookmark]リストから削除することができます。**

ブックマークの名称を変更する場合は、任意の文字（英数字）に書き換えた後に、［決定／ジャンプ］を押しておこないます。

練習問題を解く（音声付き）

リスニング 100 問、リーディング 100 問からなる練習問題を 2 回分収録しました。各問題には、固定の制限時間が設定されています。

1 The Princeton Review-TOEIC のメニュー選択画面を表示させます。

- The Princeton Review-TOEIC のメニュー選択画面（☞146 ページ）

2 上下を使って、[Take a practice test]を選択し反転表示にし、または中央を押すと練習問題 1、2 の選択画面が表示されます。

3 上下を使って、使いたい練習問題を選択し反転表示にし、または中央を押すとテストのセクション選択画面が表示されます。

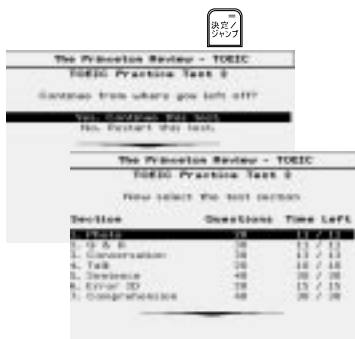
例：「TOEIC Practice Test 2」を選択

< 全画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ

左右　：ページごと

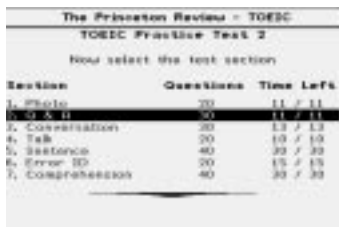
- ただし、前回すでに使ったことのある場合は、テストのセクション選択画面の前に、先回の続きか、新規に始めるかの選択画面が表示されます。

↓

4

上下を使って、使いたいテストのセクションを選択し反転表示にし、 または 中央を押すと選択したセクションのスタート画面が表示されます。

例：「2. Q&A」を選択

＜セクション選択画面＞

↓

< 全画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ

左右　：ページごと

● を押すと前の画面に戻ります。

5

 または 中央を押すと選択したセクションの練習問題の要領を説明する文章の表示と音声が再生されます。

以降設問に従って、順次解答して行きます。ただし解答は、本体左の A,B,C,D ボタンで行います。

< 全画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ

左右　：ページごと

● を押すとセクション選択画面に戻ります。

● を押すと次の問題の画面に進みます。

Take a practice testでのメニューの使い方

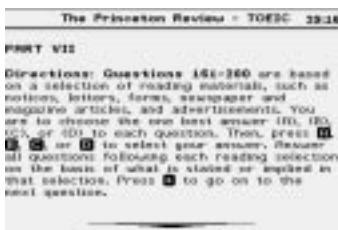
Take a practice testの解答のページで、メニュー を押すと[Function]メニューが表示されます。 上下を使って選択すると、それぞれのメニューを使うことができます。（右端のアルファベットは、キーボードショートカットキーを示します。）

Reference info （問題の参照）

問題で使用する資料やテキスト、会話やアナウンスなどの参照情報がある場合にのみ表示されます。
このメニューを選択すると、現在の問題に対する参照情報に移動します。
戻る を押すと、問題に戻ります。
このメニューは、「4. Talk」と「7. Comprehension」の解答ページでのみ表示されます。

＜例：Reference infoを選択した場合 ＞

Instructions （指示）

現在の問題の Directions を表示したり、聞いたりすることができます。
戻る を押すと、問題に戻ります。

＜例：Instructions を選択した場合 ＞

Mark this question （マークの設定）

問題が終了した後、または[Question Menu]で、この解答を見直せるようにマークを付けることができます。

Question Menu （問題一覧のメニュー）

問題ごとに、自分の解答、解答に要した時間のリストが表示されます。

上下を使って、リストをスクロールできます。

「▶」が画面の左端に表示されている問題は、見直すために[Mark this question]でマークを設定した問題です。

ハイライトされた問題を見直すには、決定/ジャンプを押します。

本体左脇の A またはキーボード上の A を押すとテスト結果を表示します。

本体左脇の B またはキーボード上の B を押すと別のセクションへ移動することができます。

練習問題の解答と解説を見る（音声付き）

練習問題の解答と解説を選択して見ることができます。練習問題後の復習を行う際にお使いください。ただし、「Take a practice test」をまだ 1 度も行っていない場合には、「Review your tests」は、灰色表示となり使用することはできません。「Take a practice test」を行ってからお使いください。

1 The Princeton Review-TOEIC のメニュー選択画面を表示させます。

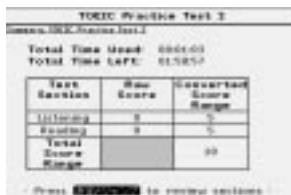
- The Princeton Review-TOEIC のメニュー選択画面（☞146 ページ）

2 上下を使って、[Review your tests]を選択し反転表示にし、決定／ジャンプ または 中央を押すと練習問題 1、2 の選択画面が表示されます。

3 上下を使って、見たい練習問題を選択し反転表示にし、決定／ジャンプ または 中央を押すと選択した練習問題の結果が表示されます。

- ただし、練習問題 1、2 のいずれかが、まだ行われていない場合は、「- No tests taken - 」と表示されて選択することができません。

＜全画面のスクロール＞

上下　：1 行ずつ

左右　：ページごと

4 決定／ジャンプ または 中央を押すと、セクション選択画面が表示されます。

< 全画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ

左右　：ページごと

● 戻る を押すと前の画面に戻ります。

5 上下を使って、見たいセクションを選択し反転表示にし、決定／ジャンプ または 中央を押すと選択したセクションの詳細結果が表示されます。

< 全画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ

左右　：ページごと

↓ 決定／ジャンプ

＜セクションの詳細結果画面＞

6 上下を使って、見たい問題を選択し、反転表示にし、決定／ジャンプ または 中央を押すと選択した問題の解答と解説の文章の表示と音声が再生されます。

< 全画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ

左右　：ページごと

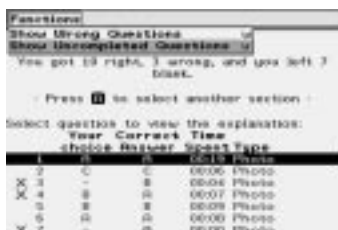
● 戻る を押すとセクションの詳細結果画面に戻ります。

● 決定／ジャンプ を押すと次の問題の画面に進みます。

● 本体左脇の A または文字／数字入力キー A を押すと別のセクションに移動できます。

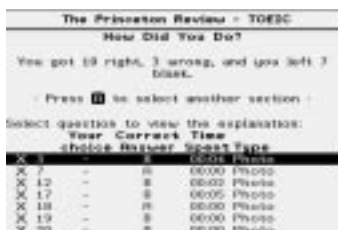
↓

Review your tests でのメニューの使い方

Review your tests の「How Did you Do?」のページで、 を押すと[Functions]メニューが表示されます。 上下を使って選択すると、それぞれのメニューを使うことができます。(右端のアルファベットは、キーボードショートカットキーを示します。)

Show Wrong Questions (誤答一覧の表示)

間違えた問題だけを表示されます。(未解答は除かれます。)

Show Uncompleted Questions (未解答一覧の表示)

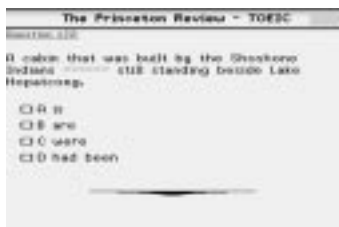
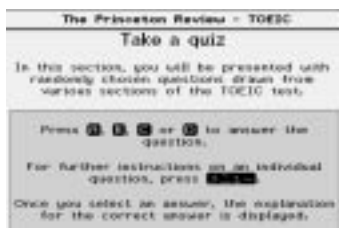
まだ解答していない問題だけを表示します。

ショートテストを行う（音声付き）

練習問題をランダムに出題し、解答します。その都度正解を確認して解説を読み進めます。

1 The Princeton Review-TOEIC のメニュー選択画面を表示させます。

● The Princeton Review-TOEIC のメニュー選択画面（☞146 ページ）

2 上下を使って、[Take a quiz]を選択し反転表示にさせ、 または 中央を押すと ,[Take a quiz]の説明画面が表示されます。

もう 1 度 または 中央を押すと練習問題がランダムに出題されます。（音声付き）

3 本体左の A,B,C,D ボタンで解答します。

< 全画面のスクロール >

上下　：1 行ずつ
左右　：ページごと

4 解答をすると、続いてその問題の解答と解説が表示されます。

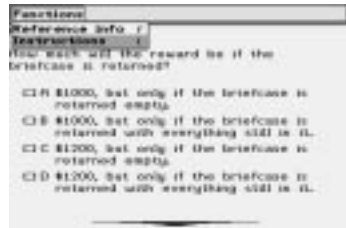
<全画面のスクロール>

上下　：1 行ずつ
左右　：ページごと

5 [決定/ジャンプ] または 中央を押すと次の問題に進みます。

- [戻る] を押すと手順 **2** の最初の画面に戻ります。
- 以降、[決定/ジャンプ] を押すと次々に他の問題に進みます。

Take a Quiz でのメニューの使い方

Take a Quizの解答のページで、 を押すと[Function]メニューが表示されます。 上下を使って選択すると、それぞれのメニューを使うことができます。（右端のアルファベットは、キーボードショートカットキーを示します。）

Reference info （問題の参照）

問題で使用する資料やテキスト、会話やアナウンスなどの参照情報がある場合にのみ表示されます。
このメニューを選択すると、現在の問題に対する参照情報に移動します。
 を押すと、問題に戻ります。

＜例：Reference infoを選択した場合 ＞

Instructions （指示）

現在の問題の Directions を表示したり、聞いたりすることができます。
 を押すと、問題に戻ります。

＜例：Instructions を選択した場合 ＞

ここでは、本体に収録のゲームの使い方について説明します。

ゲーム画面を表示する

1 ゲーム **を押すと、ゲーム画面が表示されます。**

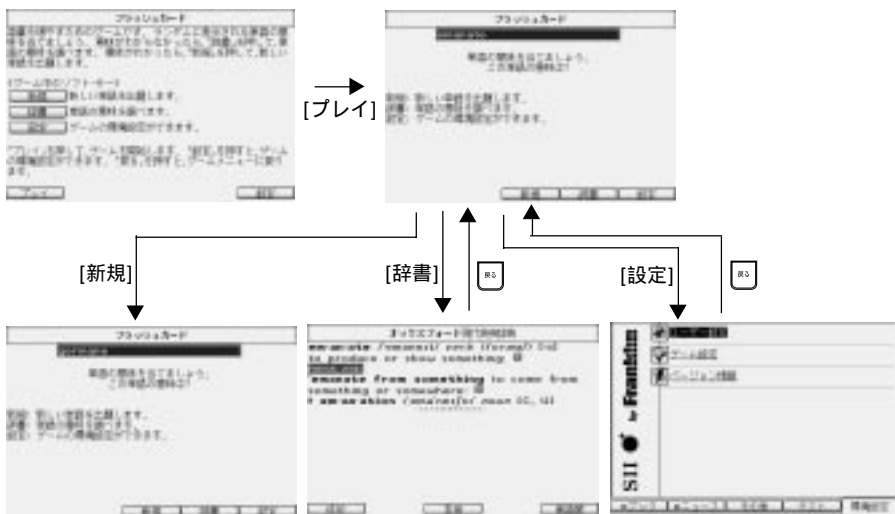
●ゲーム画面から、使いたいゲームを選択します。

フラッシュカードを使う

次々とランダムに表示される英単語の語彙を考えていく学習ゲームです。語彙の検索は、内蔵のオックスフォード英英辞典から検索します。

1 ゲーム画面で、◎ 上下を使って、[フラッシュカード]を選択し、反転表示にします。

- ゲーム画面への入り方は、「ゲーム画面を表示する」を参照してください。（☞162 ページ）

2 決定/ジャンプ または ◎ 中央を押し、[フラッシュカード]の説明画面を表示し、画面の下の[プレイ]に相当するソフトキー1を押すと、[フラッシュカード]のゲーム画面が表示されます。

① 次の問題を表示したいときは、画面の下の[新規]に相当するソフトキー 3 を押します。

② 表示の英単語の語彙を調べたいときは、画面の下の[辞書]に相当するソフトキー4を押すと、ゲーム設定のゲームブックで設定した辞書または単語帳を使って見出し語の検索をすることができます。

見出し語の検索画面から、問題に戻るには、戻る を押します。ただし、次の問題に進んでから前の問題に戻ることはできません。

③ ゲームの設定を変えたいときは、画面の下の[設定]に相当するソフトキー 5 を押します。そこでゲーム設定を選択し、設定し直すことができます。（☞41 ページ）

ジャンプル（並び換え）ゲームを使う

画面左上に表示されるアルファベットを使って、最小文字数の指定以上の文字数を使った英単語を回答欄に、文字 / 数字入力キーを使って解答していくゲームです。

1

ゲーム画面で、 上下を使って、[ジャンブル（並び換え）]を選択し、反転表示にします。

- ゲーム画面への入り方は、「ゲーム画面を表示する」を参照してください。（☞162 ページ）

2

決定／ジャンプ または 中央を押し、[ジャンブル（並び換え）]の説明画面を表示し、画面の下の[プレイ]に相当するソフトキー1を押すと、[ジャンブル（並び換え）]のゲーム画面が表示されます。

3

文字 / 数字入力キーを使って、解答を入力し、決定／ジャンプ を押します。

- 正答の場合は、正答の単語が画面に表示され、正解数が減っています。正解数が 0 になるまで解答を繰り返します。

  誤答の場合は、はずれ！！ と表示されますので入力し直してください。

① 画面の下の[並び換え]に相当するソフトキー1を押すと、画面の左上に表示されるアルファベットの並び換えが行われます。

② 画面の下の[正解]に相当するソフトキー2を押すと解答が表示されます。終了画面では、[新規]に相当するソフトキーを押すと、直接次の問題の画面へ移動します。また、 上下左右を使って、単語を選択して反転表示にし、[辞書]に相当するソフトキー4を押すと検索画面へ移動します。検索先の画面からは、 を押すと、元の画面へ戻ることができます。

③ 画面の下の[新規]に相当するソフトキー3を押すと次の問題の画面へ移動します。

④ 画面の下の[設定]に相当するソフトキー5を押すと環境設定画面へ移動します。ゲーム設定は、そこから設定し直してください。(☞41ページ)

アナグラム（綴り換え）ゲームを使う

画面左上に表示されるアルファベットを使って、最小文字数の指定以上の文字数を使った英単語を回答欄に、文字 / 数字入力キーを使って解答していくゲームです。

1 **ゲーム画面で、◎上下を使って、[アナグラム（綴り換え）]を選択し、反転表示にします。**

- ゲーム画面への入り方は、「ゲーム画面を表示する」を参照してください。（☞162 ページ）

2 **決定／ジャンプまたは◎中央を押し、[アナグラム（綴り換え）]の説明画面を表示し、画面の下の[プレイ]に相当するソフトキー1を押すと、[アナグラム（綴り換え）]のゲーム画面が表示されます。**

3 **文字 / 数字入力キーを使って、解答を入力し、決定／ジャンプを押します。**

- 正答の場合は、正答の単語が画面に表示され、正解数が減っています。正解数が 0 になるまで解答を繰り返します。

誤答の場合は、はずれ！！と表示されますので入力し直してください。

① 画面の下の[並び換え]に相当するソフトキー1を押すと、画面の左上に表示されるアルファベットの並び換えが行われます。

② 画面の下の[正解]に相当するソフトキー2を押すと解答が表示されます。終了画面では、[新規]に相当するソフトキーを押すと、直接次の問題の画面へ移動します。また、◎ 上下左右を使って、単語を選択して反転表示にし、[辞書]に相当するソフトキー4を押すと検索画面へ移動します。検索先の画面からは、[戻る] を押すと、元の画面へ戻ることができます。

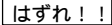
③ 画面の下の[新規]に相当するソフトキー3を押すと次の問題の画面へ移動します。

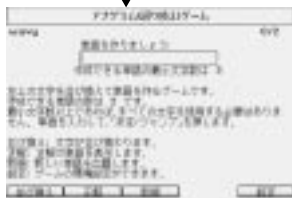
④ 画面の下の[設定]に相当するソフトキー5を押すと環境設定画面へ移動します。ゲーム設定は、そこから設定し直してください。(☞41ページ)

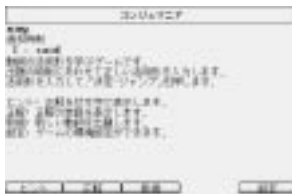
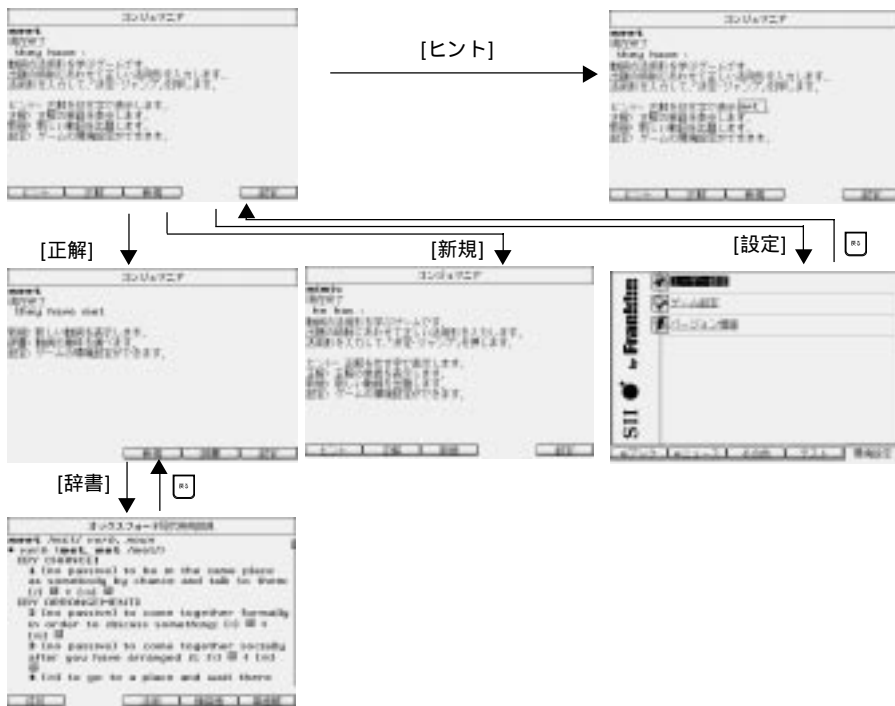
コンジュマニアを使う

動詞の活用形を学習するゲームです。画面の左上に表示される動詞を使って、問題文に適した動詞の活用形を入力します。

1 **ゲーム画面で、 上下を使って、[コンジュマニア]を選択し、反転表示にします。**

- ゲーム画面への入り方は、「ゲーム画面を表示する」を参照してください。（☞162 ページ）

2 **または 中央を押し、[コンジュマニア]の説明画面を表示し、画面の下の[プレイ]に相当するソフトキー1を押すと、[コンジュマニア]のゲーム画面が表示されます。**

[プレイ]

3 **文字 / 数字入力キーを使って、解答を入力し、 を押します。**

- 正答の場合は、正解！！と表示され、解答画面が表示されます。誤答の場合は、はずれ！！と表示されるので、入力しなおしてください。

① 画面の下の[ヒント]に相当するソフトキー1を押すと、回答がヒントとして画面に表示されます。

② 画面の下の[正解]に相当するソフトキー2を押すと解答が表示されます。終了画面では、[新規]に相当するソフトキー3を押すと、直接次の問題の画面へ移動します。また、[辞書]に相当するソフトキー4を押すと見出し語の検索画面へ移動します。検索先の画面からは、[戻る]を押すと、元の画面へ戻ることができます。

③ 画面の下の[新規]に相当するソフトキー3を押すと次の問題の画面へ移動します。

④ 画面の下の[設定]に相当するソフトキー5を押すと環境設定画面へ移動します。ゲーム設定は、そこから設定し直してください。(☞41ページ)

ここでは、本体に収録の電卓の使い方について説明します。
12 桁 1 メモリーの四則演算、入力値の逆数、平方根、2 乗値、百分率（100 で割った値）の計算ができます。

電卓画面を表示する

[電卓] を押すと、電卓画面が表示されます。

電卓用キーの使い方

[Q](1) ～ [P](0)、[.'](.) .... 数字と小数点を入力する。

[L](÷)、[K](×)、[J](−)、[H](+) .... 四則演算を指定する。

[決定/ジャンプ](=) ....計算を実行し結果を表示する。

[クリア] ....計算値（メモリー計算時は、入力数値）をクリアする。

[Z](+/−) ....入力した数値の＋／－を反転する。

[X](M+) ....メモリーに現在の計算結果を加算する。

[C](M-) ....メモリーに現在の計算結果を減算する。

[V](MR) ....メモリーの内容を呼び出す。

[B](MC) ....メモリーの内容をクリアする。

[クリア] ....計算結果をクリアする。

[A](1/X) ....入力した数値の逆数を計算する。

[S](√) ....入力した数値の平方根を計算する。

[D](X^2) ....入力した数値の 2 乗値を計算する。

[F](%) ....入力した数値÷ 100 の値を計算する。

メモリー計算

- [X](M+)、[C](M-) を使ってメモリーに数値を記憶させると、記憶させた数値の合計値が画面の上段に表示されます。
- メモリーに入れた計算結果は、電源を切ったり電卓モードを終了しても記憶しています。（但し、リセット操作を行った場合には、消去されます。）
- メモリーの内容を消去したい場合は、 [B](MC) を押します。入力値のクリアには、[クリア] を押します。

クリア、訂正

- クリア（ご破算）して、はじめから計算をやり直すときは、[クリア]を押します。
- メモリーの内容を消したいときは、[B](MCを押します。
- 数値を入れ間違えたときは、[クリア]を押して正しく入れ直します。四則演算のキーを間違えたときは、そのまま正しいキーを入れ直します。
- 計算途中または計算結果が表示された画面から、英和辞書など他のモードに切り換えた場合、画面はオールクリア（ご破算）になります。（但し、メモリー内に記憶された数値は保持されます。）

エラー表示とその解除

次の場合にエラーマーク［Error］が表示されます。

・計算結果がオーバーフローした
・メモリー内容がオーバーフローした
・除数 0 で割り算をした

計算例

計算の種類	計算例	キー操作	表示結果 *
加減乗除	25 × 42 − 50	25 [K] 42 [J] 50 [決定/ジャンプ]	1,000.
負数計算	(− 25)÷(− 4)	25 [Z] [L] 4 [Z] [決定/ジャンプ]	6.25
メモリー計算	メモリー内に数値が残っている場合（M=数値を表示）[B] でメモリーの内容をクリアしてから、次のメモリー計算を行います。		
	(12 × 11)+(51 × 8)	12 [K] 11 [決定/ジャンプ] [X]	M=132. 132.
		51 [K] 8 [決定/ジャンプ] [X] [V]	M=540. 540.
	540 ÷ 27	[V] [L] 27 [決定/ジャンプ]	M=540. 20.
	540 × 12	[V] [K] 12 [決定/ジャンプ]	M=540. 6,480.

ここでは、本製品の主な仕様について説明します。

主な仕様

項　目	仕　　様
製品構成	1.　本体　DB-J990　：1台 2.　ACアダプタ　P800-01-0990G　：1本 3.　イヤホン　DBE100　：1台 4.　USBケーブル　DBU100　：1本 5.　DB-J付属CD ROM　DBCD100　：1枚 6.　ネットワーク電子辞書DB-J990取扱説明書　－　：1冊 7.　DB-J付属CD ROM取扱説明書　－　：1冊 8.　ネットワーク電子辞書DB-J990簡単操作ガイド　－　：1冊 9.　アンケートはがき　－　：1枚 10.　セキュリティシール　－　：1枚
LCD	480× 320ドット・白黒16階調、FSTN
キーボード	QWERTY配列、59キー、4方向カーソル移動ナビゲーションキー採用
使用温度範囲	0℃～40℃
サイズ	LCD収納時：150 (L) X90 (W) X最厚部：20.5 (H) mm、最薄部：19.9 (H) mm
質量	約260g（電池込み）
バッテリー	充電式リチウムイオン電池（3.7V,700mAh）× 1個
外部電源	・ AC/DCアダプタによる充電方式 ・ 5V,700mA ・ 3.5mm、センター活極ジャック ・ USBバスパワー対応
連続表示時間	約28時間
充電時間	約2.5時間（空状態からフル充電まで）AC/DCアダプタを使用した場合
内蔵メモリー	ユーザー領域：約50MB
外部メモリー	SD/MMCカードスロット1基（カバー無し）：最大2GB
スピーカー	直径15mmダイナミックスピーカー内蔵
イヤホンジャック	3.5mmステレオジャック
リセットボタン	装置底面ボタンによる
＜PC接続＞	
対応OS	Microsoft® Windows® 2000日本語版（Service Pack 4以上）/ XP日本語版（Service Pack 2以上）, Internet Explorer 6.0以上
USB接続端子	・ １ポート ・ USB1.1準拠 ・ 標準5ピン・ミニBタイプコネクタ（カバー付き）

＊ 製品仕様は、予告なく変更する場合があります。

＊ 表示時間は、ご使用状態により変動することがあります。

ここでは、本機収録辞書のデータについての付表を掲載します。

注意

ここでの付表は、書籍版辞典の抜粋や説明です。
書籍版辞典での囲み文字（(名) など）や括弧の一部が、表示上の制限から本機での表示と異なることがあります。
【例】

書籍版表示		本機上の表示
(名) (動) (接頭) (記号)	：	〚名〛〚動〛〚接頭〛〚記号〛
(自) (他)	：	（自）（他）
((　))	：	（　） 等

ジーニアス英和大辞典のデータについて

I 見出し語

《見出し語の並べ方》
I-1 アルファベット順に並べてある。同じつづりで大文字・小文字の違いのあるものは，小文字→大文字の順。

I-2 同じつづりで語源の異なる語は別見出しとし，右肩に番号をつけた（ただし，説明の都合で同語源でも別立てとしたものがある）。

john **John**
bill[1] **bill**[2] **Bill**

I-3 略語の形（ピリオドの有無，大文字か小文字か）は必ずしも１つに決まっていないが，大文字の略語はピリオドなしとすることが普通になってきているので，原則としてピリオドなしの形を見出しとして示した。なお，略語・記号については，同じつづりでも右肩の番号はつけていない。

《重要語の表示》
I-4 アメリカ英語のコンピュータコーパス（話し言葉・書き言葉各1000万語）での頻度調査結果を主な資料として，見出し語に次のような記号をつけて重要度ランクを示した。

⁑	Aランク	約3500語
*	Bランク	約5400語
無印	Cランク	その他の語

《いろいろなつづりがある場合》
I-5 米国式と英国式のつづりがあるときは，米国式を優先し，英国式つづりは参照見出しとした。

⁑col·or, 《英》--**our** ... 名
⁑col·our ... 《英》名動= color.

I-6 （ ）は省略可能の部分，－は最初のつづりとの共通部分を示す。（ ）部分もアルファベット順に含めて配列した。

bourn(e) [bourn とも bourne ともつづる]
Bah·rain, －·rein [Bahrain とも Bahrein ともつづる]

（-）はハイフンつきまたはハイフンなしの１語となることを示す。

re(-)entry [re-entry または reentry]

《分　節》
I-7 音節の切れ目は，次の２種類の記号で示した。

・（小さい中点）　行末で切るときはここで切ってよい。
‐（細い短いハイフン）　行末で切るときはここでは切らない方がよい。

cer·e·mo·ny [この語は行末で切る場合 m の前では切らない方がよいことを示す]

これは主として次のような基準によっている。
(1) 行末で切った場合でも発音がしやすく，また語の構成がわかる。
(2) 1字だけ行末に残ったり行頭に来たりしない。
(3) 4字以下の語は切らない。
(4) 人名（およびそれに準ずるもの）は原則として切らない。（ただし人名が一般の名詞や形容詞などとしても用いられるときは，人名でないときの切り方を示した。）

◇見出し語（派生語（→ I-11）を含む）については，行末にかかるときも，行末のハイフンを挿入しないで表記してある。

I-8 複数の発音を示した語では，最初に掲げた発音による切り方を示した。米音と英音が異なる場合は，米音による切り方を示した。
１語化した複合語（非分離複合語）では，構成要素の間だけを ・ で表示し，他の分節の表示は省略した。

《分離複合語（2語（以上の）見出し）》
I-9 2語以上からなる見出し語（以下「分離複合語」という）は，最初の語の項目の末尾にまとめて掲げた（アルファベット順）。例えば，table knife は見出し語 table の末尾に **～ knìfe** として示した（～は見出し語 table の代用）。ただし「単語検索」で普通の語と同じように検索できる。

◇box の項で，「**～ office** ↓．」とあるのは，独立の見出し語として box office が出ていることを示す。（box-office との関連がわかるようにするため。）
◇'s, and, 前置詞などで２語以上がつながっている句は成句（→X）とした。

２語以上で一体の語句は，１語めのみで用いることがない場合でも，検索の便のために１語めの見出しを立てることを原則とした。

《派生語の扱い》
I-10 次のような接尾辞を付けてできた派生語は，Cランクの場合には，見出し語の末尾（すべての品詞および分離複合語の後）に続けて掲げることがある。

-ability	-able	-al	-an	-ed	-er
-ic	-ical	-ing	-ish	-ism	-ist
-ity	-like	-ly	-ment	-ness	-or
-ship	-tion	など			

この扱いをした派生語はアルファベット順によらない。
（「単語検索」では普通に検索できる）

I-11 ～ は見出し語まるごとの代用である。
派生語の発音や強勢が主見出し語と異なるときは，これを明記した。（発音や強勢を示していないものは主見出し語と同じである。）

II 発　音

《発音の表記》
II-1 発音記号は別表「発音記号表」（P.159）のものを用い，/ / に入れて示した。省略可能な音はカッコに入れた。
ランクの高い語では variants を多めに示した。

ten·sion /ténʃən/　　**dis·tinct** /dɪstíŋ*k*t/

第１強勢（ストレス）には ˊ，第２強勢には ˋ を付けた。

II-2　発音の一部を省略するときは，省略部分をハイフン(-)で示した。

発音が同じで強勢の位置だけが異なるときは，短いダッシュを使って /⌐⌐⌐/ のように表記した(1音節につき1つのダッシュ)。

ab·so·lute·ly /æ̀bsəlúːtli, ⌐⌐⌐/

II-3　品詞によって発音が違うときは，見出し語の直後に一括して掲げた。ただし，特定の語義だけ発音が変わる場合は，語義番号の直後に掲げたものもある。

同じつづりの見出し語が複数あって2つめ以降の発音表記のないものは，1つめと同じ発音であることを示す。

《米音と英音》

II-4　米国式と英国式の発音が異なるときは，米音・英音の順で示し，間に | を入れた。ただし，米音と英音が規則的に対応する場合には原則として米音のみを示し，「発音記号表」の注1に示すような読み替えを行なう。

laugh /lǽf | lάːf/　**ga·rage** /gərάːdʒ | gǽrɑːdʒ/
hot /hάt/ (英音は /hɔ́t/ と読み替える)
fur·ther /fə́ːðɚ/ (英音は /fə́ːðə/ と読み替える)

《外国語音》

II-5　外国語の場合，英語化した発音があればそれを示した。英語化した発音がない場合は，その外国語で用いられる一般的な発音を示した。(なお 南アフリカ英語の発音は /《南ア》 búːrəsiœn/ のように示した。)

ca·fe /kæféɪ | ⌐⌐/
Mer·leau-Pon·ty /*Fr.* mɛrlopɔ̃ti/

外国語音を示す場合の言語名は次のような略記を用いた。

Dut.	Dutch	*Pol.*	Polish
Fr.	French	*Port.*	Portuguese
Ger.	German	*Rus.*	Russian
Hung.	Hungarian	*Sp.*	Spanish
It.	Italian	*Swed.*	Swedish

《音節主音的子音の表記》

II-6　/l/, /m/, /n/, 《英》/r/ は，母音なしに子音だけで1つの音節をなす「音節主音的子音(syllabic consonant)」になることがある。そのうち，一般的なものについては /l̩/ /m̩/ /n̩/ /r̩/ で示した。

lo·cal /lóʊkl̩/　**rythm** /ríðm̩/
cot·ton /kάtn̩/　**win·er·y** /《英》wáɪnr̩i/

なお，/l̩/, /m̩/, /n̩/, /r̩/ は，人により，場合により，それぞれ /əl/, /əm/, /ən/, /ər/ と発音されることもある。

また，/əl/, /əm/, /ən/ と表記した場合もあるが，それは，それぞれ音節主音的な /l̩/, /m̩/, /n̩/ として発音されることもありうることを示している。

A·pril /éɪprəl/　**lone·some** /lóʊnsəm/
sta·tion /stéɪʃən/

《複合語の発音》

II-7　複合語(分離複合語，非分離複合語，ハイフン付き複合語)については，特に必要な場合を除いて，発音表記を省略し，強勢だけを示した。

Máy Dày　**cáse·bòok**　**cróss-exámine**

複数の強勢パタンがある場合，複合語の構成部分を少し長めのダッシュで表し /⌐⌐, ⌐⌐/ のように示した(1つの構成部分につき1つのダッシュ)。

《派生語の発音》

II-8　Cランクの派生語については，元になった語に追加する部分・発音の違う部分だけを示した。次のような語尾で終る語は，特にまぎらわしい場合を除いて，発音を示さない。

-er /-ɚ/　**-ing** /-ɪŋ/　**-ed** /-ɪd/
-ist /-ɪst/　**-ism** /-ìzm̩/　**-ly** /-li/
-ment /-mənt/　**-ness** /-nəs/　**-less** /-ləs/

II-9　見出し語の記述の末尾においた派生語は，強勢の位置や発音が元の語と違うときには，その部分を明記した。

《接頭 接尾 連結形》

II-10　接頭 接尾 連結形の発音は代表的な発音だけを示した。実際の語のなかでは他の発音もありうる。

III 語　源

《語　源》

III-1　A，Bランクの語を中心に，意味の総合的な理解を助けるため，語源を発音表記の直後に〖　〗に入れて示した。

probable〖初 14c；ラテン語 probare(証明する，調べる)．prob-(証明する)＋-able〗
respect〖初 14c；ラテン語 respicere(振り返る，尊敬する)．re-(振り返って)＋-spect(見る)．「人としての価値を認めること」が本義〗
solo〖初 17c；イタリア語 solo より．cf. solo[1]〗

語源は，記録に残っている限り最も古い語(例：英語本来の語は古英語の形，借入語の場合は直接の借入元となった語)だけを提示し，途中での形の変化は省略して簡潔明快に示した。古英語や，英語以外の言語の表記は，簡略に示した場合がある。

語義の変化の大きいときには変化の過程を「　→　」のように示したり，提示した語源と英語での語義の差が大きいときは英語での「本義」「原義」を注記するなど，語の事情によっていろいろな示し方をした。

III-2　主な記号

初	その語が英語で初めて使われた世紀・年を示す
＋	語幹と接辞，混成・合成の関係を示す
?	推定，不詳の意
…より	主に，直接の借入元の語を示す

《由　来》

III-3　外来語(完全に英語化しているものも含む)は，その由来する言語名を〖フランス〗〖スペイン〗などとして示した。

成句の由来などを〖　〗や《◆　》による注の中で示した場合がある。

IV 品　詞

《品詞の表示》

IV-1　品詞は次のように示した。

名 名詞	代 代名詞
動 動詞　自 自動詞	
他 他動詞	
助 助動詞	前 前置詞
形 形容詞	副 副詞
間 間投詞	接 接続詞
接頭 接頭辞	接尾 接尾辞
連結形	
略 略語	記号

IV-2　分離複合語には品詞を示していない。ただし，外来語などわかりにくいものには示した。

V 語形変化

《語形変化の表示の原則》

V-1 名詞, 動詞, 形容詞, 副詞の語形変化は, 不規則変化と注意を要するもの(子音を重ねる場合など)を, 品詞表示のすぐ後に( )に入れて示した。

V-2 非分離複合語・ハイフン付き複合語については, 原則として後半の要素(例えば bookshelf では shelf)の変化と同じであるので, 多くの場合省略した。

V-3 ～は見出し語まるごとの代用, - は見出し語の一部(音節の切れ目から前)の代用である。/～/ は(語形変化した場合でも)発音が見出し語と同じであることを示す。

《名詞の複数形》

V-4 (複)と表示した。つづりが -o で終る語, その他注意を要する語については規則変化も表示した。

《動詞の語形変化》

V-5 動詞の語形変化は

(過去形， 過去分詞形 ; 現在分詞形)

のように示した。

過去形と過去分詞形が同じ場合は1回だけ表示した。

2つ以上の形があるときは or で示した。

run (ran /rǽn/, **run** /rʌ́n/; **～·ning**)
[過去形 ran; 過去分詞形 run; 現在分詞形 running であることを示す]

burst (burst)
[過去形・過去分詞形はともに burst であることを示す]

spring (sprang /sprǽŋ/ or 《米》 **sprung** /sprʌ́ŋ/, **sprung**)
[過去形は sprang(米国では sprung も用いる), 過去分詞形は sprung であることを示す]

leap (leaped /líːpt|lépt/ or 《主に英》 **leapt** /lépt, líːpt/)
[過去形・過去分詞形は leaped で, ほかに主に英国で用いる形として leapt があることを示す]

out·shoot (-·shot) [過去形・過去分詞形 outshot]

flop (-pp-) [過去形・過去分詞形 flopped, 現在分詞形 flopping]

《形容詞・副詞の比較変化》

V-6 1音節の語では -er 型, 2音節以上の語では more 型が原則なので, これから外れるもののみを表示した。以下はその例:

(しばしば **-er** 型) [2音節以上の語で, more 型が多いが, -er 型も用いる]

(通例 **more** 型) [1音節の語で, 通例 more 型で用い, 時に -er 型でも用いる]

-y を i に変えて -er をつけるものも単に(**-er** 型)と表示した。

-er, -est をつけるとき語尾の子音を重ねるものは(**-tt-**) (《英》 **-ll-**) などと示した。

◇現代英語では -er 型だった語がしだいに more 型へ変わっていく傾向がある。くわしくは more 副の項の 語法 参照。

《φ 比較》

V-7 A, B ランクの語を中心に, 形容詞・副詞で通例比較変化しない語・語義には(φ 比較)と表示した。

VI 語義・文型表示・語法・いろいろな注記

《語義の区分・順序》

VI-1 語義は **1, 2, 3** ... の数字で区分し, さらに必要に応じて **a, b, c** ... やセミコロン(;)で区切って示した。多くの語義のある語では, **I, II, III** ...で大きな意味ブロックに分けた。

語義を掲げる順序は, 現代の使用頻度順を原則としながら, 意味の関連・展開がわかりやすい順序となるように工夫した。

《語義の示し方》

VI-2 語義は, 説明的な訳は避け, なるべくそのまま訳語として使えるような形で示すようにした。訳語のうち省略可能な部分や補足的な部分は( )に入れた。

can[2] ... 名 ...... **2** 缶詰め(の缶)
[「缶詰め」または「缶詰めの缶」の意になる]

「内包的・補助的意味」(訳語としては現れないことが多いが, 通例そういう意味をこめて用いられるという部分)も( )で示すようにした。

cleanly ... 副 **1** (性格・習性として, 神経質なほど) きれいに
channel ... 名 ...... **2** (船が通れる) 水路

[ ]は直前の語句と交換ができる語句を示す。

decolorize ... 動 ...脱色[漂白]する
[「脱色する」または「漂白する」の意になる]

語義の定義や内容の直接の説明は《 》に入れて示した。

VI-3 A ランクの語では, 重要な語義については, 文型・ⓈⓄ(動詞・形容詞の場合)を指示し, 用法の注記などを特に詳しくした。

《用法の指示, 文法上の注記》

VI-4 さまざまな用法・文法上の注記を[ ]に入れて示した。(～は見出し語の代用。ただし, 2字以下の語と助動詞は全部つづった。) 以下に主なものを掲げる。

語形

[P～] 見出し語は小文字だが, 大文字で用いる。

[p～] 見出し語は大文字だが, 小文字で用いる。

◇分離複合語では次のような表示も用いた。

civil ... **～ wár** (1)... (2) [the C～ W-] 《米史》 南北戦争
[the Civil War という形になることを示す]

名詞の用法

[the ～] [a ～] [an ～] それぞれの冠詞つきで用いる。

[one's ～] 所有格の人称代名詞 (my, your, his, her, our など)つきで用いる。

[～s] [～es] 複数形で用いる。(子音+y で終る音については [～ies]と示した。)

[単数扱い] [複数扱い] [単数・複数扱い] → VIII-4

[形容詞的に] 限定用法の形容詞のように用いる。

◇「大文字で複数形」のような場合は, 例えば [J～s] (judge の項) としないで [Judges] と全部つづった。

◇分離複合語で後の語が複数形になるときは [-s] とした。

形容詞の用法

[叙述] 叙述用法(predicative use) (be, remain など連結動詞(copulative verb)の補語となる用法)で用いる。

[限定] 限定用法(attributive use) (名詞の直前[または時に直後]に置いてその名詞を直接修飾する用法)で用いる。

[他動詞的に] 他動詞に由来し, 「(…を)…させるような」といった意味で用いる。

動詞の用法

[be ～ed] 受身形で用いる。

[伝達動詞] 直接話法の伝達動詞としての用法を示す。

[be ～ing] 進行形で用いる。

◇[be ～ed] および [通例 be ～ed] については, それに続く訳語も受身にしたものを掲げた。

◇受身形・進行形で用いるもののうち重要なものは, 文型表示(→ VI-5)の形で示した。

◇[命令形で] [通例命令形で]では, それに続く訳語も命令調にした。

その他のさまざまな用法指示

[a ～ of ...] [数詞の前で] [比較級を強めて] [比喩] [婉曲] [おどけて] [けなして] [ほめて]など

[俗用的に] 専門的な語が本来の専門用語としてでなく通俗的

な意味で用いられた場合をいう。
名詞の Ⓒ Ⓤ は VIII を，動詞・形容詞の Ⓢ Ⓓ は IX を参照。
◇間投詞のうちで丁寧さを表したり唐突になることを避けるためにある程度意識的に使われるものには《談話標識》(Discourse Marker)のラベルをつけた。

《文型表示》

VI-5　重要な動詞および一部の形容詞(主としてＡランクの太字語義のある項目)については，S, V, O（または O_1, O_2), C, M を用いて文型を表示した。

S＝主語　　V＝動詞
O＝目的語　　C＝補語
M＝副詞的修飾語句(前置詞句，副詞など)

動詞の文型は次の７文型を基本とする。

SV	主語＋動詞	……………第Ｉ文型
SVM	主語＋動詞＋副詞的修飾語(句)	……………第Ｉ文型
SVC	主語＋動詞＋補語	……………第II文型
SVO	主語＋動詞＋目的語	…第III文型
SVOM	主語＋動詞＋目的語＋副詞的修飾語(句)	…第III文型
SVO_1O_2	主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語	………第IV文型
SVOC	主語＋動詞＋目的語＋補語	………第Ｖ文型

VI-6　不定詞，動名詞，that 節，wh 節などを伴う場合や，ある前置詞を決まって用いる場合などは，それも含めて示した。用いたり用いなかったりする部分は(　)に入れた。
/ は，その両側の一部分(または全部)が交換可能であることを示す。

[SV to do / doing]
[SVO_1 to O_2 / SVO_2O_1]
[SVO (to be) C / (that)節]
[it is ～ of O to do]

◇ O_1, O_2は前置詞の目的語などにも用いる。したがって，O_1＝間接目的語，O_2＝直接目的語と固定しているわけではない。
◇"to do" "doing"という表示は to be, being を含む。to be, being だけのときは"to be" "being"とする。

《スピーチレベル》

VI-7　語の使われる地域，文体，時代的差異などに関するスピーチレベルは，《　》に入れて示した。主なものは次のとおり(指示のない語は普通に用いられる一般語である)。

社会的差異
《非標準》 非標準英語(標準英語には特に表示しない)
レジスター(標準英語内における機能的差異)
《正式》　堅い書き言葉・話し言葉(時に《文》に通じる)
(Ｃランクの語は，かなりの部分が専門性の高い語なので，《正式》の表示を省略した。)
《略式》　くだけた書き言葉・話し言葉
《俗》　俗語，非常にくだけた話し言葉
《性俗》　性的な俗語(下品な語，タブーとされる語も含む)
《文》　文語，堅い書き言葉(時に《古》《詩》に通じる)
《詩》　詩で用いる言葉
《まれ》
性的・年齢的・人種的差異
《男性語》　《女性語》
《学生語》　《小児語》
《黒人語》 米国の黒人特有の言葉
地域的差異
《方言》　ある地域でだけ用いる。《英方言》とあれば英国のある地域でのみ用いる言葉ということになる。
《米》　米国(およびカナダ)でのみ用いる。
《英》　英国(およびオーストラリア・ニュージーランド)でのみ用いる。
《カナダ》　カナダでのみ用いる。
《豪》　オーストラリアでのみ用いる。
《NZ》　ニュージーランドでのみ用いる。
《南ア》　南アフリカ共和国でのみ用いる。
《イング》　イングランド方言
《北イング》　北部イングランド方言
《スコット》　スコットランド方言
《アイル》　アイルランド方言
その他，必要に応じていろいろな地域名を用いた。
時代的差異
《やや古》　《古》　《廃》
視覚方言
《視覚方言》　方言的・非標準的な発音を反映したつづりで表記した語
その他
《愛称》　《掲示》　《Ｅメール》
その他，場面を表す短い言葉(《空港のアナウンス》《店員の言葉》など)を《　》で示した。

VI-8　以上を組み合わせて《米古》《米略式》《米ではやや古》などという表示も用いた。
また「主に」「…ではしばしば」「…では時に」「もと」などの言葉も用いて，特に地域ごとの使用実態を示すようにした。
組み合わせる場合，「または」の意では中点(・)を入れた。複数の地域名と他の表示を組み合わせるときはハイフン(-)を入れた。
《主に英》 主に英国で用いる。(米国で用いることもある。)
《英では主に》　英国では主にこの語句・語形を用いる。他の語句・語形を用いることもある。(米国では用いない。)
《英ではしばしば》　英国ではこの語句・語形を用いることもよくある。(米国では用いない。)
《英では時に》　英国では時にこの語句・語形を用いることもある。(米国では用いない。)
《英まれ》　英国でまれにこの語句・語形を用いることがある。(米国では用いない。)
《英古》　英国で古い用法でのみ用いる。(米国では用いない。)
《英・カナダ》　英国とカナダでのみ用いる。
《豪・NZ-略式》　オーストラリアとニュージーランドで，《略式》で用いられる。

《PC》

VI-9　性差別・人種差別・障害者差別等につながりうる語句には，非差別的表現を，《PC》という表示をつけて掲げた。(PC＝politically correctness)
例えば，人間全体を表す男性名詞(例：man, mankind)，男女両性を含む男性職業名詞(例：salesman, congressman)，ことさら男女の違いを強調する語(例：lady doctor, waitress)などに対して，男性に偏しない両性平等に使える語を示した。

assemblyman　議員（《PC》 assembly member)

特定の人種・民族や同性愛者などを見下した文脈で用いられ，侮辱的と受け取られる語には《侮蔑》という表示をつけて，特に使用上の注意を促した。

Chinaman 《侮蔑》 中国人（《PC》 Chinese person)
fag[3] 《米俗》《侮蔑》 男の同性愛者，ホモ

《専門語》

VI-10　専門的な語，決まった分野で用いられる語では，分野を〔　〕で示し，以下のものについては略号を用いた。ただし，訳語から明らかなものは表示を略した場合がある。

〔植〕　植物名・植物学
〔動〕　動物名・動物学
〔魚〕　魚類・魚類学
〔米史〕　米国史
〔英史〕　英国史
〔南ア史〕　南アフリカ史
〔豪史〕　オーストラリア史
〔NZ史〕　ニュージーランド史
〔アメフト〕　アメリカン=フットボール
〔アングリカン〕　アングリカン=チャーチ

◇他の分野名では，例えば「生態学」→〔生態〕のように「学」を省略した場合がある。

《人名・動植物名・化合物》

VI-11　人名項目では，性別を ⓜ (male 男性)，ⓕ (female 女性)で

示した。

VI-12 動植物名の項目は，単独の種の場合は，和名の後，説明の前に(　)内に学名を記載した。ただし，定着した和名がないものは，語義部分に学名のみを記載した。

Glasswort … 〔植〕アッケシソウ(*Salicornia europaea*)《ユーラシアの寒帯に広く分布するアカザ科の海岸植物；……》

Atlantic croaker … 〔魚〕*Micropogonias undulates*《アメリカ大西洋岸・メキシコ湾に生息するニベ科の食用魚；……》

総称名については，《　》内の説明の中に属・科などの学名を入れて分類上の位置を示すのを原則とした。語義を記しにくい場合は，語義の位置に説明を入れてある。

Basilisk … 〔動〕バシリスク《イグアナ科 *Basiliscus* 属のトカゲの総称；熱帯アメリカ産；……》

amberjack … 〔魚〕アジ科ブリ属 (*Seriona*) のいくつかの大きな魚の総称；(特に)カンパチ (*S. dumevili*)；……

VI-13 化合物は，必要に応じて語義の後に(　)で化学式を記載した。この場合化学式はなるべく示性式で示した。

《選択制限》

VI-14 動詞の主語・目的語・補語，形容詞の被修飾語，前置詞の目的語などにどういう内容の語がくるか(選択制限)を，語義の中に〈　〉で示した。文型表示をしたものは，その中のS，O，Cなどと対応させてある。(SVO構文の他動詞など誤解のおそれのない場合は，〈　〉の前のOは省略した。)

call … 動 … **1** [SVO]〈人が〉〈人・名前・動物など〉を(大声で)呼ぶ
[主語については〈…が〉のように示す]

derive … 動 … **1** [SVO₁ from O₂]〈人などが〉O₂〈本源となる物・事〉からO₁〈利益・楽しみ・安心・知識など〉を引き出す，得る

decent … 形 … **2** …〈態度・考え・言葉・人などが〉上品な，慎み深い

desire … 動 … **1 a** [SVO / to do]〈人が〉〈物・事〉を[…することを]強く望む
[[SVO]の場合「〈物・事〉を強く望む」，[SV to do]の場合「…することを強く望む」の意となる]

《連語関係》

VI-15 その語と一緒によく用いられる前置詞(場合により動名詞・不定詞など)を，語義の後に〔　〕に入れて示した。それに対応する訳語も〔　〕で示した。

fire … 動 … **1**〈人が〉〈銃・弾丸など〉を〔…めがけて〕発射する，発砲する〔*at, into, on, upon*〕

fight … 名 … **1**〔…に対する/…のための〕戦い，闘争〔*against/for*〕
[「…に対する」の意では against，「…のための」の意では for を伴うことを示す]

VI-16 動詞としばしばいっしょに用いる副詞辞は，語義の後に(　)に入れて示した(同義語があるときはその後)。

figure … 動 … **1** …を計算する，合計する(*up*)

《いろいろな注記・記号》

VI-17 語義の後の(　)内に同義語または言い換え可能な英語を示した。

語義になんらかのスピーチレベルが示してあるときは，できるだけ中立的な語(句)を(　)内に示すようにした。米英の一方でのみ用いられる語には，他方で用いられる語を示した。

語義・訳語についての関連情報や語法説明・語のイメージなどは《◆　》に入れて示した。説明の長いものは解説とした。

項目の末尾に[◆　]の形で置いた注は，その項目の複数の語義全体に適用される。

VI-18 必要に応じて，次のような表示を用いていろいろな情報を収録した。

関連　語法　文化　事情
類　類義語
比較　日本語と英語の比較
表現　主に英語で表現する場合に役立つ知識
ˣ　文法的に誤った英語，語法上不適切な表現

◇時として使われることがある言い方でも，標準的とはみなされていないものにはˣ印をつけた場合がある。

cf.　…を参照せよ
→　…を見よ(直接関連する情報が他の箇所にある場合)
↔　反意語・対になる語

VI-19 重要な動詞については，冒頭に文型インデックス（index|と表示）を設け，文型から意味をすばやく検索できるようにした。

VII 用　例

《用　例》

VII-1 重要な語義については特に多く示すようにした。

用例の中では，見出し語と同じものを~で示した。ただし，2字以下の語，助動詞，不規則変化した形は全部つづった。語形変化した形については ~*s*，~*es*，~*ed*，~*ing* のようにした。語尾の y を i に変えて es をつけるものは ~*ies* とした。

◇用例は，語の使用例であり，その内容はすべて真実であるとは限らないし，また編者の考えを示すものではない。

VII-2 [　]は，語義の場合と同じように，直前の語と交換が可能であることを示す。英語とその訳の両方に[　]があるときは，[　]の前の語同士，[　]の中の語同士が原則として対応している(これは注記などでも同じ)。

eclipse … 名 **1** … a solar [lunar] ~ 日[月]食
[a solar eclipse が「日食」，a lunar eclipse が「月食」となることを示す]

(　)はその部分が省略可能であることを示す。英語とその訳の両方に(　)があるときは，対応している。

用例の出典や発言者を示す場合は，〈　〉で示した。聖書・シェイクスピアの作品については，略語を用いた。ただし，《◆　》による注の中で示す場合もある。

《用例の言い換え》

VII-3 重要語については用例の言い換え(または言い換え不可についての情報)を示した場合がある。

cold … 形 … It's ~ in this room. =This room is ~. =I feel ~ in this room. この部屋は寒い.

collapse … 動 自 … Under the weight of the snow the roof of the house ~*d*. 雪の重みで家の屋根がつぶれた (=The weight of the snow ~*d* the roof ...)
[他を用いた言い換え]

student … 名 … a ~ at [ˣof] Oxford University オックスフォード大学の学生.

◇言い換えに用いた等号(=)は「ほぼ同じことをこのようにもいえる」といったかなり幅のある記号である。

《イントネーション，強勢など》

VII-4 イントネーションや強勢によって意味の違いが生じる場合(「部分否定」と「全否定」など)，丁寧さの度合いが異なってくる場合，その他必要に応じて用例にイントネーションや強勢を示した。イントネーションは，高低変化の終った箇所に，次のような記号で示した。また，|によって，若干の休止があることを示した。

(1) ↘(下降調)　通例平叙文で用いられ，文の完結を示す。断定的口調。疑問文では同意や情報を求める場合に用いられる。
That's a pity [too bad].(↘) それは残念.

(2) ↗(上昇調)　通例疑問文で用いられ，質問・勧誘・依頼などを表す。また文中で，文が未完結であることを示す。

[丁寧な質問] Who is it?(↗) どなたですか.
[勧誘] Will you have some coffee with me?(↗) 一緒にコーヒーを飲みませんか.
Do you drink whisky(↗) or /ə/ brandy?(↗) ウイスキーかブランデー(それとも他のもの)でも飲みますか.
[依頼] Perhaps you would be good enough to read this.(↗) これを読んでいただけるとありがたいのですが.

(3) ↘↗(下降上昇調) 通例文頭の文副詞・挿入句[節]で用いる。文尾では対比とか話し手の含みのある態度を示す。
[文頭] To begin with(↘↗) ¦ he is unexperienced; secondly (↗) ¦ he is unreliable. 第一,彼は経験が浅いし,第二に信用できない.
[文尾] I'd like my lunch hot.(↘↗) 温かければ昼食をいただきますが《◆(↘)では「昼食は温かいのがいいです」》.

(4) ↘(部分下降調) 中途半端な下降で,未完結あるいは話し手のちゅうちょなどを表す。
[未完結] Like you (↘), I'm nòt táll.(↘) 君と同じで私も背が高くない.
[ちゅうちょ] Pardon me ... (↘) 失礼ですが.

VIII Ⓒ と Ⓤ

《名詞の Ⓒ と Ⓤ》

VIII-1 A・B ランクの名詞には,数えられるものに Ⓒ(countable),数えられないものに Ⓤ(uncountable) の記号をつけた。語義番号の前にある記号は全部の語義に共通である。番号の後の ⒸⓊ は,次の記号があるまで適用される。

《ⒸⓊ の意味》

VIII-2 Ⓒ名詞は,単数形では a, an(または the, my, any)などの決定詞が必要であり,複数形にすることができる。

Ⓤ名詞は,冠詞(または他の決定詞)なしで用いることができ,複数形にならない。いわゆる物質名詞,抽象名詞,集合名詞などがこれに含まれる。特に a, an がつくときは[a ~],また[しばしば a ~][しばしば ~s]は[or a ~][or ~s]などと示した。

[集合的に]としたものには通例 ⓊⒸ をつけない。

固有名詞には ⓊⒸ 記号をつけない。

VIII-3 Ⓒ と Ⓤ の文法上の基準

Ⓒと判断する基準として,
(1)数詞がつく
(2)不定冠詞がつく
(3)複数形にできる
ということがあげられる。

	(1)	(2)	(3)
book	+	+	+
kindness	−	+	+
curd	−	−	+
news	−	−	−

3 つの基準をすべて満たすものが完全な Ⓒ 名詞,それを満たさないものが Ⓤ 名詞となる。しかし,すべては満たさないが,その一部(2 つの基準)を満たす中間段階のものがある。これも一般に不完全ながら Ⓒ 名詞扱いされている。kindness のグループがそれである。本辞典ではこのグループの語については,意味区分に応じて Ⓤ と Ⓒ とを示しているが,こうした中間段階の語で意味区分を明確に示しにくい語やランクの低い語については一括して ⒸⓊ または ⓊⒸ と表示した。ⒸⓊ は Ⓒ 性の方が,ⓊⒸ は Ⓤ 性の方が強いことを表している。

◇Ⓤ 名詞であっても,その種類を問題にするときに Ⓒ 扱いになることがある。これを「chalk 名Ⓤ([種類]Ⓒ)チョーク」のように注記した。この場合,チョークの種類を問題にするときは Ⓒ となり,chalks of different colors(異なった色のチョーク)のように複数形が用いられる。

《関連する用法の表示》

VIII-4 [the ~][a ~][~s][the ~s][one's ~]などとあるものは常にこの形で用いられることを示す。この場合 ⓊⒸ はつけない。

複数形の語の語義については,必要に応じ,[単数扱い][複数扱い][単数・複数扱い]という表示をした。[単数扱い]の語が主語になった場合は単数の主語に呼応する動詞を用い,また単数の代名詞で受ける。(複数形で表示のないものは複数扱いである。)

IX Ⓢ と Ⓓ

《Ⓢ と Ⓓ》

IX-1 A ランクの動詞・形容詞の重要語義に Ⓢ(stative), Ⓓ(dynamic)の表示をした。その内容は次のとおり。

Ⓢ =人が自分の意志でコントロールできない状態・出来事を表す。
Ⓓ =人が自分の意志でコントロールできる行為・状態を表す。

smell 動 他 **1** Ⓓ …のにおいをかぐ. **2** Ⓢ …のにおいがわかる, においで…に気づく.
deaf 形 **1** Ⓢ 耳が聞えない, 耳が遠い[不自由な]. **2** Ⓓ(忠告・嘆願などを)聞こうとしない(to).

《「人が主語」の場合》

IX-2 例えば, see の基本的な意味は「(事物の姿が)目に見えている」で,主語である人の意志を含まないから Ⓢ動詞である。人を主語にした Ⓢ動詞・形容詞は,進行形・命令形にならないという特徴がある。

I see the two birds. (2 羽の鳥が見えます[見えています])
×I am seeing the two birds. [進行形不可]
×See the two birds. [命令形不可]

IX-3 これに対し, look at は「(人が見ようと思って)見る」という意味なので Ⓓ動詞であり,進行形・命令形にすることができる。

I am looking at the two birds. (私は 2 羽の鳥を見ている)[進行形可]
Look at the two birds. (2 羽の鳥を見なさい)[命令形可]

IX-4 Ⓓ形容詞の場合は, "... is being ..." のような進行形, "Be ..." のような命令形にすることができる。

《無生物主語の場合》

IX-5 無生物が主語の場合,例えば

The river flows through the city. (その川は市内を流れている)[永続的]

では,川は人の意志に関係なく流れるので,動詞 flow は Ⓢ動詞であり,進行形にはできない。

×The river is flowing through the city.

ただし,一時的な状態を表すときは, Ⓢ動詞であっても自由に進行形にできる。

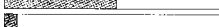
The river is now flowing very rapidly. (川は今とても速く流れている)

なお,人間は通例川に命令を下すことはできないので,永続的・一時的にかかわらず, ×Flow very rapidly. (速く流れよ)のような命令形は普通の文脈では用いない。

《ⓈⒹ のまとめ》

IX-6 以上をまとめると,次のようになる。

(1) 人を主語にした Ⓢ動詞・形容詞は,通例進行形・命令形で用いることができない。
(2) 人を主語にした Ⓓ動詞・形容詞は,通例進行形・命令形で用いることができる。
(3) 無生物主語の Ⓢ動詞・形容詞は,永続的な状態を表す場合,通

例進行形で用いることができない。命令形は用いない。

(4) 無生物主語のⓈ動詞・形容詞は，一時的な状態を表す場合，進行形で用いることができる。むしろ進行形が普通である。命令形は用いない。((3)(4)の区別は該当する動詞にそれぞれ注記してある。)

◇無生物主語のⒹ動詞はない。

以上が基本的な原則であるが，実際にはⓈⒹの両面を持つものや場合によって原則から多少はずれる用法も見られるので，語義ごとに可能な限り注記した。

《「…している」(Ⓢ性・Ⓓ性と進行形)》

IX-7 Ⓢ性とⒹ性(進行形との関係)

contain / know / love / lie / claim

▨ はⓈ性　□ はⒹ性

いずれも，日本語で「…している」と訳すことができるものでⓈ性をもっているが，その度合は上のように異なる。だいたい love のグループぐらいまでをⓈとして表記した。lie のようにⓈにもⒹにも用いられるグループの語は本辞典 lie のように語義により区分して扱ったところもあるが，通例ⒹⓈまたはⓈⒹとした。

X 成句・句動詞

《成句の掲げ方》

X-1 成句はマーク化した。

◇'s, and, 前置詞などを含む句は，分離複合語(→I-9)でなく，成句とした。

X-2 配列はアルファベット順(単語ごとでなく，全体を通してのアルファベット順)である。O, O's(時に A, B, S など)はアルファベット順に含めないが，*one's*, *one**self***, ***the***, ***a*** などはアルファベット順に含めた。また(　)内の語(省略可能の意)はアルファベット順に含め，[　]内の語(直前の語と交替可能の意)は含めない。

《成句に用いた記号》

X-3 O は動詞・前置詞の目的語を示す(ただし，目的語ではなくても便宜上名詞・代名詞の入る場所に O を用いた場合がある)。

one's は成句の主語と同じものが人称代名詞(my, your, her, their など)になって入ることを示す。その他の場合は O's とする。

*one**self*** は再帰代名詞(myself, yourself, herself など)が入ることを示す(この辞典の oneself の項目の語法参照)。

〈　〉〔　〕(　)[　]の意味は単語の語義の場合(VI 2, 14, 15)と同じである。[　]が成句見出しと訳の両方にあるときは，用例の場合(VII 2 参照)と同じように，英語とその訳を対応させて用いるのを原則とした。

X-4 成句には標準的な強勢を表示した。ただし，文脈による変動や個人差も大きいので，ひとつの目安としての表示である。

X-5 重要語に相当する成句には * 印をつけた。句動詞では，必要によりⓈⒹを付した。

《成句を扱う場所》

X-6 名詞を含む成句は，原則として句の中で最初に出てくる名詞の見出し語のところで扱う。それ以外は，その成句の中でもっとも重要な語またはもっとも特徴的な語の見出し語のところで扱う。

in the lóng rùn	**run** 名 で扱う。
hít it óff	**hit** 動 で扱う。
còme (báck) to lífe	**life** 名 で扱う。

《機能表示》

X-7 「動詞＋前置詞または副詞辞」からなる句動詞には成句としての機能(品詞に準ずるもの)を次のように表示した。

[自] 自動詞＋副詞辞：目的語をとらない。

[他] 他動詞＋副詞辞：他動詞なので目的語をとる。原則として副詞辞は目的語の前にも後にも置かれる(～ O up / ～ up O のいずれも可)。ただし O が代名詞の場合は通例 ～ O up のみ可。

◇まれに副詞辞ではなく前置詞の場合，例えば ～ O_1 into O_2 の形式もここに入れた。

[自⁺] [～ on O] 自動詞＋前置詞：目的語は前置詞の目的語である。

X-8 句動詞以外でも，形や訳語からわかりにくいものは[名][副][接]のように機能表示をした。

《相互参照など》

X-9 他の成句と同じ意味のときは＝を用いて次のように示した。(arm[1]の項で)

give** one's **ríght árm ＝give one's EARs.

[give one's ears と同じ意味であり，それは ear(大文字になっている)の項に説明があることを示す]

他の見出し語のもとで扱った場合も → でそれを示した。

発音記号表

[母　　音]

/iː/	sea, piece	/ɚː/*	bird, early
/i/	cookie, Siena	/ɚːr | ʌr/	courage, current
/ɪ/	hit, pick	/eɪ/	take, eight
/e/	set, red	/aɪ/	right, try
/æ/	bat, cap	/ɔɪ/	choice, toy
/æ | ɑː/	laugh, staff	/aʊ/	cow, out
/ɑː/	father, calm	/oʊ/*	rope, road
/ɑ/*	hot, watch	/ɑɚ | ɑː/	star, par
/ʌ/	cup, bus	/ɔɚ | ɔː/	store, door
/ɔː/	call, ball	/ɪɚ/*	deer, fear
/ɔ(ː)/*	long, soft	/eɚ/*	hair, care
/uː/	soup, food	/ʊɚ/*	tour, poor
/u/	Thank you, visual	/ɪɚr/*	serious, cereal
/ʊ/	book, would	/eɚr/*	parent, fairy
/(j)uː/*	new, pursue	/ʊɚr/*	tourist, curious
/ɚ/*	paper, perform	/æɚr/(米)	marry, sparrow

[子　　音]

/p/	pen, cup	/ʧ/	chart, catch
/b/	boy, job	/ʤ/	July, bridge
/t/	team, sit	/h/	hot, who
/d/	date, pad	/m/	man, run
/k/	cut, kick	/n/	not, run
/g/	gate, dog	/ŋ/	song, singer
/f/	fight, puff	/l/	light, tell
/v/	voice, save	/r/	red, straw
/θ/	three, tooth	/j/	yes, opinion
/ð/	this, bathe	/w/	well, one
/s/	sun, pass	/hw/*	what, whale
/z/	zoo, noise	/m̩/	rhythm, prism
/ʃ/	she, cash	/n̩/	garden, happen
/ʒ/	vision, pleasure	/ŋ̩/	bacon, vacant
/ʦ/	cats, roots	/l̩/	little, puzzle
/ʣ/	reads, adds	/r̩/	winery(英)

[外国語音(主なもの)]

/ɛ̃/	Saint-Laurent	/x/	Bach
/ɑ̃/	Saint-Laurent	/ç/	Köchel
/ɔ̃/	Saint-Simon		

［注］

1. 米音と英音

/lǽf | lɑ́ːf/ のような場合，| の左側が米国式，右側が英国式の発音である。

《米+》，《英+》は「米国ではこの発音もある」「英国ではこの発音もある」の意。

*印の音については米音と英音が異なり，次のように対応する。

/ɑ/	→米 /ɑ/	英 /ɔ/
/ɔ(ː)/	→米 /ɔː/	英 /ɔ/
/n(j)uː/	→米 /nuː-/	英 /njuː-/
/ɚ/	→米 /ɚ/	英 /ə/
/ɚː/	→米 /ɚː/	英 /əː/
/oʊ/	→米 /oʊ/	英 /əʊ/
/ɪɚ/	→米 /ɪɚ/	英 /ɪə/
/eɚ/	→米 /eɚ/	英 /eə/
/ʊɚ/	→米 /ʊɚ/	英 /ʊə/
/ɪər/	→米 /ɪər/	英 /ɪər/
/eər/	→米 /eər/	英 /eər/
/ʊər/	→米 /ʊər/	英 /ʊər/
/hw/	→米 /hw/	英 /w/

2. あいまい母音 /ə/

通例「あいまい母音」と呼ばれている /ə/［「シュワー(schwa)」と称する］は，「そのつづり字本来の母音を弱く発音した音」を表す。/ə/ は時に「日本語のアの弱い音」というように説明されることもあるが，実際にはそれだけでなく，かなり広い範囲の音が含まれる。

例えば，to·day/tədéɪ/ の /tə/ は，「タ」ではなく，/tu-/ の方に寄った音である。

3. かぎ付きのシュワー /ɚ/

米音における /ə+r/ は，実際には 1 つの母音として発音される。この音を「かぎ付きのシュワー(hooked schwa)」/ɚ/ で示した。

bet·ter/bétɚ/　　bird/bɚ́ːd/
cour·age/kɚ́ːrɪdʒ/　　pa·rade/pəréɪd/

(ただし，ar·rive/əráɪv/ などの語頭の /ə+r/ は，通例 /ɚ/ にはならない。)

また，ear, air, car, door, tour などの米音に含まれる母音は「r 二重母音(r-diphthong)」と呼ばれる。これらの第 2 要素 /r/ も /ɚ/ で示した。

hear/híɚ/　　hearing/híɚrɪŋ/　　series/síɚriːz/

なお，/kɚːrɪdʒ/, /pəréɪd/, /híɚrɪŋ/, /síɚriːz/ などにおける /-r-/ は，発音記号を読みやすくするために入れてある。

4. /ɪ/ と /i/, /ʊ/ と /u/

/ɪ/, /ʊ/ は「緩み母音(lax vowel)」，/i/, /u/ は「張り母音(tense vowel)」と呼ばれる。

緩み母音は「舌の位置が低い・緊張がない・唇の形が緩む」という特徴があるのに対し，張り母音は「舌の位置が高い・緊張がある・唇が張って［/u/ では丸められて］いる」という特徴がある。

it/ít/　　eat/íːt/
book/bʊ́k/　　soup/súːp/

また，say, eye, toy, out, coat などに含まれる二重母音の第 2 要素も緩み母音になるので，/ɪ/, /ʊ/ で示した。

なお，/ɪ/, /ʊ/ は，語末および母音の前では，それぞれ張り母音 /i/, /u/ となる。

ba·by/béɪbi/　　Si·ena/siénə/
Thank you/-ju/　　in·flu·ence/ínfluəns/

5. 強勢(ストレス)とアクセント

強勢(ストレス)とアクセントという用語は，その 2 つが通例同じ音節に置かれるので，しばしば同じように用いられるが，強勢(ストレス)はリズム単位を形成する要素で，音の大きさ・高さ・長さなどによって，弱い音節と区別される。

一方，アクセントは，特に高さ(高いまたは低いピッチ)によって他の音節と区別される要素である。

ここで用いている第 1 強勢・第 2 強勢という用語はそれぞれ primary stress, secondary stress に対応している(アクセントという用語は使用していない)。

6. 強勢の位置の変化

強勢(ストレス)は，①リズムの都合により，また②2 つのものを対照させる場合に，その位置が変化することがある。

①英語では，強弱のリズムを整えるために，第 1 強勢が連続することを避けようとする傾向がある。例えば，後ろの方に第 1 強勢のある形容詞(または形容詞的用法の名詞)がすぐ次の名詞を修飾するとき，その形容詞の第 1 強勢が前に移動して，第 2 強勢のあった位置に置かれることがある。これを「強勢移動(stress shift)」という。強勢移動が起きるかどうかは，人により，場合により異なる。

例：Japanese　普通は Jàpanése だが，例えば boy を限定的に修飾するときは通例 a Jápanèse bóy となる。分離複合語 (Jápanèse ápricot など)でも同様。

New York　単独では Nèw Yórk だが，「ニューヨーク市」のときは Néw Yòrk Cíty となる。

② happy or unhappy(幸福なのか不幸なのか)のように意味を対照させる場合は，ùnháppy を本来の強勢位置で発音すると意味の区別にとって重要な un- が際だたないので，第 1 強勢を un- に移動させて únhàppy とし，対照を明確にすることがある。これを「対照強勢(contrastive stress)」という。

7. その他　II を参照。

● Shakespeare 作品名の略表記 ●

Ado	*Much Ado about Nothing*	Mac	*Macbeth*
AWW	*All's Well that Ends Well*	MM	*Measure for Measure*
Ant	*Antony and Cleopatra*	MND	*A Midsummer Night's Dream*
AYL	*As You Like It*	MV	*The Merchant of Venice*
LC	*A Lover's Complaint*	Oth	*Othello, the Moore of Venice*
Cor	*Coriolanus*	Per	*Pericles, Prince of Tyre*
Cym	*Cymbeline*	PhT	*The Phoenix and the Turtle*
Err	*The Comedy of Errors*	PP	*The Passionate Pilgrim*
Ham	*Hamlet*	R2	*The Tragedy of King Richard II*
1H4	*The First Part of King Henry IV*	R3	*The Tragedy of King Richard III*
2H4	*The Second Part of King Henry IV*	Rom	*Romeo and Juliet*
H5	*The Life of King Henry V*	Shr	*The Taming of the Shrew*
1H6	*The First Part of King Henry VI*	Son	*Sonnets*
2H6	*The Second Part of King Henry VI*	TGV	*The Two Gentlemen of Verona*
3H6	*The Third Part of King Henry VI*	Tim	*Timon of Athens*
H8	*The Famous History of the Life of King Henry VIII*	Tit	*Titus Andronicus*
JC	*Julius Caesar*	Tmp	*The Tempest*
Jn	*The Life and Death of King John*	TN	*Twelfth Night*
LLL	*Love's Labours Lost*	Tro	*Troilus and Cressida*
Lr	*King Lear*	Ven	*Venus and Adonis*
Luc	*The Rape of Lucrece*	Wiv	*The Merry Wives of Windsor*
		WT	*The Winter's Tale*

● 英訳聖書書名の略表記 ●

Acts	*Acts of the Apostles*	1 Kgs.	*The First Book of the Kings*
Amos		2 Kgs.	*The Second Book of the Kings*
1 Chr.	*The First Book of the Chronicles*	Lam.	*Lamentations*
2 Chr.	*The Second Book of the Chronicles*	Lev.	*Leviticus*
Col.	*Epistle to the Colossians*	Luke	*Gospel according to St. Luke*
1 Cor.	*The First Epistle to the Corinthians*	Mal.	*Malachi*
2 Cor.	*The Second Epistle to the Corinthians*	Mark	*Gospel according to St. Mark*
Dan.	*Daniel*	Matt.	*Gospel according to St. Matthew*
Deut.	*Deuteronomy*	Mic.	*Micah*
Eccles.	*Ecclesiastes*	Nah.	*Nahum*
Eph.	*Epistle to the Ephesians*	Neh.	*Nehemiah*
Esther		Num.	*Numbers*
Exod.	*Exodus*	Obad.	*Obadiah*
Ezek.	*Ezekiel*	1 Pet.	*The First Epistle General of Peter*
Ezra		2 Pet.	*The Second Epistle General of Peter*
Gal.	*Epistle to the Galatians*	Phil.	*Epistle to the Philippians*
Gen.	*Genesis*	Philem.	*Epistle to Philemon*
Hab.	*Habakkuk*	Prov.	*Proverbs*
Hag.	*Haggai*	Ps.	*Psalms*
Heb.	*Epistle to the Hebrews*	Rev.	*Revelation*
Hos.	*Hosea*	Rom.	*Epistle to the Romans*
Isa.	*Isaiah*	Ruth	
Jas.	*Epistle to James*	1 Sam.	*The First Book of Samuel*
Jer.	*Jeremiah*	2 Sam.	*The Second Book of Samuel*
Job		S. of S.	*Song of Songs* [*Solomon*]
Joel		1 Thess.	*The First Epistle to the Thessalonians*
1 John	*The First Epistle General of John*	2 Thess.	*The Second Epistle to the Thessalonians*
2 John	*The Second Epistle of John*	1 Tim.	*The First Epistle to Timothy*
3 John	*The Third Epistle of John*	2 Tim.	*The Second Epistle to Timothy*
John	*Gospel according to St. John*	Tit.	*Epistle to Titus*
Jonah		Zech.	*Zechariah*
Josh.	*Joshua*	Zeph.	*Zephaniah*
Jude	*The General Epistle of Jude*		
Judg.	*Judges*		

●世界の国名英語略表記●

A	B	C	D	A	B	C	D
Afghanistan	AFG	af	93	Denmark	DEN	dk	45
Albania	ALB	al	355	Djibouti	DJI	dj	253
Algeria	ALG	dz	213	Dominica	DMA	dm	1
Andorra	AND	ad	376	Dominican Republic	DOM	do	1
Angola	ANG	ao	244	East Timor	なし	tp	670
Antigua and Barbuda	ANT	ag	1	Ecuador	ECU	ec	593
Argentina	ARG	ar	54	Egypt	EGY	eg	20
Armenia	ARM	am	374	El Salvador	ESA	sv	503
Australia	AUS	au	61	Equatorial Guinea	GEQ	gq	240
Austria	AUT	at	43	Eritrea	ERI	er	291
Azerbaidjan	AZE	az	994	Estonia	EST	ee	372
Bahamas	BAH	bs	1	Ethiopia	ETH	et	251
Bahrain	BRN	bh	973	Fiji	FIJ	fj	679
Bangladesh	BAN	bd	880	Finland	FIN	fi	358
Barbados	BAR	bb	1	France	FRA	fr	33
Belarus	BLR	by	375	Gabon	GAB	ga	241
Belgium	BEL	be	32	Gambia	GAM	gm	220
Belize	BIZ	bz	501	Georgia	GEO	ge	995
Benin	BEN	bj	229	Germany	GER	de	49
Bhutan	BHU	bt	975	Ghana	GHA	gh	233
Bolivia	BOL	bo	591	Greece	GRE	gr	30
Bosnia and Herzegovina	BIH	ba	387	Grenada	GRN	gd	1
Botswana	BOT	bw	267	Guatemala	GUA	gt	502
Brazil	BRA	br	55	Guinea	GUI	gn	224
Brunei	BRU	bn	673	Guinea-Bissau	GBS	gw	245
Bulgaria	BUL	bg	359	Guyana	GUY	gy	592
Burkina Faso	BUR	bf	226	Haiti	HAI	ht	509
Burundi	BDI	bi	257	Honduras	HON	hn	504
Cambodia	CAM	kh	855	Hungary	HUN	hu	36
Cameroon	CMR	cm	237	Iceland	ISL	is	354
Canada	CAN	ca	1	India	IND	in	91
Cape Verde	CPV	cv	238	Indonesia	INA	id	62
Central African Republic	CAF	cf	236	Iran	IRI	ir	98
Chad	CHA	td	235	Iraq	IRQ	iq	964
Chile	CHI	cl	56	Ireland	IRL	ie	353
China	CHN	cn	86	Israel	ISR	il	972
Colombia	COL	co	57	Italy	ITA	it	39
Comoros	COM	km	269	Jamaica	JAM	jm	1
Congo	CGO	cg	242	Japan	JPN	jp	81
Costa Rica	CRC	cr	506	Jordan	JOR	jo	962
Cote d'Ivoire	CIV	ci	225	Kazakhstan	KAZ	kz	7
Croatia	CRO	hr	385	Kenya	KEN	ke	254
Cuba	CUB	cu	53	Kiribati	なし	ki	686
Cyprus	CYP	cy	357	Korea	KOR	kr	82
Czech Republic	CZE	cz	420	Kuwait	KUW	kw	965
Democratic People's Republic of Korea	PRK	kp	850	Kyrgyz	KGZ	kg	996
				Laos	LAO	la	856
Democratic Republic of the Congo	なし	cd	243	Latvia	LAT	lv	371
				Lebanon	LIB	lb	961

A＝国名
B＝略号（国際オリンピック委員会による表記）
C＝URLドメイン名
D＝国際電話国番号

A	B	C	D	A	B	C	D
Lesotho	LES	ls	266	Saint Vincent and the Grenadines	VIN	vc	1
Liberia	LBR	lr	231	Samoa	SAM	ws	685
Libya	LBA	ly	218	San Marino	SMR	sm	378
Liechtenstein	LIE	li	423	Sao Tome and Principe	STP	st	239
Lithuania	LTU	lt	370	Saudi Arabia	KSA	sa	966
Luxembourg	LUX	lu	352	Senegal	SEN	sn	221
Macedonia	MKD	mk	389	Seychelles	SEY	sc	248
Madagascar	MAD	mg	261	Sierra Leone	SLE	sl	232
Malawi	MAW	mw	265	Singapore	SIN	sg	65
Malaysia	MAS	my	60	Slovakia	SVK	sk	421
Maldives	MDV	mv	960	Slovenia	SLO	si	386
Mali	MLI	ml	223	Solomon Islands	SOL	sb	677
Malta	MLT	mt	356	Somalia	SOM	so	252
Marshall Islands	なし	mh	692	South Africa	RSA	za	27
Mauritania	MTN	mr	222	Spain	ESP	es	34
Mauritius	MRI	mu	230	Sri Lanka	SRI	lk	94
Mexico	MEX	mx	52	Sudan	SUD	sd	249
Micronesia	FSM	fm	691	Suriname	SUR	sr	597
Moldova	MDA	md	373	Swaziland	SWZ	sz	268
Monaco	MON	mc	377	Sweden	SWE	se	46
Mongolia	MGL	mn	976	Switzerland	SUI	ch	41
Morocco	MAR	ma	212	Syria	SYR	sy	963
Mozambique	MOZ	mz	258	Tadzhikistan	TJK	tj	992
Myanmar	MYA	mm	95	Taiwan	TPE	tw	886
Namibia	NAM	na	264	Tanzania	TAN	tz	255
Nauru	NRU	nr	674	Thailand	THA	th	66
Nepal	NEP	np	977	Togo	TOG	tg	228
Netherlands	NED	nl	31	Tonga	TGA	to	676
New Zealand	NZL	nz	64	Trinidad and Tobago	TRI	tt	1
Nicaragua	NCA	ni	505	Tunisia	TUN	tn	216
Niger	NIG	ne	227	Turkey	TUR	tr	90
Nigeria	NGR	ng	234	Turkmenistan	TKM	tm	993
Norway	NOR	no	47	Tuvalu	なし	tv	688
Oman	OMA	om	968	Uganda	UGA	ug	256
Pakistan	PAK	pk	92	Ukraine	UKR	ua	380
Palau	PLW	pw	680	United Arab Emirates	UAE	ae	971
Panama	PAN	pa	507	United Kingdom	GBR	uk	44
Papua New Guinea	PNG	pg	675	United States	USA	us	1
Paraguay	PAR	py	595	Uruguay	URU	uy	598
Peru	PER	pe	51	Uzbekistan	UZB	uz	998
Philippines	PHI	ph	63	Vanuatu	VAN	vu	678
Poland	POL	pl	48	Vatican City	なし	va	39
Portugal	POR	pt	351	Venezuela	VEN	ve	58
Qatar	QAT	qa	974	Vietnam	VIE	vn	84
Romania	ROM	ro	40	Yemen	YEM	ye	967
Russia	RUS	ru	7	Yugoslavia	YUG	yu	381
Rwanda	RWA	rw	250	Zambia	ZAM	zm	260
Saint Christopher and Nevis	SKN	kn	1	Zimbabwe	ZIM	zw	263
Saint Lucia	LCA	lc	1				

広辞苑のデータについて

■ 編集方針

1. この辞典は、国語辞典であるとともに、学術専門語ならびに百科万般にわたる事項・用語を含む中辞典として編修したものである。ことばの定義を簡明に与えることを主眼としたが、語源・語誌の解説にも留意した。収載項目は約２３万である。
2. 国語項目は、現代語はもとより、古代・中世・近世にわたってわが国の古典にあらわれる古語を広く収集し、その重要なものを網羅した。漢語・外来語のほか、民俗語・方言・隠語・慣用句・俚諺の類についても、その採録に意を用いた。
3. わが国語のうち最も基礎的と思われる語約１千を選んで、その語義・用法などを特に詳述した。
4. 国語項目の解説に当っては、つとめて古典から文例を引用し、また、現代語の作例を多く掲げ、語の用法を実地に示した。また、仮名遣いや発音を定めるに当っては、古辞書・訓点本の類に照らして正確を期した。
5. 現代一般に用いられる、造語能力を有する漢字約３千２百を項目として掲げ、意味とそれぞれの熟語例を示した。
6. 語源・語誌は、編者の説を中心にして諸家の説をも参酌し、要約して注記した。必要に応じて、漢語にはその出典を、外国語の訳語にはその原語を掲示した。
7. 百科的事項の収載範囲は、哲学・宗教、歴史・地理、政治・法律・経済、教育、数学・自然科学・医学、産業・技術・交通、美術・芸能・体育・娯楽、語学・文学などの万般にわたり、地名・人名・書名・曲名・年号などの固有名詞にも及ぶ。わが国の人名は物故者に限った。
8. 系図・組織図・一覧表など約１００表を掲げ、解説文の理解を助けるよう配慮した。(取扱説明書に収録)

「広辞苑 第五版」（株式会社 岩波書店）より抜粋

■ 見出し語

●かな遣い

かな遣いは原則として「現代仮名遣い」（1986年7月 内閣告示）の方式に従いました。

1. 和語・漢語にはひらがなを、外来語にはカタカナを用いました。
   （入力時の表示は、すべてひらがなです。）
   （例）しゅく-じ 【祝辞】、 アラスカ 【Alaska】
2. 歴史的かな遣いが現代かな遣いと相違するものは、その相違する部分を表記形の後にカタカナで表示しました。相違しない部分は「‥」で略しました。（解説画面の場合）
   （例）でんどう【殿堂】の解説画面の場合

3. 外来語のカタカナ表記については『外来語の表記』（1991年6月 内閣告示）を参考にしました。中国・朝鮮の地名・人名は一般に漢字音によりましたが、現代地名・人名は、原語音のローマ字表記を解説の冒頭に記した場合があります。

※ 長音を表すには「ー」を用いました。

※ 外国の固有名詞、および、外国語の感じが多分に残っている語に限って「v」の音は「ヴ」のカタカナで表しました。

（例）ヴィーナス【Venus】

●見出し語の区切り

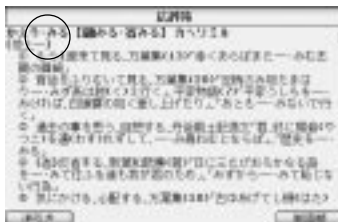
1. 語構成を示すため、語源上からこれを２つの基本部分に分け、「-」でつなぎました。語によっては、３つ以上に区分したものもあります。（解説画面の場合）
   （例）あがき【足掻き】の解説画面の場合

語源を確定しがたい場合、また、語形の変化によって区分しがたい場合は「-」を付しませんでした。

（例）やよい【弥生】、 やなぎ【柳】

2. 人名は姓氏と名との間で区切り、地名は「山」「川」「寺」などが付く場合、その直前で区切りましたが、その他の地名・作品名・年号などは原則として区切ってありません。

3. 活用する語は、原則としてその終止形を見出し語とし、語幹と語尾との間に「・」を付しました。その位置が語構成を示す「 - 」と合致する時は、「・」のみを付しました。

   （例）かえりみる【顧みる・省みる】の解説画面の場合

●表記形

【　　】の中に、見出し語のかなに相当する漢字または外国語の綴りを示しました。

（漢語・和語）

1. 相当する漢字がいくつかある場合は、現代標準的と思われるものをもって代表させました。この際、『同音の漢字による書きかえ』（1956年7月 国語審議会報告）などを参照しました。

※「弘報」（コウホウ）と「広報」（クヮウホウ）、「聚落」（シュウラク）と「集落」（シフラク）とのように、字音かな遣いが異なるものは、別項として扱いました。

2. 送りがなは、現代語は現代かな遣い、古語は歴史的かな遣いに従って施しました。『送り仮名の付け方』（1981年10月 内閣告示）に示された原則に準拠しつつ、旧来の慣行をも考慮して送りました。

   （例）あた・る【当たる】、 おもい - わた・る【思ひ渡る】

（外来語）

3. 外来語については、わが国に直接伝来したと考えられる原語を掲げ、その言語名・国籍を注記しました。ギリシア語・ペルシア語・ロシア語などは適宜ローマ字綴りに直しました。また、英語の場合は一般に国籍の注記を省略しました。漢字を当てる慣行の定着している語にはこれを並記しました。

   （例）ガス【gas　オランダ・イギリス・瓦斯】、 イクラ【ikra　ロシア】

   中国語および漢字訳のある梵語・朝鮮語などの場合は、【　　】内にその漢字を掲げ、適宜、原語音をローマ字で注記しました。

   （例）マージャン【麻雀】（中国語）

4. 外国語の固有名詞には原則として国籍を注記せず、解説の叙述で分るようにしました。人名の場合は姓だけでなく名をも示し、また、原語における冠詞の類は多く省略しました。

   （例）セーヌ【Seine】の解説画面の場合

5. 原語音からいちじるしく転訛した外来語、または外国語に擬してわが国で作られた語には、その欧語綴りを【　　】内に入れず、(　　)内に注記しました。

（例）「ハヤシライス」の解説画面の場合

6. カタカナで表記した外来語とひらがなで表記した和語・漢語との複合した語は、一般にそのカタカナに相当する部分を「ー」で示し、必要に応じてその複合語に相当する外国語の原語を注記しました。

（例）「エーゲかい」の解説画面の場合

●文語形と口語形

活用語は、口語形見出しの次に、文語の用法をも併せて解説しました。文語形のみあって、口語形が普通には行われない語については、その限りではありません。

1. 口語形項目には、解説の冒頭に、対応する文語形を 文 マークで示しました。ただし、文語・口語同形の場合は省きました。

（例）しいる【強いる】の解説画面の場合

2. 文語形・口語形の見出しが排列上相並ぶ場合は、文語形見出しを立てませんでした。また、口語形サ変動詞についても、その文語形見出しを省略しました。

●品詞の表示

品詞の別は、略語をもって〘　　〙内に示しました。(「略語表」参照)

1. 名詞および連語には、原則として品詞の表示を省略しました。

2. 動詞には自動詞・他動詞の別ならびに活用の種類を、形容詞には活用の種類を示しました。

※ 動詞の四段活用・五段活用については、文語としての用法しか認められない語に限って、四段活用としました。

●略語表

（品詞）		
名 ………… 名詞	形 ………… 形容詞	接続 ……… 接続詞
代 ………… 代名詞	連体 ……… 連体詞	接頭 ……… 接頭語
自 ………… 自動詞	副 ………… 副詞	接尾 ……… 接尾語
他 ………… 他動詞	助 ………… 助動詞	感 ………… 感動詞
	助詞 ……… 助詞	枕 ………… 枕詞
（活用の種類）	下一 ……… 下一段活用	ラ変 ……… ラ行変格活用
五 ………… 五段活用	下二 ……… 下二段活用	ク ………… ク活用
四 ………… 四段活用	カ変 ……… カ行変格活用	シク ……… シク活用
上一 ……… 上一段活用	サ変 ……… サ行変格活用	
上二 ……… 上二段活用	ナ変 ……… ナ行変格活用	

■ 見出し語の排列

●五十音順

現代かな遣いの五十音順により排列しました。

1. 濁音・半濁音は、清音の後に置きました。
2. 促音（そくおん）・拗音（ようおん）は、直音の前に置きました。
3. 長音符「ー」は、すぐ上のカタカナの母音（ア・イ・ウ・エ・オのいずれか）を繰り返すものと見なして、その位置に排列しました。

   (例)“ コーヒー ”は“ コオヒイ ”の位置にあります。 “ こおる ”は“ コール ”の前に位置しています。

●同音語の排列

見出し語のかな表記が全く同じである場合は、順次つぎの基準に従って排列しました。

1. 品詞の順

   名詞、代名詞、動詞、形容詞、連体詞、枕詞、副詞、助動詞、助詞、接続詞、接頭語、接尾語、感動詞の順に排列しました。
   連語は、体言相当のものは体言の、用言相当のものは用言の後に置きました。

2. 和語・漢語・外来語の順

   品詞を同じくする場合は、一般に和語を前に、字音語を後に置きました。
   外来語は、その原語の品詞にかかわりなく、名詞の末尾に排列しました。
   同音の語は、【　　】内の首字の字画数の順に並べました。

3. 普通名詞・固有名詞の順

   地名・人名・作品名・年号など固有の名称は、原則として同音同字の他の名詞と項目を併せず、別に見出しを立ててその次に並べました。これら二つの項目が排列順位の上で離れる場合には、普通名詞の項目の解説末尾に（地名別項）（書名別項）などと注記しました。

●複合語・慣用句

見出し語（親項目）から始まる複合語や慣用句は、その見出し語から引くことができます。
解説画面の後に ⇒ 記号をつけて複合語、慣用句の順に表示します。

（例）こうぼう【弘法】の場合

■ 解説

●本文の表記

1. 説明の本文は現代かな遣いに従って表記しました。動植物名・外来語、また、文法上の解説として発音や語形を示す場合は、適宜にカタカナを用いました。
2. 漢字の字体は、常用漢字ならびに人名用漢字はいわゆる新字体を、他は広く通用している字体を採用しました。

●語釈の区分

語義がいくつかに分かれる場合には、原則として語源に近いものから列記しました。
区分を明らかにするため、分類のしかたにより、以下の記号を用いました。

❶❷❸ … 大きく分類する
①②③ … 通常の分類（他から参照する場合は 1、2、3 … ）
㋐㋑㋒ … 細かな分類
㊀㊁㊂ … １つの項目を２つ以上の品詞あるいは活用の種類に分けて解説する場合

●術語の分類

専門学術用語には、その分野を明らかにするため、必要に応じて、解説の冒頭に〔　　〕でかこんでその語の分類略語を表示しました。

●略語表

〔哲〕哲学	〔経〕経済	〔理〕物理	〔医〕医学・薬学
〔論〕論理学	〔教〕教育	〔化〕化学	〔機〕機械工業
〔心〕心理学	〔社〕社会学	〔天〕天文	〔電〕電気工業
〔宗〕宗教	〔美〕美学・美術	〔気〕気象	〔農〕農林
〔仏〕仏教	〔言〕言語・音韻	〔地〕地学	〔建〕建築・土木
〔神〕神話	〔文〕文学	〔生〕生物	
〔史〕歴史	〔音〕音楽	〔植〕植物	
〔法〕法律	〔数〕数学	〔動〕動物	

●漢語の出典

漢語または諺（ことわざ）の類には、必要と認めた場合、漢籍の出典を［　　　］でかこんで解説の冒頭に掲げました。また原典名の下に篇・章名を付しました。（漢文の返点は、省略してあります。）

●字音の注記

見出し項目に掲げた一字の漢字について、その字音が一般に二種以上用いられているものには、（呉音）などと字音の種類を注記しました。漢音の場合は原則としてこれを省略しました。

●漢字の使い分け

【　　】内に二つ以上の漢字表記があって、語義によって使い方が異なる場合は、語義区分の直後に《　　》で囲んで、該当する漢字を掲げました。

●季語

基本的な季語約３千５百を選び、解説末尾に〈㊎春〉のように、新年・春・夏・秋・冬の季節を示しました。

●用例

語義の理解を助けるため、つとめて用例を掲げました。

1. 古典からの引用に当っては、原典のかなを漢字に、または漢字をかなに改め、漢文を読み下しにするなど、かならずしも原文のままではありません。
2. 用例中、語句の一部を省略した場合は、「…」で示しました。また、難解の語句には、（　　）でかこんで、現代かな遣いによる読みがなを割書し、または注釈を施しました。
3. 引用古典の書名は多く略称を用い、巻名・章段名などを付記しました。（「出典略称一覧」１９６～２００ページ参照）
4. 見出し語に相当する部分は「—」で略しました。活用語の場合は、語幹を「—」で表し、「・」をつけて活用語尾を送りました。ただし、語幹と語尾とを分けにくい場合は「—・」を用いませんでした。

●典拠

1. かな遣いや清濁その他の発音などに関して、古辞典・訓点本の類を典拠として掲げる場合は、原文のまま引用しました。「日葡辞書」「和英語林集成」（略称「ヘボン」）のローマ字書きはカタカナにうつしました。原文を引く必要のない時は〈　　〉にかこんで単に書名のみを示しました。
2. 類書その他に説くところに依拠して解説を施した場合には、解説末尾に、（　　）でかこんでその書名を注記しました。

●その他

1. （　　）内に示した西暦紀年は、人名の場合は生没年、年号の場合はその行われた期間、その他、在位、在職期間などを表す。原則として、１８７２年（明治５）以前の西暦と和暦（旧暦）との月・日のずれは無視しました。

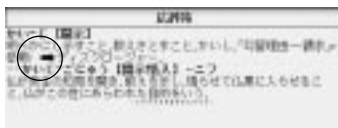
2. 国・都道府県・都市の人口は、必要と思われるものにのみ記しました。わが国に関するものは、自治省行政局編『平成九年住民基本台帳人口要覧』による数字です。外国に関するものは国際連合編『世界人口年鑑』1995年版により、調査年次を（　　）内に注記しました。中国の場合など、これ以外の資料を参照したものも若干あります。
3. 外国の作品名や学術語の邦語訳には、その原語を（　　）でかこんで解説の冒頭に掲げました。
4. ノーベル賞受賞者、文化勲章受章者については、解説末尾に「ノーベル賞」「文化勲章」と記しました。

●参照記号

「⇨」は「相手方を見よ」の意味で、解説が相手方にあります。

（例）かい【槐】の解説画面の場合

「→」は「その項目を参照せよ」の意味です。

（例）かいじ【開示】の解説画面の場合

「（→）」は「その項目と同じ」の意味です。

（例）たてまつ【立松】の解説画面の場合

「　　」は「対語・反義語」の意味です。

（例）げんたい【減退】の解説画面の場合

●画面表示上の注意

1. 年代・長さ・大きさ・面積・重さ・人口などを表す数字は、漢数字を使用しています。
2. 人名の生没年、年号の期間、在位期間などの西暦年は、アラビア数字で表示されます。
3. ルビとして表示されるひらがなは、小字（拗音・促音）の区別をしないで表示されます。
4. 本来縦書き用の繰り返しの記号は画面では、〳〵 または 〴〵 と表示されます。

付表・出典略称一覧（広辞苑）

1. 付表

本機に収録していない広辞苑の付表等をまとめて収録しました。

2. 出典略称一覧

引用古典の書名の多くはその略称が表示されます。詳しく書名を知りたい場合は、238ページ以降をご覧ください。（縦書きのため、242ページから逆に参照してください。）

3. 索引

付表

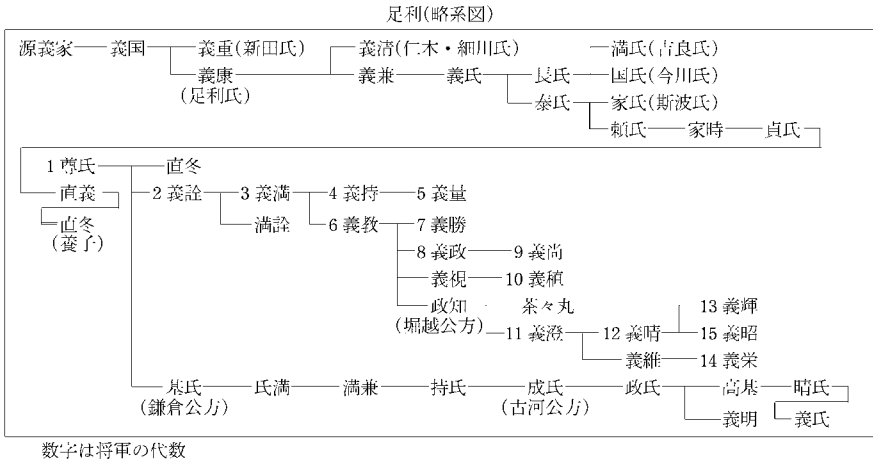
【アイビーリーグ】

アイビー-リーグ

大学名	所在地	創立年
ハーヴァード	マサチューセッツ州ケンブリッジ	1636
イェール	コネチカット州ニュー-ヘブン	1701
ペンシルヴァニア	ペンシルヴァニア州フィラデルフィア	1740
プリンストン	ニュー-ジャージー州プリンストン	1746
コロンビア	ニュー-ヨーク州ニュー-ヨーク	1754
ブラウン	ロード-アイランド州プロヴィデンス	1764
ダートマス	ニュー-ハンプシャー州ハノーヴァー	1769
コーネル	ニュー-ヨーク州イサカ	1865

【足利】

98

数字は将軍の代数

【位階】

位階(大宝令・養老令)

親王	諸王・諸臣	勲位	親王	諸　臣	勲位
一品	正一位			正六位上	
	従一位			正六位下	勲七等
二品	正二位			従六位上	
	従二位			従六位下	勲八等
三品	正三位	勲一等		正七位上	
	従三位	勲二等		正七位下	勲九等
四品	正四位上			従七位上	
	正四位下	勲三等		従七位下	勲十等
	従四位上			正八位上	
	従四位下	勲四等		正八位下	勲十一等
	正五位上			従八位上	
	正五位下	勲五等		従八位下	勲十二等
	従五位上			大初位上	
	従五位下	勲六等		大初位下	
				少初位上	
				少初位下	

ほかに正五位上〜少初位下の各階に外位がある.
例, 外正五位上

【遺伝暗号】

遺 伝 暗 号

塩基の第一文字	U（塩基の第二文字）コドン	アミノ酸	C コドン	アミノ酸	A コドン	アミノ酸	G コドン	アミノ酸	塩基の第三文字
U	UUU	フェニルアラニン	UCU	セリン	UAU	チロシン	UGU	システイン	U
	UUC		UCC		UAC		UGC		C
	UUA	ロイシン	UCA		UAA	†	UGA	†	A
	UUG		UCG		UAG		UGG	トリプトファン	G
C	CUU	ロイシン	CCU	プロリン	CAU	ヒスチジン	CGU	アルギニン	U
	CUC		CCC		CAC		CGC		C
	CUA		CCA		CAA	グルタミン	CGA		A
	CUG		CCG		CAG		CGG		G
A	AUU	イソロイシン	ACU	トレオニン	AAU	アスパラギン	AGU	セリン	U
	AUC		ACC		AAC		AGC		C
	AUA		ACA		AAA	リジン	AGA	アルギニン	A
	AUG	メチオニン, *	ACG		AAG		AGG		G
G	GUU	バリン	GCU	アラニン	GAU	アスパラギン酸	GGU	グリシン	U
	GUC		GCC		GAC		GGC		C
	GUA		GCA		GAA	グルタミン酸	GGA		A
	GUG		GCG		GAG		GGG		G

U：ウラシル，C：シトシン，A：アデニン，G：グアニン，
*：読取り始め（開始コドン），†：読取り終り（終止コドン）

【インド】

インドの主な王朝

北西部・北部		中央部		南部	
（マガダ国）	紀元前6世紀〜	（カリンガ国）	？〜前3世紀		
マウリヤ朝	前324頃〜前187頃				
シュンガ朝	前184頃〜前72頃	サータヴァーハナ朝	前1世紀？〜後3世紀	チョーラ朝(1)	前3世紀〜後3世紀
クシャーナ朝	後1世紀〜3世紀				
グプタ朝	320頃〜550頃			パッラヴァ朝	4〜9世紀
ヴァルダナ朝	606頃〜647頃				
ラージプート系				チョーラ朝(2)	9〜13世紀
諸王朝	8世紀〜13世紀				
ゴール朝	12世紀頃〜1206				
デリー王朝					
1 奴隷王朝	1206〜1290				
2 ハルジー朝	1290〜1320				
3 トゥグルク朝	1320〜1413			ヴィジャヤナガル朝	1336〜1649
4 サイイド朝	1414〜1451				
5 ロディー朝	1451〜1526				
ムガル帝国	1526〜1858	マラーター王国(同盟)	1674〜1819		

【雲級】

雲　級

類	略号	雲のよくあらわれる高さ	
巻　雲 巻積雲 巻層雲	Ci Cc Cs	上層	極地方 3～8 km 温帯地方 5～13 km 熱帯地方 6～18 km
高積雲	Ac	中層	極地方 2～4 km 温帯地方 2～7 km 熱帯地方 2～8 km
高層雲	As	普通中層に見られるが，上層までひろがっていることが多い．	
乱層雲	Ns	普通中層に見られるが，上層および下層にもひろがっていることが多い．	
層積雲 層　雲	Sc St	下層	極地方 地面付近～2 km 温帯地方 地面付近～2 km 熱帯地方 地面付近～2 km
積　雲 積乱雲	Cu Cb	雲底は普通下層にあるが，雲頂は中・上層まで達していることが多い．	

【干支】

干　支 1

1	甲子	かっし・こうし	きのえね	31	甲午	こうご	きのえうま
2	乙丑	いっちゅう・おっちゅう	きのとうし	32	乙未	いつび・おつび	きのとひつじ
3	丙寅	へいいん	ひのえとら	33	丙申	へいしん	ひのえさる
4	丁卯	ていぼう	ひのとう	34	丁酉	ていゆう	ひのととり
5	戊辰	ぼしん	つちのえたつ	35	戊戌	ぼじゅつ	つちのえいぬ
6	己巳	きし	つちのとみ	36	己亥	きがい	つちのとい
7	庚午	こうご	かのえうま	37	庚子	こうし	かのえね
8	辛未	しんび	かのとひつじ	38	辛丑	しんちゅう	かのとうし
9	壬申	じんしん	みずのえさる	39	壬寅	じんいん	みずのえとら
10	癸酉	きゆう	みずのととり	40	癸卯	きぼう	みずのとう
11	甲戌	こうじゅつ	きのえいぬ	41	甲辰	こうしん	きのえたつ
12	乙亥	いつがい・おつがい	きのとい	42	乙巳	いっし・おっし	きのとみ
13	丙子	へいし	ひのえね	43	丙午	へいご	ひのえうま
14	丁丑	ていちゅう	ひのとうし	44	丁未	ていび	ひのとひつじ
15	戊寅	ぼいん	つちのえとら	45	戊申	ぼしん	つちのえさる
16	己卯	きぼう	つちのとう	46	己酉	きゆう	つちのととり
17	庚辰	こうしん	かのえたつ	47	庚戌	こうじゅつ	かのえいぬ
18	辛巳	しんし	かのとみ	48	辛亥	しんがい	かのとい
19	壬午	じんご	みずのえうま	49	壬子	じんし	みずのえね
20	癸未	きび	みずのとひつじ	50	癸丑	きちゅう	みずのとうし
21	甲申	こうしん	きのえさる	51	甲寅	こういん	きのえとら
22	乙酉	いつゆう・おつゆう	きのととり	52	乙卯	いつぼう・おつぼう	きのとう
23	丙戌	へいじゅつ	ひのえいぬ	53	丙辰	へいしん	ひのえたつ
24	丁亥	ていがい	ひのとい	54	丁巳	ていし	ひのとみ
25	戊子	ぼし	つちのえね	55	戊午	ぼご	つちのえうま
26	己丑	きちゅう	つちのとうし	56	己未	きび	つちのとひつじ
27	庚寅	こういん	かのえとら	57	庚申	こうしん	かのえさる
28	辛卯	しんぼう	かのとう	58	辛酉	しんゆう	かのととり
29	壬辰	じんしん	みずのえたつ	59	壬戌	じんじゅつ	みずのえいぬ
30	癸巳	きし	みずのとみ	60	癸亥	きがい	みずのとい

【江戸幕府】

江戸幕府(将軍一覧)

代数	氏名	父	母	在職期間	没年
1	徳川家康	松平広忠	水野氏お大	1603～1605	1616
2	徳川秀忠	徳川家康	西郷氏お愛	1605～1623	1632
3	徳川家光	徳川秀忠	浅井氏お江	1623～1651	1651
4	徳川家綱	徳川家光	増山氏お楽	1651～1680	1680
5	徳川綱吉	徳川家光	本庄氏お玉	1680～1709	1709
6	徳川家宣	(甲府)徳川綱重	田中氏おほら	1709～1712	1712
7	徳川家継	徳川家宣	勝田氏おきよ	1713～1716	1716
8	徳川吉宗	(紀伊)徳川光貞	巨勢氏おゆり	1716～1745	1751
9	徳川家重	徳川吉宗	大久保氏おすま	1745～1760	1761
10	徳川家治	徳川家重	梅渓氏お幸	1760～1786	1786
11	徳川家斉	一橋治済	岩本氏おとみ	1787～1837	1841
12	徳川家慶	徳川家斉	押田氏お楽	1837～1853	1853
13	徳川家定	徳川家慶	跡部氏おみつ	1853～1858	1858
14	徳川家茂	(紀伊)徳川斉順	松平氏みさ	1858～1866	1866
15	徳川慶喜	(水戸)徳川斉昭	有栖川宮吉子	1866～1867	1913

【オリンポス】

オリンポスの十二神

神名	ローマ名
ゼウス	ジュピター
ヘラ	ジュノー
ポセイドン	ネプチューン
アポロン	アポロ
アルテミス	ダイアナ
ヘファイストス	ウルカヌス
アフロディテ	ヴィーナス
アレス	マース
アテナ	ミネルヴァ
ヘルメス	マーキュリー
デメテル	ケレス
ヘスティアまたはディオニュソス	バッカス

【オリンピック競技】

オリンピック夏季大会

回	開催年	開催地	回	開催年	開催地
1	1896	アテネ	18	1964	東京
2	1900	パリ	19	1968	メキシコ・シティー
3	1904	セント・ルイス	20	1972	ミュンヘン
4	1908	ロンドン	21	1976	モントリオール
5	1912	ストックホルム	22	1980	モスクワ
6	1916	ベルリン（中止）	23	1984	ロサンゼルス
7	1920	アントワープ	24	1988	ソウル
8	1924	パリ	25	1992	バルセロナ
9	1928	アムステルダム	26	1996	アトランタ
10	1932	ロサンゼルス			
11	1936	ベルリン			
12	1940	東京（中止）			
13	1944	ロンドン（中止）			
14	1948	ロンドン			
15	1952	ヘルシンキ			
16	1956	メルボルン ストックホルム			
17	1960	ローマ			

オリンピック冬季大会

回	開催年	開催地
1	1924	シャモニー・モンブラン
2	1928	サン・モリッツ
3	1932	レーク・プラシッド
4	1936	ガルミッシュ・パルテンキルヘン
5	1948	サン・モリッツ
6	1952	オスロ
7	1956	コルチナ・ダンペッツォ
8	1960	スコー・ヴァレー
9	1964	インスブルック
10	1968	グルノーブル
11	1972	札幌
12	1976	インスブルック
13	1980	レーク・プラシッド
14	1984	サラエヴォ
15	1988	カルガリー
16	1992	アルベールヴィル
17	1994	リレハンメル
18	1998	長野

【音名】

音名

国名	本位音							変位音(ハの場合)	
日本	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ	嬰ハ	変ハ
英米	C	D	E	F	G	A	B	C–sharp	C–flat
ドイツ	C	D	E	F	G	A	H	Cis	Ces
イタリア	do	re	mi	fa	sol	la	si	do diesis	do bemolle
フランス	ut	ré	mi	fa	sol	la	si	ut dièse	ut bémol

【楽器】

楽器の種類

打楽器	金属製	シンバル・トライアングル・ボナン・銅鑼(どら)・鐘・鉄琴・鈴・びやぼん
	木・竹製	カスタネット・拍子木・木琴(シロホン)・マリンバ・木魚・びんざさら・ムックリ・マラカス
	膜打楽器	太鼓・ドラム・タンバリン・ティンパニ・コンガ・ボンゴ・タブラ・ムリダンガム・大鼓・小鼓
弦楽器	擦弦楽器	バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバス・ラバーブ・胡弓・二胡・馬頭琴・サーランギ
	撥弦楽器	三味線・月琴・バラライカ・琵琶・リュート・ウード・シタール・ギター・マンドリン・ウクレレ・ハープ・箜篌(くご)・サウン・リラ・キタラ・チター・瑟(しつ)・箏・カーヌーン
	打弦楽器	ツィンバロム・洋琴(ヤンチン)
管楽器	横　笛	フルート・ピッコロ・竜笛(りゅうてき)・高麗笛(こまぶえ)・神楽笛・能管・篠笛(しのぶえ)
	縦　笛	オーボエ・クラリネット・サキソフォン・リコーダー・ケーナ・スールナイ・チャルメラ・尺八・簫(しょう)・篳篥(ひちりき)
	らっぱ	トランペット・コルネット・ホルン・トロンボーン・チューバ
	その他	オカリナ・埙(けん)
鍵盤楽器	アコースティック(音響的)	オルガン・ハープシコード・ピアノ・アコーディオン・チェレスタ
	エレクトロニック(電子的)	電子オルガン・シンセサイザー・オンドマルトノ
その他		ハーモニカ・オルゴール・大正琴・ハーディ-ガーディ

【階級】

生物の分類階級

階級	英語**	階級	英語**
界	kingdom	上科	
亜界		科	family
門	phylum(動),	亜科	
	division(植)	連(族)	tribe
亜門		亜連(族)	
上綱		属	genus
綱	class	亜属	
亜綱		節	section
下綱		系	series
コホート	cohort	種	species
上目*		亜種	
目	order	変種	variety
群*	group	品種(型)	form
亜目			

* 動物のみ.　** 亜は sub, 上は super, 下は infra をそれぞれの語頭に付す.

【カンバス】

カンバス1の号数基準(単位:cm)

号	F	P	M
0	17.9×13.9 (18×14)	17.9×11.7 (18×12)	17.9×10.0
1	22.1×16.6 (22×16)	22.1×13.9 (22×14)	22.1×11.7 (22×12)
2	24.0×19.0 (24×19)	24.0×16.1 (24×16)	24.0×13.9 (24×14)
5	35.0×27.0 (35×27)	35.0×24.3 (35×24)	35.0×22.7 (35×22)
10	53.0×45.5 (55×46)	53.0×40.9 (55×38)	53.0×33.3 (55×33)
50	116.7×90.9 (116×89)	116.7×80.3 (116×81)	116.7×72.7 (116×73)
100	162.1×130.3 (162×130)	162.1×112.1 (162×114)	162.1×97.0 (162×97)

F＝Figure(人物型), P＝Paysage(風景型), M＝Marine(海景型)
上段＝日本, 下段＝欧米

【鎌倉幕府】

鎌倉幕府(将軍一覧)

代数	氏名	父	母	在職期間	没年
1	源　頼朝	源　義朝	熱田大宮司季範娘	1192～1199	1199
2	源　頼家	源　頼朝	北条政子	1202～1203	1204
3	源　実朝	源　頼朝	北条政子	1203～1219	1219
4	藤原頼経	九条道家	西園寺公経娘綸子	1226～1244	1256
5	藤原頼嗣	藤原頼経	藤原親能娘近子	1244～1252	1256
6	宗尊親王	後嵯峨天皇	平　棟基娘棟子	1252～1266	1274
7	惟康親王	宗尊親王	近衛兼経娘宰子	1266～1289	1326
8	久明親王	後深草天皇	三条公親娘房子	1289～1308	1328
9	守邦親王	久明親王	惟康親王娘	1308～1333	1333

【紙】

紙(JIS 仕上げ寸法)

番号	A列(mm)	B列(mm)
0	841×1189	1030×1456
1	594× 841	728×1030
2	420× 594	515× 728
3	297× 420	364× 515
4	210× 297	257× 364
5	148× 210	182× 257
6	105× 148	128× 182
7	74× 105	91× 128
8	52× 74	64× 91
9	37× 52	45× 64
10	26× 37	32× 45

【九星】

九　星

名　称	五行	方位	八卦
一白(いっぱく)	水星	北	坎(かん)
二黒(じこく)	土星	西南	坤(こん)
三碧(さんぺき)	木星	東	震(しん)
四緑(しろく)	木星	東南	巽(そん)
五黄(ごおう)	土星	中央	
六白(ろっぱく)	金星	西北	乾(けん)
七赤(しちせき)	金星	西	兌(だ)
八白(はっぱく)	土星	東北	艮(ごん)
九紫(きゅうし)	火星	南	離(り)

【九卿】

九　卿 1

周　代	職　務	六官
少師(しょうし)	太師の副	
少傅(しょうふ)	太傅の副	
少保(しょうほ)	太保の副	
冢宰(ちょうさい)	宰相	天官
司徒(しと)	戸口・財政・教育	地官
宗伯(そうはく)	礼楽・祭祀	春官
司馬(しば)	軍政	夏官
司寇(しこう)	刑罰・警察	秋官
司空(しくう)	土地・民事	冬官

九　卿 2

漢　代	別　称	唐代	職　務
太常(たいじょう)	奉常	太常	宗廟の祭祀・礼楽
光禄勲(こうろくくん)	郎中令	光禄	宮中の警護
衛尉(えいい)		衛尉	宮門の警護
太僕(たいぼく)		太僕	車馬・牧畜
廷尉(ていい)	大理	大理	訴訟・刑罰
大鴻臚(だいこうろ)	典客	鴻臚	外客の応接
宗正(そうせい)		宗正	皇族の管理
少府(しょうふ)		太府	帝室の財政
大司農(だいしのう)	治粟内史	司農	国家の財政

【強弱記号】

強弱記号の例

記号	標語		意味
ppp	ピアニッシッシモ	pianississimo	*pp*より弱く
pp	ピアニッシモ	pianissimo	*p*より弱く
p	ピアノ	piano	弱く
mp	メゾ・ピアノ	mezzo piano	やや弱く
mf	メゾ・フォルテ	mezzo forte	やや強く
f	フォルテ	forte	強く
ff	フォルティッシモ	fortissimo	*f*より強く
fff	フォルティッシッシモ	fortississimo	*ff*より強く
fp	フォルテピアノ	fortepiano	強く，ただちに弱く
sf, *sfz*	スフォルツァンド	sforzando	その音を特に強く
>, ∧	アクセント	accent	その音を強く
< cresc.	クレッシェンド	crescendo	次第に強く
> dim.	ディミヌエンド	diminuendo	次第に弱く
decresc.	デクレッシェンド	decrescendo	次第に弱く

【行政】

【ギリシア文字】

ギリシア文字

大文字	小文字	名称	大文字	小文字	名称
A	α	アルファ	N	ν	ニュー
B	β	ベータ	Ξ	ξ	クシー(グザイ)
Γ	γ	ガンマ	O	o	オミクロン
Δ	δ	デルタ	Π	π	ピー(パイ)
E	ε	エプシロン(イプシロン)	P	ρ	ロー
Z	ζ	ゼータ	Σ	σ, ς	シグマ
H	η	エータ(イータ)	T	τ	タウ
Θ	θ	テータ(シータ)	Υ	υ	ユプシロン
I	ι	イオータ(イオタ)	Φ	ϕ	フィー(ファイ)
K	κ	カッパ	X	χ	キー(カイ)
Λ	λ	ラムダ	Ψ	ψ	プシー(プサイ)
M	μ	ミュー	Ω	ω	オメガ

括弧内は自然科学での慣用読み

【結婚記念日】

結婚記念日(記念式)

1年目　紙婚式	15年目　水晶婚式
2年目　綿婚式	20年目　磁器婚式
3年目　革婚式	25年目　銀婚式
4年目　花婚式	30年目　真珠婚式
5年目　木婚式	35年目　珊瑚婚式
6年目　鉄婚式	40年目　ルビー婚式
7年目　銅婚式	45年目　サファイア婚式
8年目　青銅婚式	50年目　金婚式
9年目　陶器婚式	55年目　エメラルド婚式
10年目　錫婚式	75年(または60年)目 ダイヤモンド婚式

【甲州街道】

甲州街道(宿駅一覧)

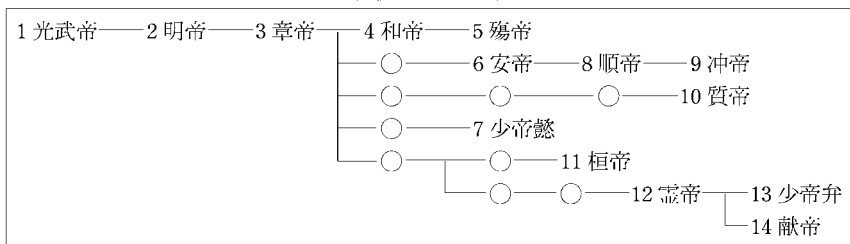
(江戸日本橋)―内藤新宿―〔下高井戸―上高井戸〕―〔国領―下布田―上布田―下石原―上石原〕―府中―日野―横山(八王子)―〔駒木野―小仏〕―〔小原―与瀬〕―吉野―関野―上野原―鶴川―野田尻―犬目―〔下鳥沢―上鳥沢〕―猿橋―駒橋―大月―〔下花咲―上花咲〕―〔下初狩―中初狩〕―〔白野―阿弥陀街道―黒野田〕―〔駒飼―鶴瀬〕―勝沼―栗原―石和―(甲府柳町)―韮崎―台ヶ原―教来石―蔦木―金沢―上諏訪―(下諏訪)

〔 〕内は交代または片道継立ての宿

【酵素】

酵素の分類

大分類・作用	主な酵素	大分類・作用	主な酵素
1 酸化還元酵素(オキシドレダクターゼ) 酸化,還元	脱水素酵素(デヒドロゲナーゼ),酸化酵素(オキシダーゼ),酸素添加酵素(オキシゲナーゼ)	4 脱離酵素(リアーゼ) 基質から特定の官能基を取除く	脱カルボキシル酵素(デカルボキシラーゼ),カルボキシル化酵素(カルボキシラーゼ),アルドラーゼ
2 転移酵素(トランスフェラーゼ) 基質の特定の官能基を他の基質に移す	アミノ基転移酵素(トランスアミナーゼ),アセチル基転移酵素(トランスアセチラーゼ),キナーゼ	5 異性化酵素(イソメラーゼ) 特定の分子を異性体に変換する	ラセミ化酵素(ラセマーゼ),エピ化酵素(エピメラーゼ),ムターゼ
3 加水分解酵素(ヒドロラーゼ) 加水分解	蛋白質分解酵素(プロテアーゼ),リパーゼ,ホスファターゼ,アミダーゼ	6 合成酵素(リガーゼ・シンテターゼ) 二つの基質を結合させる	アセチルCoA合成酵素,ピルビン酸カルボキシル化酵素,アミノアシルtRNA合成酵素

【後漢】

【皇朝十二銭】

皇朝十二銭

名　称	発行年
1 和同開珎(わどうかいちん)	708
2 万年通宝(まんねんつうほう)	760
3 神功開宝(じんこうかいほう)	765
4 隆平永宝(りゅうへいえいほう)	796
5 富寿神宝(ふうじゅしんぽう)	818
6 承和昌宝(じょうわしょうほう)	835
7 長年大宝(ちょうねんたいほう)	848
8 饒益神宝(じょうえきしんぽう)	859
9 貞観永宝(じょうがんえいほう)	870
10 寛平大宝(かんぴょうたいほう)	890
11 延喜通宝(えんぎつうほう)	907
12 乾元大宝(けんげんたいほう)	958
開基勝宝(かいきしょうほう)	760(金銭)
大平元宝(たいへいげんぽう)	760(銀銭)

【五行】

五行配当

五行	時季	方位	色	十干	十二支	星
木	春	東	青	甲•乙	寅•卯	歳星(木星)
火	夏	南	赤(朱)	丙•丁	巳•午	熒惑(火星)
土	土用	中央	黄	戊•己	辰•未•戌•丑	鎮星(土星)
金	秋	西	白(素)	庚•辛	申•酉	太白(金星)
水	冬	北	黒(玄)	壬•癸	亥•子	辰星(水星)

【国際収支】

国際収支

経常収支	貿易•サービス収支
	所得収支
	経常移転収支
資本収支	投資収支
	その他資本収支
外貨準備高増減	
誤差脱漏	

【国際単位系】

SI 基本単位

量	名　称	記号
長さ	メートル	m
質量	キログラム	kg
時間	秒	s
電流	アンペア	A
熱力学温度	ケルビン	K
光度	カンデラ	cd
物質量	モル	mol
平面角	ラジアン	rad
立体角	ステラジアン	sr

SI 接頭語

名　称	記号	倍数
ヨタ (yotta-)	Y	10^{24}
ゼタ (zetta-)	Z	10^{21}
エクサ (exa-)	E	10^{18}
ペタ (peta-)	P	10^{15}
テラ (tera-)	T	10^{12}
ギガ (giga-)	G	10^{9}
メガ (mega-)	M	10^{6}
キロ (kilo-)	k	10^{3}
ヘクト (hecto-)	h	10^{2}
デカ (deca-)	da	10^{1}
デシ (deci-)	d	10^{-1}
センチ (centi-)	c	10^{-2}
ミリ (milli-)	m	10^{-3}
マイクロ (micro-)	μ	10^{-6}
ナノ (nano-)	n	10^{-9}
ピコ (pico-)	p	10^{-12}
フェムト (femto-)	f	10^{-15}
アト (atto-)	a	10^{-18}
ゼプト (zepto-)	z	10^{-21}
ヨクト (yocto-)	y	10^{-24}

【国民の祝日】

国民の祝日

名　称	月　日	備　考
元日	1月　1日	
成人の日	1月第2月曜日	
建国記念の日	2月11日	1966年制定
春分の日	3月21日頃	
みどりの日	4月29日	1989年制定
憲法記念日	5月　3日	
こどもの日	5月　5日	
海の日	7月20日	1995年制定
敬老の日	9月15日	1966年制定
秋分の日	9月23日頃	
体育の日	10月第2月曜日	1966年制定
文化の日	11月　3日	
勤労感謝の日	11月23日	
天皇誕生日	12月23日	1989年制定

【五胡十六国】

五胡十六国

五　胡	十六国	年代
匈奴(きょうど)	前趙(漢)	304〜329
	北涼	397〜439
	夏(大夏)	407〜431
羯(けつ)	後趙	319〜351
鮮卑(せんぴ)	前燕	337〜370
	後燕	384〜409
	西秦	385〜431
	南涼	397〜414
	南燕	398〜410
氐(てい)	成(大成・漢)	304〜347
	前秦	351〜394
	後涼	386〜403
羌(きょう)	後秦	384〜417
(漢族)	前涼	301〜376
	西涼	400〜421
	北燕	409〜436

【五摂家】

五　摂　家

【五代】

五　代

王朝名	年代
後梁	907〜923
後唐	923〜936
後晋	936〜946
後漢	947〜950
後周	951〜960

【五代十国】

十国

国名	年代
呉	902〜937
南唐	937〜975
前蜀	907〜925
後蜀	934〜965
荊南	907〜963
楚	907〜951
呉越	907〜978
閩(びん)	909〜945
南漢	917〜971
北漢	951〜979

【西国三十三所】

西国三十三所

府県名	寺　　名	府県名	寺　　名
和歌山県	1 青岸渡寺	京都府	18 頂法寺(六角堂)
	2 紀三井寺(金剛宝寺)		19 行願寺(革堂)
	3 粉河(こかわ)寺		20 善峰(よしみね)寺
大阪府	4 施福寺(槙尾寺)		21 穴太(あなお)寺
	5 葛(藤)井寺(剛琳寺)	大阪府	22 総持寺
奈良県	6 壺坂寺(南法華寺)		23 勝尾(かつお)寺
	7 岡寺(竜蓋寺)	兵庫県	24 中山寺
	8 長谷寺(初瀬寺)		25 清水寺
	9 興福寺南円堂		26 一乗寺
京都府	10 三室戸寺		27 円教寺
	11 上醍醐寺	京都府	28 成相(なりあい)寺
滋賀県	12 正法(しょうぼう)寺(岩間寺)		29 松尾(まつのお)寺
	13 石山寺	滋賀県	30 宝厳(ほうごん)寺
	14 三井寺(園城寺)		31 長命寺
京都府	15 観音寺(今熊野)		32 観音正寺
	16 清水(きよみず)寺	岐阜県	33 華厳寺
	17 六波羅蜜寺		

【執権】

執　　権3

代数	氏　　名	在職期間	没年
1	北条時政	1203〜1205	1215
2	北条義時	1205〜1224	1224
3	北条泰時	1224〜1242	1242
4	北条経時	1242〜1246	1246
5	北条時頼	1246〜1256	1263
6	北条長時	1256〜1264	1264
7	北条政村	1264〜1268	1273
8	北条時宗	1268〜1284	1284
9	北条貞時	1284〜1301	1311
10	北条師時	1301〜1311	1311
11	北条(大仏)宗宣	1311〜1312	1312
12	北条煕時	1312〜1315	1315
13	北条基時	1315	1333
14	北条高時	1316〜1326	1333
15	北条(金沢)貞顕	1326	1333
16	北条(赤橋)守時	1326〜1333	1333

【四等官】

四　等　官

	長官 (かみ)	次官 (すけ)	判官 (じょう)	主典 (さかん)
神祇官	伯	副	祐	史
太政官	(太政大臣), 左大臣,右大臣	大納言,中納言	少納言,弁	外記,史
省	卿	輔	丞	録
坊・職	大夫	亮	進	属
寮	頭	助	允	属
台	尹	弼	忠	疏
五衛府	督	佐	尉	志
大宰府	帥	弐	監	典
国	守	介	掾	目
郡	大領	少領	主政	主帳
司	正	(佑)	佑	令史
内侍司	尚侍	典侍	掌侍	
監	正		佑	令史
署	首		佑	令史
家令	令	扶	従	書吏

【四国八十八箇所】

四国八十八箇所

県名	寺院名	県名	寺院名
徳島県	1 霊山寺	愛媛県	45 岩屋寺
	2 極楽寺		46 浄瑠璃寺
	3 金泉寺		47 八坂寺
板野	4 大日寺		48 西林寺
	5 地蔵寺		49 浄土寺
	6 安楽寺		50 繁多寺
	7 十楽寺		51 石手寺
	8 熊谷寺		52 太山寺
	9 法輪寺		53 円明寺
	10 切幡寺		54 延命寺
	11 藤井寺		55 南光坊
	12 焼山寺		56 泰山寺
徳島市	13 大日寺		57 栄福寺
	14 常楽寺		58 仙遊寺
	15 国分寺		59 国分寺
	16 観音寺		60 横峰寺
	17 井戸寺		61 香園寺
	18 恩山寺		62 宝寿寺
	19 立江寺		63 吉祥寺
	20 鶴林寺		64 前神寺
	21 太竜寺		65 三角寺
	22 平等寺	徳島県	66 雲辺寺
	23 薬王寺	香川県	67 大興寺
高知県	24 最御崎寺		68 神恵院
	25 津照寺		69 観音寺
	26 金剛頂寺		70 本山寺
	27 神峰寺		71 弥谷寺
	28 大日寺		72 曼荼羅寺
	29 国分寺		73 出釈迦寺
	30 善楽寺		74 甲山寺
	安楽寺		75 善通寺
	31 竹林寺		76 金蔵(倉)寺
	32 禅師峰寺		77 道隆寺
	33 雪蹊寺		78 郷照寺
	34 種間寺		79 高照院
	35 清滝寺		80 国分寺
	36 青竜寺		81 白峰寺
	37 岩本寺		82 根香寺
	38 金剛福寺		83 一宮寺
	39 延光寺		84 屋島寺
愛媛県	40 観自在寺		85 八栗寺
	41 竜光寺		86 志度寺
	42 仏木寺		87 長尾寺
	43 明石寺		88 大窪寺
	44 大宝寺		

【十干】

十干

甲	こう	きのえ	木の兄
乙	おつ	きのと	木の弟
丙	へい	ひのえ	火の兄
丁	てい	ひのと	火の弟
戊	ぼ	つちのえ	土の兄
己	き	つちのと	土の弟
庚	こう	かのえ	金の兄
辛	しん	かのと	金の弟
壬	じん	みずのえ	水の兄
癸	き	みずのと	水の弟

【尺貫法】

長さ

1尺		30.30 cm
1間	6尺	1.818 m
1町	60間	109.1 m
1里	36町	3.927 km

体積

1合		180.4 ㎖
1升	10合	1.804 ℓ
1斗	10升	18.04 ℓ
1石	10斗	180.4 ℓ

面積

1坪		3.306 m²
1反	300坪	991.7 m²
1町	10反	9917 m²

質量

1匁		3.75 g
1斤	160匁	600 g
1貫	1000匁	3.75 kg

【私年号】

私年号(日本の主な私年号)

名称	使用例	名称	使用例
法興(ほうこう)	6年(596)•31年(621)	延徳(えんとく)	2•3•5年　2年壬午•3年壬午(1462)など
白鳳(はくほう)	4(653)•5(654)•12(661)•13(662)•16(665)年　白雉の異称	正享(しょうこう)	2年(1490)
		永伝(えいでん)	元年(1490)
朱雀(すざく)	元年(686)　朱鳥の異称	福徳(ふくとく)	元•2•3•4年　辛亥年(1491)ほかに使用
保寿(ほうじゅ)	元年　1166～69年頃使用	徳応(とくおう)	元年(1501 または 1441)
和勝(わしょう)	元年(1190)	子平(しへい)	5年(1506)
迎雲(げいうん)	元年　1190年もしくはそれ以前使用	弥勒(みろく)	元•2•3年　丁卯年(1507)ほかに使用
建教(けんきょう)	元年(1225)	加平(かへい)	元年(1517)
白鹿(はくろく)	元年(1345)•2年(1346)	永喜(えいき)	2年(1527)
応治(おうじ)	元年(1345)	宝寿(ほうじゅ)	2年(1534)
至大(しだい)	元年　1375～79年,または84～87年頃使用	命禄(めいろく)	元•2•3年(1540～42)
永宝(えいほう)	元年(1388)	光永(こうえい)	2年(1577 または 81 または 90)
興徳(こうとく)	元年(1395)	大道(だいどう)	元•2•10年　1609年頃以降使用,大筒とも書く
天靖(てんせい)	元年(1443)	正中(しょうちゅう)	2年(1622)
享正(きょうせい)	2(1455)•3(1456)•4(1457)年	神治(しんじ)	元年(1867)
永楽(えいらく)	元年(1461)		

( )内は相当する西暦年次．年次判定の困難なものは注記した．

【十干十二支】

干支の60通りの組合せを実際の年(最近120年)に当てはめた

	干支	西暦	和暦	西暦	和暦		干支	西暦	和暦	西暦	和暦
1	甲子(きのえね)	1984	昭59	1924	大13	31	甲午(きのえうま)	1894	明27	1954	昭29
2	乙丑(きのとうし)	1985	60	1925	14	32	乙未(きのとひつじ)	1895	28	1955	30
3	丙寅(ひのえとら)	1986	61	1926	昭和	33	丙申(ひのえさる)	1896	29	1956	31
4	丁卯(ひのとう)	1987	62	1927	2	34	丁酉(ひのととり)	1897	30	1957	32
5	戊辰(つちのえたつ)	1988	63	1928	3	35	戊戌(つちのえいぬ)	1898	31	1958	33
6	己巳(つちのとみ)	1989	平成	1929	4	36	己亥(つちのとい)	1899	32	1959	34
7	庚午(かのえうま)	1990	2	1930	5	37	庚子(かのえね)	1900	33	1960	35
8	辛未(かのとひつじ)	1991	3	1931	6	38	辛丑(かのとうし)	1901	34	1961	36
9	壬申(みずのえさる)	1992	4	1932	7	39	壬寅(みずのえとら)	1902	35	1962	37
10	癸酉(みずのととり)	1993	5	1933	8	40	癸卯(みずのとう)	1903	36	1963	38
11	甲戌(きのえいぬ)	1994	6	1934	9	41	甲辰(きのえたつ)	1904	37	1964	39
12	乙亥(きのとい)	1995	7	1935	10	42	乙巳(きのとみ)	1905	38	1965	40
13	丙子(ひのえね)	1996	8	1936	11	43	丙午(ひのえうま)	1906	39	1966	41
14	丁丑(ひのとうし)	1997	9	1937	12	44	丁未(ひのとひつじ)	1907	40	1967	42
15	戊寅(つちのえとら)	1998	10	1938	13	45	戊申(つちのえさる)	1908	41	1968	43
16	己卯(つちのとう)	1879	明12	1939	14	46	己酉(つちのととり)	1909	42	1969	44
17	庚辰(かのえたつ)	1880	13	1940	15	47	庚戌(かのえいぬ)	1910	43	1970	45
18	辛巳(かのとみ)	1881	14	1941	16	48	辛亥(かのとい)	1911	44	1971	46
19	壬午(みずのえうま)	1882	15	1942	17	49	壬子(みずのえね)	1912	大正	1972	47
20	癸未(みずのとひつじ)	1883	16	1943	18	50	癸丑(みずのとうし)	1913	2	1973	48
21	甲申(きのえさる)	1884	17	1944	19	51	甲寅(きのえとら)	1914	3	1974	49
22	乙酉(きのととり)	1885	18	1945	20	52	乙卯(きのとう)	1915	4	1975	50
23	丙戌(ひのえいぬ)	1886	19	1946	21	53	丙辰(ひのえたつ)	1916	5	1976	51
24	丁亥(ひのとい)	1887	20	1947	22	54	丁巳(ひのとみ)	1917	6	1977	52
25	戊子(つちのえね)	1888	21	1948	23	55	戊午(つちのえうま)	1918	7	1978	53
26	己丑(つちのとうし)	1889	22	1949	24	56	己未(つちのとひつじ)	1919	8	1979	54
27	庚寅(かのえとら)	1890	23	1950	25	57	庚申(かのえさる)	1920	9	1980	55
28	辛卯(かのとう)	1891	24	1951	26	58	辛酉(かのととり)	1921	10	1981	56
29	壬辰(みずのえたつ)	1892	25	1952	27	59	壬戌(みずのえいぬ)	1922	11	1982	57
30	癸巳(みずのとみ)	1893	26	1953	28	60	癸亥(みずのとい)	1923	12	1983	58

【周期表】

元素の周期表

周期＼族	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
1	1H 水素																	2He ヘリウム
2	3Li リチウム	4Be ベリリウム											5B ホウ素	6C 炭素	7N 窒素	8O 酸素	9F フッ素	10Ne ネオン
3	11Na ナトリウム	12Mg マグネシウム											13Al アルミニウム	14Si ケイ素	15P リン	16S 硫黄	17Cl 塩素	18Ar アルゴン
4	19K カリウム	20Ca カルシウム	21Sc スカンジウム	22Ti チタン	23V バナジウム	24Cr クロム	25Mn マンガン	26Fe 鉄	27Co コバルト	28Ni ニッケル	29Cu 銅	30Zn 亜鉛	31Ga ガリウム	32Ge ゲルマニウム	33As ヒ素	34Se セレン	35Br 臭素	36Kr クリプトン
5	37Rb ルビジウム	38Sr ストロンチウム	39Y イットリウム	40Zr ジルコニウム	41Nb ニオブ	42Mo モリブデン	43Tc テクネチウム	44Ru ルテニウム	45Rh ロジウム	46Pd パラジウム	47Ag 銀	48Cd カドミウム	49In インジウム	50Sn スズ	51Sb アンチモン	52Te テルル	53I ヨウ素	54Xe キセノン
6	55Cs セシウム	56Ba バリウム	57〜71 ランタノイド	72Hf ハフニウム	73Ta タンタル	74W タングステン	75Re レニウム	76Os オスミウム	77Ir イリジウム	78Pt 白金	79Au 金	80Hg 水銀	81Tl タリウム	82Pb 鉛	83Bi ビスマス	84Po ポロニウム	85At アスタチン	86Rn ラドン
7	87Fr フランシウム	88Ra ラジウム	89〜103 アクチノイド	104Rf ラザホージウム	105Db ドブニウム	106Sg シーボーギウム	107Bh ボーリウム	108Hs ハッシウム	109Mt マイトネリウム									

元素記号の左の数字は原子番号

ランタノイド	57La ランタン	58Ce セリウム	59Pr プラセオジム	60Nd ネオジム	61Pm プロメチウム	62Sm サマリウム	63Eu ユウロピウム	64Gd ガドリニウム	65Tb テルビウム	66Dy ジスプロシウム	67Ho ホルミウム	68Er エルビウム	69Tm ツリウム	70Yb イッテルビウム	71Lu ルテチウム
アクチノイド	89Ac アクチニウム	90Th トリウム	91Pa プロトアクチニウム	92U ウラン	93Np ネプツニウム	94Pu プルトニウム	95Am アメリシウム	96Cm キュリウム	97Bk バークリウム	98Cf カリホルニウム	99Es アインスタイニウム	100Fm フェルミウム	101Md メンデレビウム	102No ノーベリウム	103Lr ローレンシウム

【十三経注疏】

十三経注疏

十三経	巻数	注・伝・箋・解	疏
周易(易経)	10	王弼(おうひつ)(魏) 注 韓康伯(晋) 注	孔穎達(くえいたつ)(唐)
尚書(書経)	20	孔安国(漢) 伝	孔穎達(唐)
毛詩(詩経)	70	毛亨(もうこう)(漢) 伝 鄭玄(じょうげん)(漢) 箋	孔穎達(唐)
周礼	42	鄭玄(漢) 注	賈公彦(かこうげん)(唐)
儀礼	50	鄭玄(漢) 注	賈公彦(唐)
礼記	63	鄭玄(漢) 注	孔穎達(唐)
春秋左氏伝	60	杜預(とよ)(晋) 集解	孔穎達(唐)
春秋公羊伝	28	何休(漢) 解詁	徐彦(じょげん)(唐)
春秋穀梁伝	20	范寧(晋) 集解	楊士勛(ようしくん)(唐)
孝経	9	玄宗(唐) 注	邢昺(けいへい)(宋)
論語	20	何晏(かあん)(魏) 集解	邢昺(宋)
孟子	14	趙岐(漢) 注	孫奭(そんせき)(宋)
爾雅	11	郭璞(かくはく)(晋) 注	邢昺(宋)

【十三仏】

十三仏

仏事	仏・菩薩
初七日	不動明王
二七日	釈迦如来
三七日	文殊菩薩
四七日	普賢菩薩
五七日	地蔵菩薩
六七日	弥勒菩薩
七七日	薬師如来
百ヵ日	観世音菩薩
一周忌	勢至菩薩
三回忌	阿弥陀如来
七回忌	阿閦如来
十三回忌	大日如来
三十三回忌	虚空蔵菩薩

【十二神将】

十二神将

夜叉大将	本地仏	刻神
1 宮毘羅(くびら)	弥勒	子
2 伐折羅(ばざら)	勢至	丑
3 迷企羅(めきら)	弥陀	寅
4 安底羅(あんちら)	観音	卯
5 頞儞羅(あにら)	如意輪	辰
6 珊底羅(さんちら)	虚空蔵	巳
7 因達羅(いんだら)	地蔵	午
8 波夷羅(はいら)	文殊	未
9 摩虎羅(まこら)	大威徳	申
10 真達羅(しんだら)	普賢	酉
11 招杜羅(しょうとら)	大日	戌
12 毘羯羅(びから)	釈迦	亥

【十二門】

十二門(平安京大内裏, 外郭十二門)

		延喜式の名称	貞観式の名称
南面	東門	美福門(びふくもん)	壬生門(みぶもん)
	中門	朱雀門(すざくもん)	大伴門(おおとももん)
	西門	皇嘉門(こうかもん)	若犬養門(わかいぬかいもん)
西面	南門	談天門(だんてんもん)	玉手門(たまでもん)
	中門	藻壁門(そうへきもん)	佐伯門(さえきもん)
	北門	殷富門(いんぷもん)	伊福部門(いふくべもん)
北面	西門	安嘉門(あんかもん)	海犬養門(あまいぬかいもん)
	中門	偉鑒門(いかんもん)	猪使門(いかいもん)
	東門	達智門(たっちもん)	丹治比門(たじひもん)
東面	北門	陽明門(ようめいもん)	山門(やまもん)
	中門	待賢門(たいけんもん)	建部門(たけべもん)
	南門	郁芳門(いくほうもん)	的門(いくはもん)

【十二律】

十二律

中国	日本			洋楽の近似音名
	雅楽	義太夫節	その他	
黄鐘(こうしょう)	壱越(いちこつ)	一本	六本	ニ
大呂(たいりょ)	断金(たんぎん)	二本	七本	嬰ニ(変ホ)
太簇(たいそう)	平調(ひょうじょう)	三本	八本	ホ
夾鐘(きょうしょう)	勝絶(しょうぜつ)	四本	九本	ヘ
姑洗(こせん)	下無(しもむ)	五本	十本	嬰ヘ(変ト)
仲呂(ちゅうりょ)	双調(そうじょう)	六本	十一本	ト
蕤賓(すいひん)	鳧鐘(ふしょう)	七本	十二本	嬰ト(変イ)
林鐘(りんしょう)	黄鐘(おうしき)	八本	一本	イ
夷則(いそく)	鸞鏡(らんけい)	九本	二本	嬰イ(変ロ)
南呂(なんりょ)	盤渉(ばんしき)	十本	三本	ロ
無射(ぶえき)	神仙(しんせん)	十一本	四本	ハ
応鐘(おうしょう)	上無(かみむ)	十二本	五本	嬰ハ(変ニ)

【十八檀林】

十八檀林

旧国・地域名	寺院名
相模・鎌倉	光明寺
武蔵・鴻巣	勝願寺
常陸・瓜連	常福寺
江戸・芝	増上寺
下総・飯沼	弘経寺
下総・小金	東漸寺
下総・生実	大巌寺
武蔵・川越	蓮馨寺
武蔵・滝山	大善寺
武蔵・岩槻	浄国寺
常陸・江戸崎	大念寺
上野・館林	善導寺
下総・結城	弘経寺
江戸・本所	霊山寺
江戸・下谷	幡随院
江戸・小石川	伝通院
上野・新田	大光院
江戸・深川	霊巌寺

【植物帯】

植物帯(本州中部太平洋岸の垂直分布)

高度(m)	植物帯	代表的な植物
2300〜2500	高山草原(高山帯)	ヒゲハリスゲ ハイマツ
1500〜1700	針葉樹林帯(亜高山帯)	コメツガ トウヒ シラビソ
500〜700	夏緑樹林帯(山地帯)	ブナ・ミズナラ クリ・コナラ
0	照葉樹林帯(低山帯・丘陵帯)	カシ シイ・タブ

【諸子百家】

諸子百家

学派	主な学者・思想家または書名
儒家	孔子・曾子・子思・孟子・荀子
道家	老子・列子・荘子・関尹子
墨家	墨子・胡非子・随巣子
法家	申不害・商鞅・慎到・韓非
名家	公孫竜・恵施・尹文子・鄧析(とうせき)
農家	「神農」「野老」「宰氏」
縦横家	蘇秦・張儀
陰陽家	騶衍(鄒衍)(すうえん)・公孫発
兵家	孫武(孫子)・孫臏・呉起(呉子)
小説家	鬻子(いくし)・青史子・師曠(しこう)
雑家	呂不韋・淮南王安・東方朔

【植物ホルモン】

主な植物ホルモンと作用

	茎	葉	根	花	芽	果実	休眠	老化
オーキシン（インドール酢酸）	伸長	落葉抑制	発根，伸長	花芽形成促進	側芽成長抑制	結実，落果抑制		−
ジベレリン	伸長	成長	伸長	開花促進		結実	−	−
サイトカイニン（カイネチン）	成長	成長			発芽促進	成長	−	−
アブシジン酸		落葉	成長阻害		発芽抑制		＋	＋
エチレン	肥大	落葉	肥大，不定根形成			成熟		＋
ブラシノリド	伸長							

【晋】

晋2（歴代世系）

【清】

清（歴代世系）

【親族】

親族呼称

高祖父(こうそふ)＝高祖母(こうそぼ)

曾祖父(ひいおじいさん)＝曾祖母(ひいおばあさん)

大伯父(おおおじ)　大伯母(おおおば)　祖父(おじいさん)＝祖母(おばあさん)　大叔父(おおおじ)　大叔母(おおおば)

従兄弟違(いとこちがい)　従姉妹違　伯父(おじ)　伯母(おば)　父(ちち)＝母(はは)　叔父(おじ)　叔母(おば)

再従兄弟(またいとこ・はとこ)　再従姉妹　従兄弟(いとこ)　従姉妹　兄(あに)　義姉(あによめ)　姉(あね)　義兄(あねむこ)　本人　妻(つま)または夫(おっと)　弟(おとうと)　妹(いもうと)

従兄弟違(いとこちがい)　従姉妹違　甥(おい)　姪(めい)　息子(むすこ)＝嫁(よめ)　娘(むすめ)＝婿(むこ)

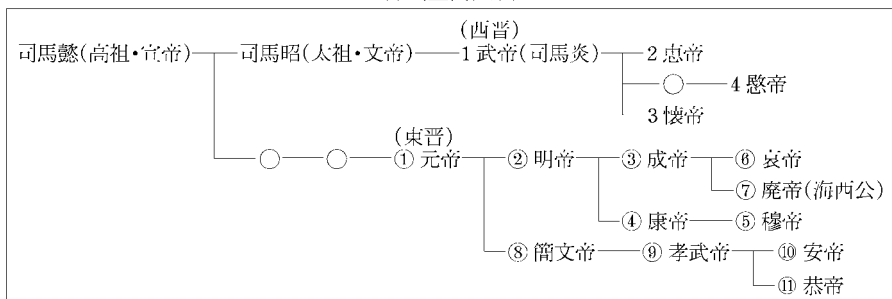
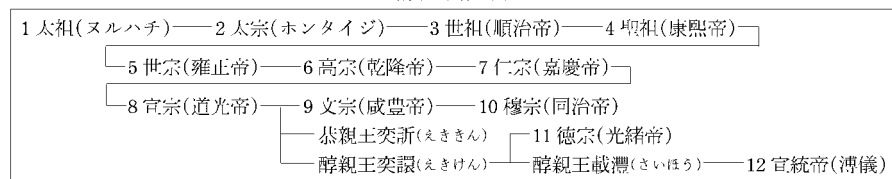
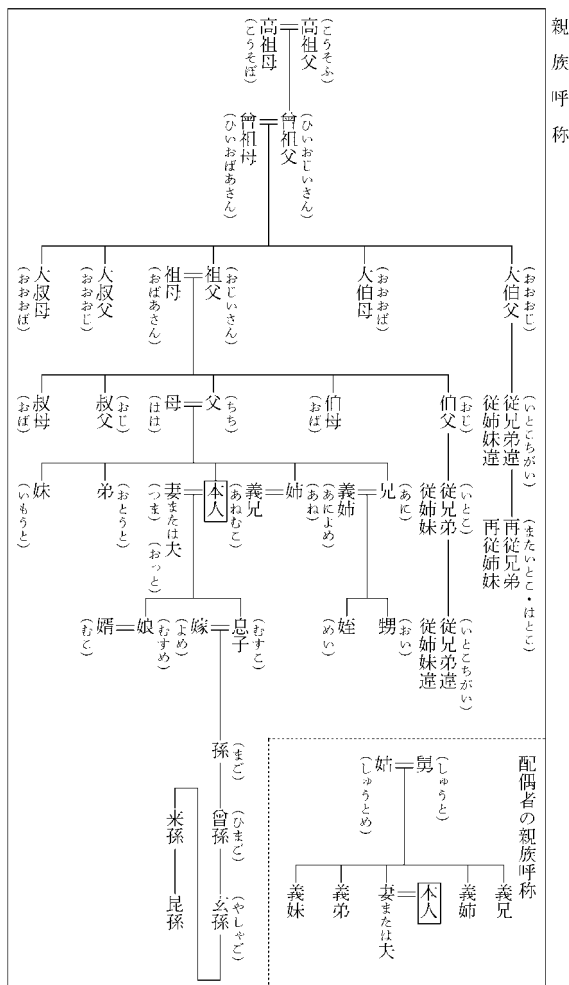
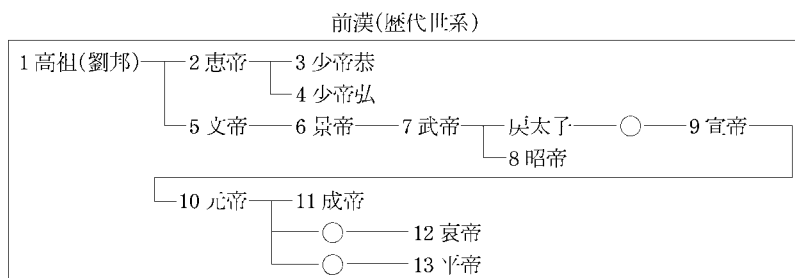
孫(まご)　曾孫(ひまご)　玄孫(やしゃご)　来孫　昆孫

配偶者の親族呼称

舅(しゅうと)＝姑(しゅうとめ)

義兄　義姉　本人＝妻または夫　義弟　義妹

【前漢】

前漢(歴代世系)

【震度階級】

気象庁震度階級関連解説表(一部)

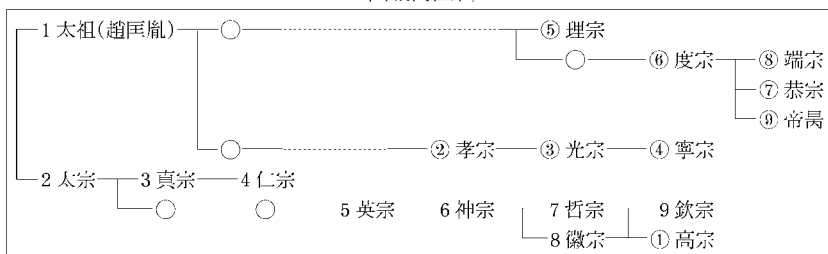
震度階級	人 間	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じない.		
1	屋内にいる人の一部が,わずかな揺れを感じる.		
2	屋内にいる人の多くが,揺れを感じる.眠っている人の一部が,目を覚ます.	電灯などのつり下げ物が,わずかに揺れる.	
3	屋内にいる人のほとんどが,揺れを感じる.恐怖感を覚える人もいる.	棚にある食器類が,音を立てることがある.	電線が少し揺れる.
4	かなりの恐怖感があり,一部の人は,身の安全を図ろうとする.眠っている人のほとんどが,目を覚ます.	つり下げ物は大きく揺れ,棚にある食器類は音を立てる.座りの悪い置物が,倒れることがある.	電線が大きく揺れる.歩いている人も揺れを感じる.自動車を運転していて,揺れに気付く人がいる.
5弱	多くの人が,身の安全を図ろうとする.一部の人は,行動に支障を感じる.	つり下げ物は激しく揺れ,棚にある食器類,書棚の本が落ちることがある.座りの悪い置物の多くが倒れ,家具が移動することがある.	窓ガラスが割れて落ちることがある,電柱が揺れるのがわかる.補強されていないブロック塀が崩れることがある.道路に被害が生じることがある.
5強	非常な恐怖を感じる.多くの人が,行動に支障を感じる.	棚にある食器類,書棚の本の多くが落ちる.テレビが台から落ちることがある.タンスなど重い家具が倒れることがある.変形によりドアが開かなくなることがある.一部の戸が外れる.	補強されていないブロック塀の多くが崩れる.据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある.多くの墓石が倒れる.自動車の運転が困難となり,停止する車が多い.
6弱	立っていることが困難になる.	固定していない重い家具の多くが移動,転倒する.開かなくなるドアが多い.	かなりの建物で,壁のタイルや窓ガラスが破損,落下する.
6強	立っていることができず,はわないと動くことができない.	固定していない重い家具のほとんどが移動,転倒する.戸が外れて飛ぶことがある.	多くの建物で,壁のタイルや窓ガラスが破損,落下する.補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる.
7	揺れにほんろうされ,自分の意志で行動できない.	ほとんどの家具が大きく移動し,飛ぶものもある.	ほとんどの建物で,壁のタイルや窓ガラスが破損,落下する.補強されているブロック塀も破損するものがある.

【染色体】

生物の染色体数(核相:$2n$)

ヒト	46	ハツカネズミ	40	サツマイモ	90
チンパンジー	48	カンガルー	16	ジャガイモ	48
キリン	30	ニワトリ(♂)	78	アサガオ	30
ウシ•ヤギ	60	ヒキガエル	22	ホウレンソウ	12
トナカイ	70	イモリ	24	タマネギ	16
インドサイ	84	コイ	104	エンドウ	14
ゾウ	56	メダカ	48	ムラサキツユクサ	24
オットセイ	36	アメリカザリガニ	200	イネ	24
ネコ•トラ	38	カイコ	56	オオムギ	14
イヌ•コヨーテ	78	ショウジョウバエ	8	パンコムギ	42
キツネ	36	アカイエカ	6	アカマツ	24
タヌキ	42	ヒドラ	32	イチョウ	24
ナガスクジラ	44	ウマノカイチュウ	2	ゼンマイ	44
ウサギ	44	スイレン	112	コンブ•ワカメ	44
モルモット	64	オシロイバナ	58	クロカビ	4

【宋】

宋(歴代世系)

丸中数字は南宋の歴代

【奏法記号】

奏法記号の例

記 号	標 語		意 味
⌇など	アルペッジョ	arpeggio	和音を分散和音として順々に奏する
gliss.	グリッサンド	glissando	広い音域を急速にすべるように奏する
	コン-ソルディーノ	con sordino	弱音器を使用する
•	スタッカート	staccato	一音一音を切り離して奏する
	ソステヌート	sostenuto	音の長さを十分に保って(速度標語と組合せて)
— ten.	テヌート	tenuto	ある一個の音の長さを十分に保って
♪など	トレモロ	tremolo	一音または二音を急速に反復して
pizz.	ピッチカート	pizzicato	指で弦を弾いて奏する
𝄐	フェルマータ	fermata	その音符・休止符を任意の長さで奏する
∨	ブレス	breath	息つぎをする
	ポルタメント	portamento	次の音へ音程をずらせながら移動する
marc.	マルカート	marcato	一音一音はっきりと奏する
	レガート	legato	滑らかに
⌒	スラー	slur	レガートの記号(弦楽器ではひと弓で奏する指示)

【速度標語】

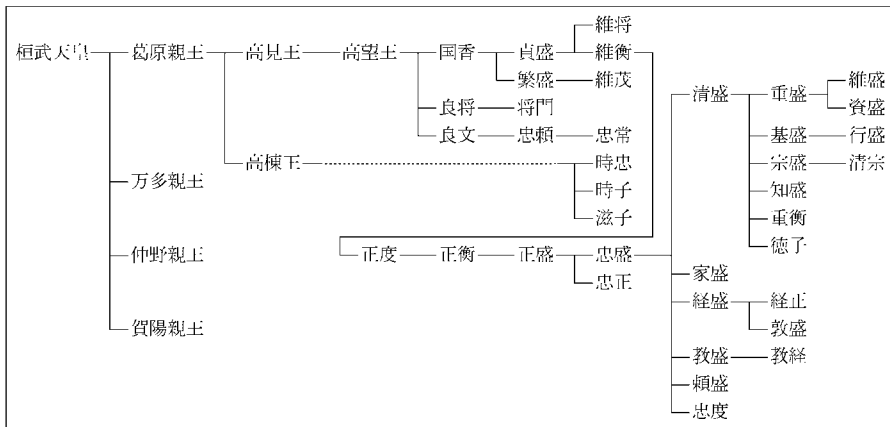
速度標語の例

標語		意味
ラルゴ	largo	ゆっくりと，豊かに
ラルゲット	larghetto	ゆっくりと(ラルゴよりやや速く)
レント	lento	遅く，ゆっくりと
アダージョ	adagio	ゆるやかに
アンダンテ	andante	歩くくらいの速さで，ゆるやかに
モデラート	moderato	中くらいの速さで
アレグロ	allegro	速く
ヴィヴァーチェ	vivace	生き生きと，きわめて速く
プレスト	presto	急速に
リタルダンド	ritardando(rit.)	次第に遅く
ラレンタンド	rallentando(rall.)	次第に遅く
アッチェレランド	accelerando(accel.)	次第に速く
メノ-モッソ	meno mosso	(今までより)もっと遅く
ア-テンポ	a tempo	もとの速さで
テンポ-プリモ	tempo primo	初めの速さで
アッサイ	assai	十分に，非常に
モルト	molto	きわめて，はなはだ
ポコ	poco	すこし(poco a poco すこしずつ)
ノン-トロッポ	non troppo	あまり…すぎないように

【大名】

大名(近世大名の分類)

区分		大名
親藩		三家(尾張・紀伊・水戸)・三卿(田安・一橋・清水)・家門(福井・松江・津山・高松・西条・浜田・会津などの松平と久松)
譜代大名		井伊・酒井・本多・榊原・大久保・土井・水野・戸田・小笠原・牧野・内藤・稲葉・堀田・阿部・久世・間部・松平(家康以前の分流)ほか
外様大名	旧族大名	伊達・島津・毛利・上杉・佐竹・鍋島・津軽・南部・松浦・大村・宗・相良ほか
	織豊大名	前田・細川・黒田・浅野・池田(岡山・鳥取)・山内・蜂須賀・藤堂・仙石・有馬ほか

【平】

【地質年代】

地質年代

代	紀	世	年代
			現在
新生代	第四紀	完新世	1 万年前
		更新世	180 万年前
	第三紀	鮮新世	530 万年前
		中新世	2300 万年前
		漸新世	3400 万年前
		始新世	5300 万年前
		暁新世	6500 万年前
中生代	白亜紀		1.4 億年前
	ジュラ紀		2.0 億年前
	三畳紀		2.5 億年前
古生代	ペルム紀		2.9 億年前
	石炭紀		3.6 億年前
	デボン紀		4.1 億年前
	シルル紀		4.4 億年前
	オルドビス紀		5.0 億年前
	カンブリア紀		5.4 億年前
先カンブリア時代	原生代		25 億年前
	始生代		46 億年前

【秩父三十三所】

秩父三十三所

市・郡名	寺院名	市・郡名	寺院名
秩父市	1 妙音寺	秩父市	18 神門寺
	2 真福寺		19 竜石寺
	3 常泉寺		20 岩之上堂
	4 金昌寺		21 観音寺
秩父郡	5 長興寺		22 栄(永)福寺
	6 卜雲寺		23 音楽寺
	7 法長寺		24 法泉寺
	8 西善寺		25 久昌寺
	9 明智寺		26 円融寺
	10 大慈寺		27 大淵寺
秩父市	11 常楽寺		28 橋立寺
	12 野坂寺	秩父郡	29 長泉院
	13 慈眼寺		30 法雲寺
	14 今宮坊		31 観音院
	15 少林寺		32 法性寺
	16 西光寺		33 菊水寺
	17 定林寺		34 水潜寺

【中国】

中国(歴代王朝)

王朝名	初代	年代
夏	禹	?
殷(商)	湯王	?～紀元前 1100 頃
周	武王	前 1100 頃～前 256
春秋時代		前 770～前 403
戦国時代		前 403～前 221
秦	始皇帝	前 221～前 206
前漢	高祖(劉邦)	前 202～後 8
新	王莽	8～23
後漢	光武帝(劉秀)	25～220
三国時代(魏・呉・蜀)	曹丕・孫権・劉備	220～265(280) (蜀は 221～263) (呉は 222～280)
晋(西晋)	武帝(司馬炎)	265～316
東晋	元帝(司馬睿)	317～420
五胡十六国		304～439
南北朝時代		439～589
隋	文帝(楊堅)	581～619
唐	高祖(李淵)	618～907
五代十国		907～960(979)
宋(北宋)	太祖(趙匡胤)	960～1127
南宋	高宗(趙構)	1127～1279
遼	太祖(耶律阿保機)	916～1125
金	太祖(阿骨打)	1115～1234
元	世祖(フビライ)	1271～1368
明	太祖(朱元璋)	1368～1644
清	太祖(ヌルハチ)	1616～1912

【天気記号】

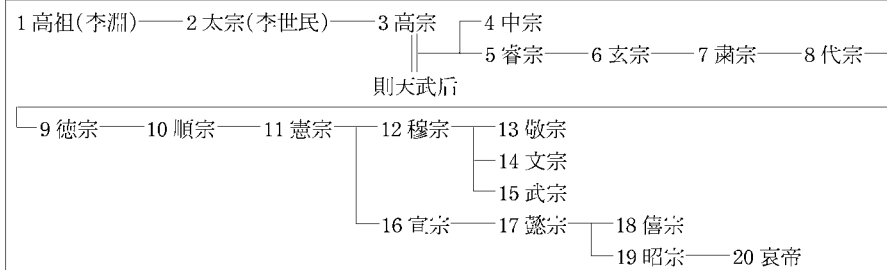
天気記号(日本式)

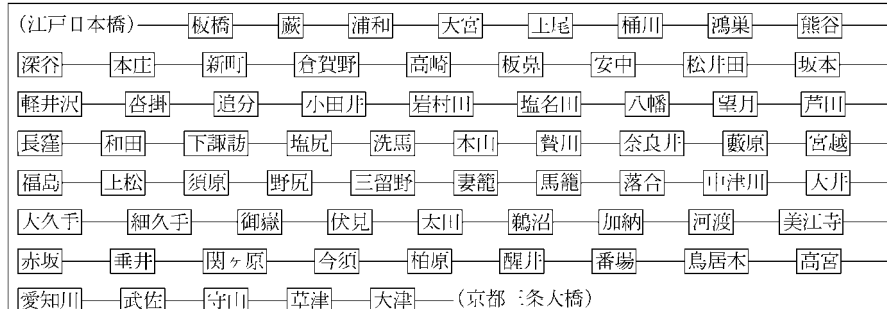
天気記号	天気	天気記号	天気
○	快晴	●ニ	にわか雨
⦶	晴	◒	みぞれ
◎	曇	⊗	雪
⊚	煙霧	⊗ツ	雪強し
Ⓢ	ちり煙霧	⊗ニ	にわか雪
⊖	砂じんあらし	△	あられ
⊕	地ふぶき	▲	ひょう
⦿	霧	◓	雷
●キ	霧雨	◓ツ	雷強し
●	雨	⊗	天気不明
●ツ	雨強し		

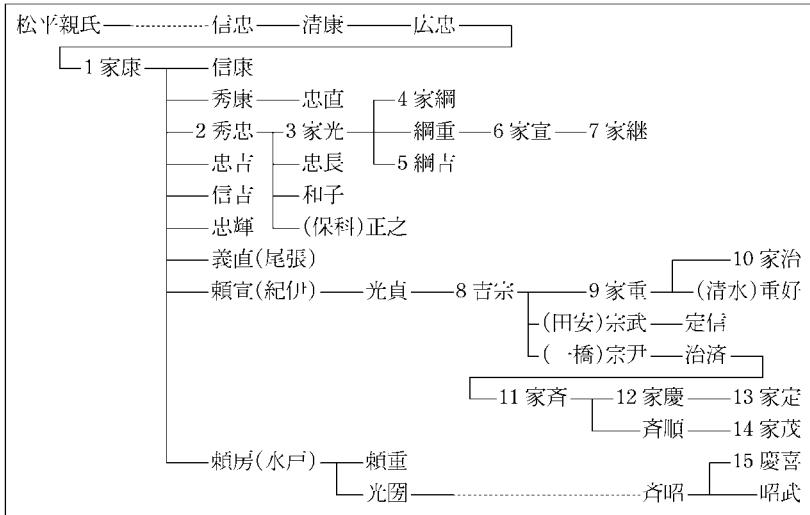
【天皇】

天皇

1 神武(じんむ)天皇	34 舒明(じょめい)天皇	67 三条(さんじょう)天皇	後光厳(ごこうごん)天皇(北朝4)
2 綏靖(すいぜい)天皇	35 皇極(こうぎょく)天皇	68 後一条(ごいちじょう)天皇	後円融(ごえんゆう)天皇(北朝5)
3 安寧(あんねい)天皇	36 孝徳(こうとく)天皇	69 後朱雀(ごすざく)天皇	97 後村上(ごむらかみ)天皇(南朝2)
4 懿徳(いとく)天皇	37 斉明(さいめい)天皇	70 後冷泉(ごれいぜい)天皇	98 長慶(ちょうけい)天皇(南朝3)
5 孝昭(こうしょう)天皇	38 天智(てんじ)天皇	71 後三条(ごさんじょう)天皇	99 後亀山(ごかめやま)天皇(南朝4)
6 孝安(こうあん)天皇	39 弘文(こうぶん)天皇	72 白河(しらかわ)天皇	100 後小松(ごこまつ)天皇
7 孝霊(こうれい)天皇	40 天武(てんむ)天皇	73 堀河(ほりかわ)天皇	101 称光(しょうこう)天皇
8 孝元(こうげん)天皇	41 持統(じとう)天皇	74 鳥羽(とば)天皇	102 後花園(ごはなぞの)天皇
9 開化(かいか)天皇	42 文武(もんむ)天皇	75 崇徳(すとく)天皇	103 後土御門(ごつちみかど)天皇
10 崇神(すじん)天皇	43 元明(げんめい)天皇	76 近衛(このえ)天皇	104 後柏原(ごかしわばら)天皇
11 垂仁(すいにん)天皇	44 元正(げんしょう)天皇	77 後白河(ごしらかわ)天皇	105 後奈良(ごなら)天皇
12 景行(けいこう)天皇	45 聖武(しょうむ)天皇	78 二条(にじょう)天皇	106 正親町(おおぎまち)天皇
13 成務(せいむ)天皇	46 孝謙(こうけん)天皇	79 六条(ろくじょう)天皇	107 後陽成(ごようぜい)天皇
14 仲哀(ちゅうあい)天皇	47 淳仁(じゅんにん)天皇	80 高倉(たかくら)天皇	108 後水尾(ごみずのお)天皇
15 応神(おうじん)天皇	48 称徳(しょうとく)天皇	81 安徳(あんとく)天皇	109 明正(めいしょう)天皇
16 仁徳(にんとく)天皇	49 光仁(こうにん)天皇	82 後鳥羽(ごとば)天皇	110 後光明(ごこうみょう)天皇
17 履中(りちゅう)天皇	50 桓武(かんむ)天皇	83 土御門(つちみかど)天皇	111 後西(ごさい)天皇
18 反正(はんぜい)天皇	51 平城(へいぜい)天皇	84 順徳(じゅんとく)天皇	112 霊元(れいげん)天皇
19 允恭(いんぎょう)天皇	52 嵯峨(さが)天皇	85 仲恭(ちゅうきょう)天皇	113 東山(ひがしやま)天皇
20 安康(あんこう)天皇	53 淳和(じゅんな)天皇	86 後堀河(ごほりかわ)天皇	114 中御門(なかみかど)天皇
21 雄略(ゆうりゃく)天皇	54 仁明(にんみょう)天皇	87 四条(しじょう)天皇	115 桜町(さくらまち)天皇
22 清寧(せいねい)天皇	55 文徳(もんとく)天皇	88 後嵯峨(ごさが)天皇	116 桃園(ももぞの)天皇
23 顕宗(けんぞう)天皇	56 清和(せいわ)天皇	89 後深草(ごふかくさ)天皇	117 後桜町(ごさくらまち)天皇
24 仁賢(にんけん)天皇	57 陽成(ようぜい)天皇	90 亀山(かめやま)天皇	118 後桃園(ごももぞの)天皇
25 武烈(ぶれつ)天皇	58 光孝(こうこう)天皇	91 後宇多(ごうだ)天皇	119 光格(こうかく)天皇
26 継体(けいたい)天皇	59 宇多(うだ)天皇	92 伏見(ふしみ)天皇	120 仁孝(にんこう)天皇
27 安閑(あんかん)天皇	60 醍醐(だいご)天皇	93 後伏見(ごふしみ)天皇	121 孝明(こうめい)天皇
28 宣化(せんか)天皇	61 朱雀(すざく)天皇	94 後二条(ごにじょう)天皇	122 明治天皇
29 欽明(きんめい)天皇	62 村上(むらかみ)天皇	95 花園(はなぞの)天皇	123 大正天皇
30 敏達(びだつ)天皇	63 冷泉(れいぜい)天皇	96 後醍醐(ごだいご)天皇(南朝1)	124 昭和天皇
31 用明(ようめい)天皇	64 円融(えんゆう)天皇	光厳(こうごん)天皇(北朝1)	125 今上天皇
32 崇峻(すしゅん)天皇	65 花山(かざん)天皇	光明(こうみょう)天皇(北朝2)	
33 推古(すいこ)天皇	66 一条(いちじょう)天皇	崇光(すこう)天皇(北朝3)	

【唐】

【東海道五十三次】

【中山道・中仙道】

【徳川】

徳川(略系図)

数字は将軍の代数

【南北朝時代】

南北朝時代 1

南　朝

宋(420〜479) → 斉(479〜502) → 梁(502〜557) → 陳(557〜589)

北　朝

北魏(386〜534) → 東魏(534〜550) → 北斉(550〜577)

→ 西魏(534〜556) → 北周(557〜581)

( )内は興亡の年代

【二十四史】

二十四史(正史)一覧

書名	巻数	編著者	成立年代	
史記	130	司馬遷	前漢	前 91 年頃
漢書	100	班固	後漢	後 82 年頃
後漢書	120	范曄	南朝宋	432 年頃
三国志	65	陳寿	西晋	3 世紀末
晋書	130	房玄齢ほか	唐	648
宋書	100	沈約	南斉	488
南斉書	59	蕭子顕	梁	6 世紀前半
梁書	56	姚思廉	唐	636
陳書	36	姚思廉	唐	636
魏書	130	魏収	北斉	554
北斉書	50	李百薬ほか	唐	636
周書	50	令狐徳棻ほか	唐	636
隋書	85	魏徴ほか	唐	636・656
南史	80	李延寿	唐	659
北史	100	李延寿	唐	659
旧唐書	200	劉昫ほか	後晋	945
新唐書	225	欧陽修ほか	宋	1060
旧五代史	150	薛居正ほか	宋	974
新五代史	74	欧陽修	宋	1053
宋史	496	脱脱ほか	元	1345
遼史	116	脱脱ほか	元	1345
金史	135	脱脱ほか	元	1345
元史	210	宋濂ほか	明	1370
明史	332	張廷玉ほか	清	1739
新元史	257	柯劭忞	民国	1919

【二十四節気】

二十四節気

季節	名称	概略日付	季節	名称	概略日付
春	立春	2月 4日	秋	立秋	8月 8日
	雨水	2月19日		処暑	8月24日
	啓蟄	3月 6日		白露	9月 8日
	春分	3月21日		秋分	9月23日
	清明	4月 5日		寒露	10月 9日
	穀雨	4月20日		霜降	10月24日
夏	立夏	5月 6日	冬	立冬	11月 8日
	小満	5月21日		小雪	11月23日
	芒種	6月 6日		大雪	12月 8日
	夏至	6月22日		冬至	12月22日
	小暑	7月 8日		小寒	1月 6日
	大暑	7月23日		大寒	1月20日

【日光街道】

日光街道(宿駅一覧)

(江戸日本橋)―千住―草加―越ヶ谷―粕壁―杉戸―幸手―〔栗橋　中田〕―古河―野木―間々田―小山―新田―小金井―石橋―雀宮―宇都宮―〔下徳次郎　中徳次郎―上徳次郎〕―大沢―今市―鉢石―(日光坊中)

〔 〕内は交代継立ての宿

【能楽】

能楽の流派

分類		流派名
立方	シテ方	観世(かんぜ) 宝生(ほうしょう) 金春(こんぱる) 金剛(こんごう) 喜多(きた)
	ワキ方	福王(ふくおう) 高安(たかやす) 宝生(下掛り宝生) 〔春藤〕(しゅんどう) 〔進藤〕(しんどう)
	狂言方	大蔵(おおくら) 和泉(いずみ) 〔鷺〕(さぎ)
囃子方	笛方	一噌(いっそう) 森田 藤田 〔春日〕(しゅんにち) 〔平岩〕
	小鼓方	幸(こう) 幸清(こうせい) 大倉 観世
	大鼓方	葛野(かどの) 高安 大倉 石井 観世(宝生錬三郎派)
	太鼓方	観世 金春

〔 〕は廃絶

【能面】

能面の主なもの

分類		名称		
翁面	尉面	白色尉(はくしきじょう) 肉色尉 父尉 黒色尉		
	冠者面	延命冠者(えんめいかじゃ)		
能面		常相	奇相	異相
	尉面(老体面)	小尉(小牛尉)・三光尉・朝倉尉・笑尉・舞尉	皺尉(しわじょう)・石王尉	悪尉(あくじょう)(大悪尉・小悪尉・鼻瘤悪尉など)
	男面	若男・中将・平太(へいだ)・邯鄲男・十六・敦盛・童子・喝食(かっしき)・慈童・猩々	怪士(あやかし)・三日月・鷹・筋男(すじおとこ)・痩男・蛙(かわず)・一角仙人	癋見(べしみ)(大癋見・小癋見・黒癋見など)・飛出(とびで)(大飛出・小飛出・釣眼(つりまなこ)・黒髭など)・顰(しかみ)・獅子口・大神
	女面	若女・小面(こおもて)・増(ぞう)(増女)・孫次郎・近江女・深井・曲見(しゃくみ)・老女・姥	泥眼(でいがん)・橋姫・増髪(ますかみ)・痩女・山姥(やまんば)	般若(はんにゃ)・生成(なまなり)・蛇(じゃ)

【発光生物】

主な発光生物

細　菌	発光バクテリア類(フォトバクテリウム・ビブリオなど)	節足動物	ウミホタル・発光ヤスデ・サクラエビ・ヒカリエビ・ホタルなど
真　菌	ツキヨタケ・ナラタケ(菌糸)・ヤコウタケなど	軟体動物	ホタルイカ・メヒカリイカ・カモメガイ・発光ウミウシなど
原生動物	ヤコウチュウ・ケラチウムなど	原索動物	ヒカリボヤ・ギボシムシなど
腔腸動物	ウミサボテン・タコクラゲ・ウミエラ・オワンクラゲなど	脊椎動物	マツカサウオ・ヒカリキンメダイ・ホウネンイワシ・ホウネンエソなど
紐形動物	ヒカリヒモムシ		
環形動物	ウロコムシ・ツバサゴカイ・ヒカリミミズなど		

【発酵・醗酵】

主 な 発 酵

	作　　用	発酵微生物
アルコール発酵	糖→エタノール，二酸化炭素	コウボ
グリセロール発酵	糖→グリセロール	コウボ
乳酸発酵	糖→乳酸，二酸化炭素	乳酸菌，ケカビ
メタン発酵	二酸化炭素，蟻酸，酢酸など→メタン	メタン細菌
酢酸発酵	エタノール→酢酸	酢酸菌
クエン酸発酵	糖，炭水化物→クエン酸	クロカビ，アオカビなど
イタコン酸発酵	糖→クエン酸→イタコン酸	アスペルギリスなど
グルコン酸発酵	糖→グルコン酸	酢酸菌，クロカビなど
酪酸発酵	糖→酪酸，アセトン，ブタノールなど	クロストリディウム
アミノ酸発酵	糖など→グルタミン酸，リジン，トレオニンなど	コリネバクテリウム

【発想標語】

発 想 標 語

標　　語		意　　味
アニマート	animato	活発に，生き生きと
アパッショナート	appassionato	情熱的に
ヴィーヴォ	vivo	活発に
エスプレッシーヴォ	espressivo	表情ゆたかに
カンタービレ	cantabile	歌うように(なだらかに)
グラーヴェ	grave	重々しく
グラツィオーソ	grazioso	優雅に
コン-ブリオ	con brio	生き生きと
コン-モート	con moto	元気よく
ジョコーソ	giocoso	嬉々として
センプリチェ	semplice	素朴に
トランクィッロ	tranquillo	静かに
ドルチェ	dolce	甘く，やわらかに
マエストーソ	maestoso	堂々と，荘厳に

【パラフィン】

直鎖パラフィン炭化水素

名　　称	分子式	沸点(℃)
メ タ ン (methane)	CH_4	−161.5
エ タ ン (ethane)	C_2H_6	−89.0
プロパン (propane)	C_3H_8	−42.1
ブ タ ン (butane)	C_4H_{10}	0.5
ペンタン (pentane)	C_5H_{12}	36.1
ヘキサン (hexane)	C_6H_{14}	68.7
ヘプタン (heptane)	C_7H_{16}	98.4
オクタン (octane)	C_8H_{18}	125.7
ノ ナ ン (nonane)	C_9H_{20}	150.8
デ カ ン (decane)	$C_{10}H_{22}$	174.1

【ハロゲン】

ハロゲン族の単体

名称	分子式	状態	色	融点(℃)	沸点(℃)
弗素	F_2	気体	淡黄	−219.6	−188.1
塩素	Cl_2	気体	黄緑	−101.0	−34.1
臭素	Br_2	液体	赤褐	−7.2	58.8
沃素	I_2	固体	黒紫	113.5	184.4

【藩学】

主 な 藩 学

名　　称	藩主	所在地	創設年代	旧称・改称
稽古館(けいこかん)	津軽	弘前	1796	
作人館(さくじんかん)	南部	盛岡	1636	稽古所・明義堂
養賢堂(ようけんどう)	伊達	仙台	1736	学問所・明倫館
日新館(にっしんかん)	松平	会津	1678	
明徳館(めいとくかん)	佐竹	秋田	1789	明道館
興讓館(こうじょうかん)	上杉	米沢	1697	学校
道学堂(どうがくどう)	溝口	新発田	1772	
文武学校(ぶんぶがっこう)	真田	松代	1855	稽古所・学問所
弘道館(こうどうかん)	徳川	水戸	1841	
明倫堂(めいりんどう)	徳川	名古屋	1748	学問所
明倫堂(めいりんどう)	前田	金沢	1792	
成徳書院(せいとくしょいん)	堀田	佐倉	1792	
弘道館(こうどうかん)	井伊	彦根	1799	稽古館
立教館(りっきょうかん)	松平	白河・桑名	1791	学問所
学習館(がくしゅうかん)	徳川	和歌山	1713	講釈所
花畠教場(はなばたけきょうじょう)	池田	岡山	1641	仮学館・学校
誠之館(せいしかん)	阿部	福山	1786	弘道館
修道館(しゅうどうかん)	浅野	広島	1782	稽古屋敷・学問所
明教館(めいきょうかん)	松平	松江	1758	文明館・文武館
明倫館(めいりんかん)	毛利	萩	1719	
教授館(きょうじゅかん)	山内	高知	1760	教授場・致道館
明倫館(めいりんかん)	伊達	宇和島	1748	内徳館・敷教館
修猷館(しゅうゆうかん)	黒田	福岡	1784	
伝習館(でんしゅうかん)	立花	柳川	1824	
弘道館(こうどうかん)	鍋島	佐賀	1781	
時習館(じしゅうかん)	細川	熊本	1755	
造士館(ぞうしかん)	島津	鹿児島	1773	本学校

【舞曲】

舞曲(欧米の主な舞曲)

流行した時代	名称		拍子	始まった国	流行した時代	名称		拍子	始まった国
16〜17世紀	パヴァーヌ	pavane	4/4	イタリア		メヌエット	menuet	3/4	フランス
	ガイヤルド	gaillarde	3/2	イタリア	18〜19世紀	マズルカ	mazurka	3/4	ポーランド
	アルマンド	allcmandc	4/4	ドイツ	19世紀	ポロネーズ	polonaisc	3/4	ポーランド
	シャコンヌ	chaconne	3/4	スペイン		ポルカ	polka	2/4	チェコ
	パッサカリア	passacaglia	3/4	スペイン		ボレロ	bolero	3/4	スペイン
	クーラント	courante	3/2	フランス・イタリア		ハバネラ	habanera	2/4	キューバ
17〜18世紀	サラバンド	saraband	3/4	スペイン		ギャロップ	galop	2/4	ドイツ
	ジーグ	giguc	6/8	イギリス	19〜20世紀	ワルツ	waltz	3/4	オーストリア
	ブーレ	bourrée	2	フランス	20世紀	チャルダシュ	czardas	2/4	ハンガリー
	ガヴォット	gavotte	4/4	フランス		タンゴ	tango	2/4	アルゼンチン

【坂東三十三所】

坂東三十三所

都県名	寺院名	都県名	寺院名
神奈川県	1 杉本寺	栃木県	18 中禅寺
	2 岩殿寺		19 大谷寺
	3 安養院		20 西明寺
鎌倉	4 長谷寺	茨城県	21 日輪寺
	5 勝福寺		22 佐竹寺
厚木	6 長谷寺		23 観世音寺
	7 光明寺		24 楽法寺
	8 星谷寺		25 大御堂
埼玉県	9 慈光寺		26 清滝寺
	10 正法寺	千葉県	27 円福寺
	11 安楽寺		28 竜正院
	12 慈恩寺		29 千葉寺
東京都	13 浅草寺		30 高蔵寺
神奈川県	14 弘明寺		31 笠森寺
群馬県	15 長谷寺		32 清水寺
	16 水沢寺		33 那古寺
栃木県	17 満願寺		

【病原体】

主な病原体

	特　徴	例
ウイルス	宿主細胞内でのみ増殖，化学療法剤が効かない	はしかウイルス，インフルエンザ-ウイルス，日本脳炎ウイルス，肝炎ウイルス，風疹ウイルス，黄熱ウイルス，ラッサ熱ウイルスなど
クラミジア	宿主細胞内でのみ増殖	トラコーマ-クラミジア，オウム病クラミジアなど
マイコプラスマ	細胞壁がない．最小の自律増殖生物	異型肺炎マイコプラスマ，肺炎マイコプラスマなど
細菌	細胞壁をもち，自律的に増殖	ジフテリア菌，肺炎双球菌，淋菌，コレラ菌，赤痢菌，大腸菌，破傷風菌，ボツリヌス菌，結核菌など
スピロヘータ	同上	梅毒トレポネーマ，レプトスピラなど
リケッチア	宿主細胞内でのみ増殖	ツツガムシ病リケッチア，発疹チフス-リケッチアなど
真菌	半ば寄生的に増殖	カンジダ，クリプトコッカス，白癬菌など
原生動物(原虫)	宿主に寄生	マラリア原虫，トリパノソーマ，トキソプラスマ
寄生虫	同上	回虫，十二指腸虫，条虫，住血吸虫，ジストマなど

【フロン】

フ ロ ン

名称	分子式	沸点(℃)
F-11	$CFCl_3$	23.8
F-12	CF_2Cl_2	−29.8
F-22	CHF_2Cl	−40.8
F-113	$C_2F_3Cl_3$	47.6
F-114	$C_2F_4Cl_2$	3.8
F-115	C_2F_5Cl	−39.1

【分国法】

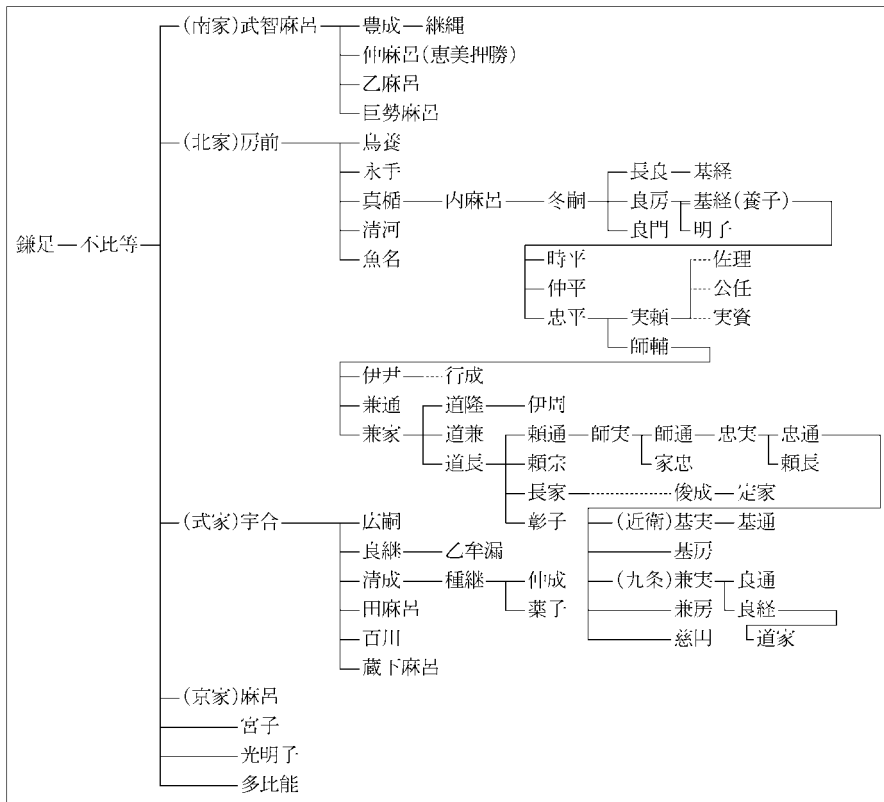
分 国 法

名　称	別　称	条文数	制定年代
朝倉孝景条々	朝倉敏景十七箇条	17	1471～81
大内氏掟書	大内家壁書	181	1439～1529
相良氏法度		41	1493～1555
今川仮名目録		33	1526
同　追加		21	1553
塵芥集		171	1536
甲州法度	甲州法度之次第 信玄家法	26*	1547
結城氏新法度		106	1556
新加制式		22	1558～70 頃
六角氏式目	義治式目	67	1567
長宗我部氏掟書	長宗我部元親百箇条	100	1597 頃

＊ のち 55 ヵ条に増補

【藤原】

藤原(藤原氏略系図)

【仏像】

主な仏像の種類

如来部	釈迦如来，薬師如来，阿弥陀如来，毘盧遮那如来，大日如来，五智如来
菩薩部	弥勒菩薩，観(世)音菩薩(聖観音・如意輪観音・十一面観音・千手観音・不空羂索観音・馬頭観音・准胝観音など)，勢至菩薩，日光菩薩，月光菩薩，文殊菩薩，普賢菩薩，普賢延命菩薩，虚空蔵菩薩，五大虚空蔵菩薩，地蔵菩薩，薬王菩薩，薬上菩薩，妙見菩薩
明王部	五大明王(不動明王・降三世明王・軍荼利明王・大威徳明王・金剛夜叉明王)，愛染明王，孔雀明王，大元帥明王，烏枢沙摩明王
天　部	四天王(持国天・増長天・広目天・多聞天＝毘沙門天)，梵天，帝釈天，吉祥天，弁財天，大黒天，歓喜天＝聖天，韋駄天，摩利支天，仁王，鬼子母神，八部衆，十二神将
その他	十大弟子，羅漢，祖師，大師など

【源】

源(清和源氏略系図)

【明】

明(歴代世系)

【室町幕府】

室町幕府(将軍一覧)

代数	氏名	父	母	在職期間	没年
1	足利尊氏	足利貞氏	上杉頼重娘清子	1338～1358	1358
2	足利義詮	足利尊氏	北条(赤橋)久時娘登子	1358～1367	1367
3	足利義満	足利義詮	善法寺通清娘紀良子	1368～1394	1408
4	足利義持	足利義満	安芸法眼娘藤原慶子	1394～1423	1428
5	足利義量	足利義持	日野資康娘栄子	1423～1425	1425
6	足利義教	足利義満	安芸法眼娘藤原慶子	1429～1441	1441
7	足利義勝	足利義教	日野重光娘重子	1442～1443	1443
8	足利義政	足利義教	日野重光娘重子	1449～1473	1490
9	足利義尚	足利義政	日野重政娘富子	1473～1489	1489
10	足利義稙	足利義視	日野重政娘(富子妹)	1490～1493	
				1508～1521	1523
11	足利義澄	足利政知	武者小路隆光娘	1494～1508	1511
12	足利義晴	足利義澄	阿与	1521～1546	1550
13	足利義輝	足利義晴	近衛尚通娘	1546～1565	1565
14	足利義栄	足利義維	大内介娘	1568	1568
15	足利義昭	足利義晴	近衛尚通娘	1568～1573	1597

【命数法】

命 数 法

大 数	十，百，千，万，億，兆，京(けい)，垓(がい)，秭(し)，穣(じょう)，溝，澗(かん)，正(せい)，載，極，恒河沙(ごうがしゃ)，阿僧祇(あそうぎ)，那由他(なゆた)，不可思議，無量大数
小 数	分，厘，毫(＝毛)，糸，忽(こつ)，微，繊，沙(しゃ)，塵，埃(あい)，渺(びょう)，漠，模糊(もこ)，逡巡，須臾(しゅゆ)，瞬息，弾指，刹那，六徳，虚空，清浄

【モンゴル帝国】

モンゴル帝国(略系図)

数字は大汗の代数

【紋所】

紋　所

分　類	素材と名称
模様・文字	鱗(三つ鱗)・唐花・亀甲(三つ亀甲)・七宝・蛇の目・菱(三つ菱・三蓋菱・花菱・松皮菱・割り菱・武田菱・大内菱)・巴(右巴・左巴・一つ巴・二つ巴・三つ巴)・卍(丸卍・左卍)・引両(一つ引両・二つ引両・三つ引両)・木瓜(丸に木瓜・庵木瓜・蔓木瓜)・目結(四目結)・輪(金輪・輪違い)・有文字・一文字・十文字・井の字・入山形
建築・器具	庵・錨・井桁・井筒(重井筒・角立井筒・平井筒)・石畳・糸巻・団扇(うちわ)(二本団扇)・扇(三つ扇・日の丸扇・扇車)・檜扇・笠(丸に笠・柳生笠・三蓋笠)・傘(三本傘)・舵・鐶・杏葉(ぎょうよう)・釘抜・くつわ・車(源氏車・風車)・剣・五徳・琴柱(ことじ)・駒・銭(六連銭・永楽通宝)・槌・鼓・羽根・分銅・枡・的・守(祇園守)・矢(矢車)・輪鼓(りゅうご)
植物	葵(葵巴・立葵・唐草葵)・総角(あげまき)・麻(麻の葉)・銀杏・稲(稲の丸・抱き稲)・梅(梅鉢・裏梅)・沢瀉(おもだか)(抱き沢瀉・立て沢瀉)・かきつばた・柏(抱き柏・違い柏・三つ柏・二葉柏)・梶(梶の葉)・かたばみ(剣かたばみ・剣かたばみ)・桔梗(ききょう)(細桔梗・桔梗崩し)・菊(菊花・菊一文字・三つ割菊・裏菊・菊水・杏葉菊・乱菊)・桐(五三桐・五七桐・大内桐・太閤桐)・くるみ・河骨(こうほね)・桜(影桜)・大根・竹(竹の丸・竹に雀)・笹(おかめ笹・三枚笹・丸に九枚笹・根笹・雪持笹・上杉笹・仙台笹)・棕櫚(しゅろ)・杉(一本杉・並び杉・杉巴)・薄(すすき)(薄の丸)・橘(丸に橘・向う橘)・丁子・蔦(鬼蔦・中陰蔦・結蔦)・鉄線(光琳鉄線)・なずな(雪なずな)・なでしこ・ひいらぎ・藤(上り藤・下り藤・藤の丸)・葡萄・牡丹(近衛牡丹・伊達牡丹・鍋島牡丹・蟹牡丹・杏葉牡丹)・松(一つ松・櫛松・三蓋松・松葉・松笠)・茗荷(抱き茗荷)・桃・竜胆(笹竜胆)・餅(黒餅)
動物	鴛鴦(おし)・兎(花兎)・馬(繋ぎ馬)・雁(二つ雁金・結び雁金・雁金菱)・雀(雀の丸・ふくら雀)・鷹(鷹の羽)・鶴(鶴の丸・舞鶴)・蝶(揚羽蝶・胡蝶)・鳩
天文・気象	日(日の丸)・月(三日月)・星(三つ星・八曜・九曜)・稲妻(稲妻菱)・雲・雪(雪輪)・波

【ヤードポンド法】

長さ

1インチ		2.54 cm
1フィート	12インチ	30.48 cm
1ヤード	3フィート	91.44 cm
1マイル	1,760ヤード	1.609 km

面積

1エーカー	4,047 m²

体積

1ガロン(英)	4.546 ℓ
1ガロン(米)	3.785 ℓ

質量

1オンス		28.35 g
1ポンド	16オンス	453.6 g
1トン(英)	2,240ポンド	1.016 t
1トン(米)	2,000ポンド	0.9072 t

【養老律令】

養老令の編名

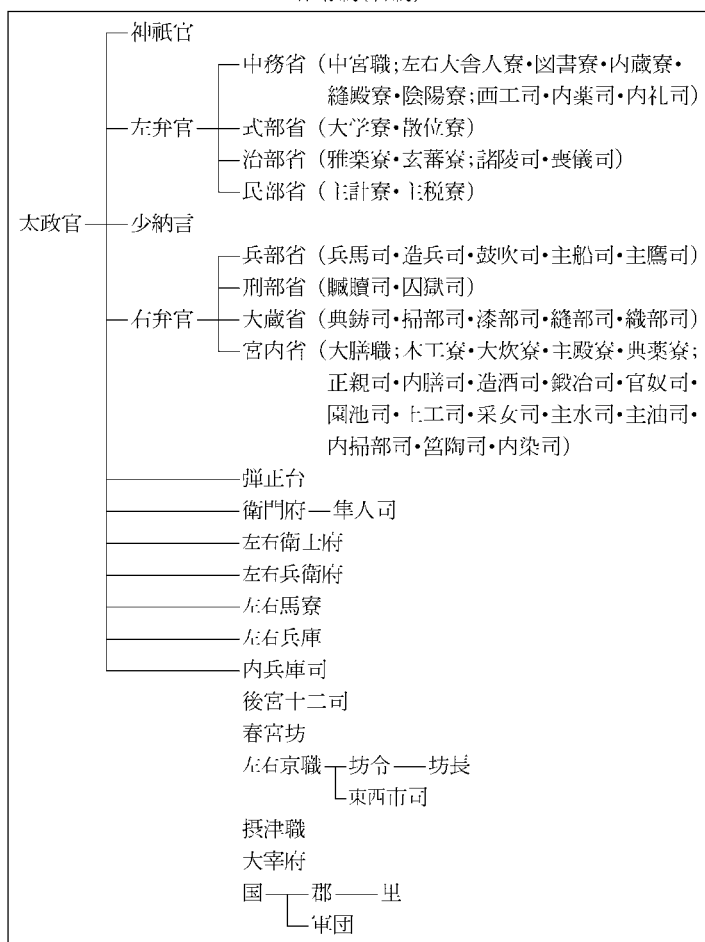
1 官位令(かんいりょう)	16 宮衛令(くうえりょう・くえりょう)
2 職員令(しきいんりょう)	17 軍防令(ぐんぼうりょう)
3 後宮職員令(ごくうしきいんりょう・こうきゅうしきいんりょう)	18 儀制令(ぎせいりょう)
4 東宮職員令(とうぐうしきいんりょう)	19 衣服令(えぶくりょう・いふくりょう)
5 家令職員令(けりょうしきいんりょう・かれいしきいんりょう)	20 営繕令(ようぜんりょう・えいぜんりょう)
6 神祇令(じんぎりょう)	21 公式令(くうじきりょう・くしきりょう)
7 僧尼令(そうにりょう)	22 倉庫令(そうこりょう)
8 戸令(こりょう)	23 廐牧令(くもくりょう・きゅうぼくりょう)
9 田令(でんりょう)	24 医疾令(いしちりょう・いしつりょう)
10 賦役令(ふやくりょう・ぶやくりょう)	25 仮寧令(けにょうりょう)
11 学令(がくりょう)	26 喪葬令(そうそうりょう)
12 選叙令(せんじょりょう)	27 関市令(げんしりょう)
13 継嗣令(けいしりょう)	28 捕亡令(ぶもうりょう)
14 考課令(こうかりょう)	29 獄令(ごくりょう)
15 禄令(ろくりょう)	30 雑令(ぞうりょう)

【六国史】

六 国 史

書　名	巻数	収載歴代	完成年	主な編者
日本書紀	30	(神代)〜持統	720	舎人親王
続日本紀	40	文武〜桓武	797	藤原継縄•菅野真道
日本後紀	40	桓武•淳和	840	藤原冬嗣•藤原緒嗣
続日本後紀	20	仁明	869	藤原良房•春澄善縄
日本文徳天皇実録	10	文徳	879	藤原基経•都良香•菅原是善
日本三代実録	50	清和•陽成•光孝	901	藤原時平•大蔵善行

【律令制】

律令制(官制)

【令外官】

令外官の主なもの

官 名	初置年代
内大臣(ないだいじん)	669
参議(さんぎ)	702
知太政官事(ちだいじょうかんじ)	703
中納言(ちゅうなごん)	705
按察使(あぜち)	719
征夷大将軍(せいいたいしょうぐん)	794
勘解由使(かげゆし)	797 頃
観察使(かんさつし)	806
蔵人所(くろうどどころ)	810
検非違使(けびいし)	816 頃
修理職(しゅりしき)	818

【暦法】

暦法(日本で行われた暦法)

暦 名	作 製 者	施 行 年
元嘉暦(げんかれき)	何承天(南朝宋)	692(持統天皇 6 年)
儀鳳暦(ぎほうれき)	李淳風(唐)	697(文武天皇元年)
大衍暦(たいえんれき)	一行(唐)	764(天平宝字 8 年)
五紀暦(ごきれき)	郭献之(唐)	858(天安 2 年)
宣明暦(せんみょうれき)	徐昂(唐)	862(貞観 4 年)
貞享暦(じょうきょうれき)	渋川春海	1685(貞享 2 年)
宝暦暦(ほうれきれき)	安倍泰邦ほか	1755(宝暦 5 年)
寛政暦(かんせいれき)	高橋至時・間重富	1798(寛政 10 年)
天保暦(てんぽうれき)	渋川景佑ほか	1844(弘化元年)
グレゴリオ暦		1873(明治 6 年)

【ローマ字】

ロ ー マ 字

大文字	小文字	名 称	大文字	小文字	名 称
A	a	エー	N	n	エヌ
B	b	ビー	O	o	オー
C	c	シー	P	p	ピー
D	d	ディー	Q	q	キュー
E	e	イー	R	r	アール
F	f	エフ	S	s	エス
G	g	ジー	T	t	ティー
H	h	エッチ	U	u	ユー
I	i	アイ	V	v	ヴィー
J	j	ジェー	W	w	ダブリュー
K	k	ケー	X	x	エックス
L	l	エル	Y	y	ワイ
M	m	エム	Z	z	ゼット

【ローマ数字】

ローマ数字

算用数字	ローマ数字
1	Ⅰ
2	Ⅱ
3	Ⅲ
4	Ⅳ
5	Ⅴ
6	Ⅵ
7	Ⅶ
8	Ⅷ
9	Ⅸ
10	Ⅹ
50	L
100	C
500	D
1000	M

【ロシア文字】

ロ シ ア 文 字

大文字	小文字	名 称	大文字	小文字	名 称
А	а	アー	Р	р	エル
Б	б	ベー	С	с	エス
В	в	ヴェー	Т	т	テー
Г	г	ゲー	У	у	ウー
Д	д	デー	Ф	ф	エフ
Е	е	イェー	Х	х	ハー
Ё	ё	ヨー	Ц	ц	ツェー
Ж	ж	ジェー	Ч	ч	チェー
З	з	ゼー	Ш	ш	シャー
И	и	イー	Щ	щ	シチャー
Й	й	イー・クラートコエ		ъ	硬音符
К	к	カー		ы	ウイ
Л	л	エリ		ь	軟音符
М	м	エム	Э	э	エー
Н	н	エヌ	Ю	ю	ユー
О	о	オー	Я	я	ヤー
П	п	ペー			

【渡り鳥】

日本列島の主な渡り鳥

夏鳥(夏，日本に来て繁殖)		冬鳥(日本で越冬)	
種　名	越 冬 地	種　名	繁 殖 地
ホトトギス	←東南アジア*	ナベヅル	←ロシア沿海州アムール地方
カッコウ	←東南アジア	マナヅル	←ロシア沿海州アムール地方
ヨタカ	←東南アジア	オオハクチョウ	←シベリア-タイガ帯
ブッポウソウ	←東南アジア	コハクチョウ	←シベリア北極圏
アカショウビン	←東南アジア	マガン	←シベリア北極圏
ツバメ	←東南アジア	オナガガモ	←シベリア・北米北部
オオルリ	←東南アジア	スズガモ	←シベリア北東部
コルリ	←東南アジア	コミミズク	←シベリア
キビタキ	←東南アジア	ツグミ	←シベリア-タイガ帯
ノビタキ	←東南アジア	アトリ	←シベリア-タイガ帯
センダイムシクイ	←東南アジア	ジョウビタキ	←シベリア南東部・ロシア沿海州
クロツグミ	←東南アジア	ヒレンジャク	←ロシア沿海州アムール地方
オオヨシキリ	←東南アジア	ハマシギ	←シベリア・アラスカ北極圏
オオジシギ	←オーストラリア南東部	アビ	←シベリア北極圏
コアジサシ	←ニュー-ギニア・オーストラリア	ユリカモメ	←シベリア北東部・カムチャツカ
オオミズナギドリ	←フィリピン群島・オーストラリア北部	セグロカモメ	←シベリア北部

旅鳥(渡りの途中，日本を通過)		
種　名	越 冬 地	繁 殖 地
アカエリヒレアシシギ	フィリピン・ニュー-ギニア	↔シベリア北極圏
チュウシャクシギ	東南アジア・オーストラリア	↔シベリア東部
キョウジョシギ	東南アジア・オーストラリア	↔シベリア・アラスカ北極圏
キアシシギ	東南アジア・オーストラリア	↔シベリア東部
オオソリハシシギ	東南アジア・オーストラリア	↔シベリア北極圏
エリマキシギ	東南アジア・オーストラリア	↔シベリア北極圏
トウネン	東南アジア・オーストラリア	↔シベリア北極圏
ダイゼン	東南アジア・オーストラリア	↔シベリア北極圏
ムナグロ	東南アジア・オーストラリア	↔シベリア・アラスカ西部北極圏
メダイチドリ	東南アジア・オーストラリア	↔シベリア・カムチャツカ
トウゾクカモメ	オーストラリア・ニュー-ジーランド海域	↔シベリア北極圏
アジサシ	オーストラリア南部海域	↔シベリア東部
ハシボソミズナギドリ	北太平洋北部	↔オーストラリア南東部・タスマニア
エゾビタキ	東南アジア	↔シベリア南東部

越冬地・繁殖地は，日本列島に渡来する集団についてのものを示す．

＊東南アジアは，東アジア・南アジアをも含む．

【出典略称一覧　五】

な　取替ばや　とりかへばや物語　とりかえばやものがたり

長門本平家　平家物語(長門本)　へいけものがたり(ながとぼん)

に　二代男　好色二代男　こうしょくにだいおとこ

日葡　日葡辞書　にっぽじしょ

人、　人情本　にんじょうぼん

ね　寝覚　夜の寝覚　よるのねざめ

は　八犬伝　南総里見八犬伝　なんそうさとみはっけんでん

八笑人　花暦八笑人　はなごよみはっしょうじん

浜松　浜松中納言物語　はままつちゅうなごんものがたり

ひ　膝栗毛　東海道中膝栗毛　とうかいどうちゅうひざくりげ

ふ　風雅　風雅和歌集　ふうがわかしゅう

風葉　風葉和歌集　ふうようわかしゅう

扶桑拾葉　扶桑拾葉集　ふそうしゅうようしゅう

夫木　夫木和歌抄　ふぼくわかしょう

へ　平家　平家物語　へいけものがたり

平治　平治物語　へいじものがたり

平中　平中物語　へいじゅうものがたり

ヘボン　和英語林集成　わえいごりんしゅうせい

ほ　保元　保元物語　ほうげんものがたり

ま　枕　枕草子　まくらのそうし

万　万葉集　まんようしゅう

万代　万代和歌集　まんだいわかしゅう

み　名義抄　類聚名義抄　るいじゅうみょうぎしょう

む　娘節用　仮名文章娘節用　かなまじりむすめせつよう

胸算用　世間胸算用　せけんむねさんよう

や　屋代本平家　平家物語(屋代本)　へいけものがたり(やしろぼん)

柳樽　誹風柳多留　はいふうやなぎだる

柳樽拾遺　誹風柳多留拾遺　はいふうやなぎだるしゅうい

大和　大和物語　やまとものがたり

よ　謡、　謡曲　ようきょく

り　霊異記　日本霊異記　にほんりょういき

林葉集　林葉和歌集　りんようわかしゅう

わ　和名抄　倭名類聚鈔　わみょうるいじゅしょう

【出典略称一覧　四】

	略称	出典	読み
	反魂香	傾城反魂香	けいせいはんごんこう
	彦山権現	彦山権現誓助剣	ひこさんごんげんちかいのすけだち
	双蝶蝶	双蝶蝶曲輪日記	ふたつちょうちょうくるわにっき
	二つ腹帯	心中二つ腹帯	しんじゅうふたつはらおび
	松風村雨	松風村雨束帯鑑	まつかぜむらさめそくたいかがみ
	万年草	心中万年草	しんじゅうまんねんそう
	女夫池	津国女夫池	つのくにみょうといけ
	栬狩	栬狩剣本地	もみじがりつるぎのほんじ
	八花がた	傾城八花がた	けいせいやつはながた
	日本武尊	日本武尊吾妻鑑	やまとたけるのみことあずまかがみ
	鑓権三	鑓の権三重帷子	やりのごんざかさねかたびら
	夕霧	夕霧阿波鳴渡	ゆうぎりあわのなると
	百合若	百合若大臣野守鏡	ゆりわかだいじんのもりのかがみ
	宵庚申	心中宵庚申	しんじゅうよいごうしん
	淀鯉	淀鯉出世滝徳	よどごいしゅっせのたきのぼり
	冷泉節	源氏冷泉節	げんじれいぜいぶし
	盛衰記	源平盛衰記	げんぺいじょうすいき
	続後紀	続日本後紀	しょくにほんこうき
	続古今	続古今和歌集	しょくこきんわかしゅう
	続後拾遺	続後拾遺和歌集	しょくごしゅういわかしゅう
	続後撰	続後撰和歌集	しょくごせんわかしゅう
	続詞花	続詞花和歌集	しょくしかわかしゅう
	続拾遺	続拾遺和歌集	しょくしゅういわかしゅう
	続千載	続千載和歌集	しょくせんざいわかしゅう
	続門葉	続門葉和歌集	しょくもんようわかしゅう
	書言字考	書言字考節用集	しょげんじこうせつようしゅう
	諸国ばなし	西鶴諸国ばなし	さいかくしょこくばなし
	続紀	続日本紀	しょくにほんぎ
	字類抄	伊呂波字類抄	いろはじるいしょう
	新古今	新古今和歌集	しんこきんわかしゅう
	新後拾遺	新後拾遺和歌集	しんごしゅういわかしゅう
	新後撰	新後撰和歌集	しんごせんわかしゅう
	新拾遺	新拾遺和歌集	しんしゅういわかしゅう
	新続古今	新続古今和歌集	しんしょくこきんわかしゅう
	新千載	新千載和歌集	しんせんざいわかしゅう
	新撰万葉	新撰万葉集	しんせんまんようしゅう
	新勅撰	新勅撰和歌集	しんちょくせんわかしゅう
	新内、	新内節	しんないぶし
	新葉	新葉和歌集	しんようわかしゅう
す	住吉	住吉物語	すみよしものがたり
せ	千載	千載和歌集	せんざいわかしゅう
そ	曾我	曾我物語	そがものがたり
た	大石寺本曾我	曾我物語(大石寺本)	そがものがたり(たいせきじぼん)
	竹取	竹取物語	たけとりものがたり
ち	著聞	古今著聞集	ここんちょもんじゅう
つ	月詣集	月詣和歌集	つきもうでわかしゅう
	堤中納言	堤中納言物語	つつみちゅうなごんものがたり
と	伽、	御伽草子	おとぎぞうし
	土佐	土佐日記	とさにっき

【出典略称一覧　三】

略称	作品名	読み
扇八景	曾我扇八景	そがおうぎはっけい
近江源氏	近江源氏先陣館	おうみげんじせんじんやかた
大磯虎	大磯虎稚物語	おおいそのとらおさなものがたり
大塔宮	大塔宮曦鎧	おおとうのみやあさひのよろい
大原問答	大原問答青葉笛	おおはらもんどうあおばのふえ
女楠	吉野都女楠	よしののみやこおんなくすのき
女腹切	長町女腹切	ながまちおんなはらきり
女舞衣	艶容女舞衣	はですがたおんなまいぎぬ
会稽山	曾我会稽山	そがかいけいざん
蛙合戦	傾城島原蛙合戦	けいせいしまばらかえるがっせん
賀古教信	賀古教信七墓廻	かこのきょうしんななはかめぐり
重井筒	心中重井筒	しんじゅうかさねいづつ
苅萱桑門	苅萱桑門筑紫皪	かるかやどうしんつくしのいえづと
川中島合戦	信州川中島合戦	しんしゅうかわなかじまかっせん
河原達引	近頃河原達引	ちかごろかわらのたてひき
鬼一法眼	鬼一法眼三略巻	きいちほうげんさんりゃくのまき
兼好法師	兼好法師物見車	けんこうほうしものみぐるま
氷朔日	心中刃は氷の朔日	しんじゅうやいばはこおりのついたち

略称	作品名	読み
国性爺	国性爺合戦	こくせんやかっせん
国性爺後日	国性爺後日合戦	こくせんやごにちかっせん
最明寺殿	最明寺殿百人上臈	さいみょうじどのひゃくにんじょうろう
釈迦如来	釈迦如来誕生会	しゃかにょらいたんじょうえ
酒呑童子	傾城酒呑童子	けいせいしゅてんどうじ
聖徳太子	聖徳太子絵伝記	しょうとくたいしえでんき
職人鑑	用明天皇職人鑑	ようめいてんのうしょくにんかがみ
末松山	椀久末松山	わんきゅうすえのまつやま
隅田川	双生隅田川	ふたごすみだがわ
先代萩	伽羅先代萩	めいぼくせんだいはぎ
千本桜	義経千本桜	よしつねせんぼんざくら
曾根崎	曾根崎心中	そねざきしんじゅう
大経師	大経師昔暦	だいきょうじむかしごよみ
丹波与作	丹波与作待夜の小室節	たんばよさくまつよのこむろぶし
忠臣蔵	仮名手本忠臣蔵	かなでほんちゅうしんぐら
手習鑑	菅原伝授手習鑑	すがわらでんじゅてならいかがみ
天網島	心中天の網島	しんじゅうてんのあみじま
道中双六	伊賀越道中双六	いがごえどうちゅうすごろく
虎が磨	曾我虎が磨	そがとらがいしうす
二枚絵草紙	心中二枚絵草紙	しんじゅうにまいえぞうし
女護島	平家女護島	へいけにょごのしま
寿門松	山崎与次兵衛寿の門松	やまざきよじべえねびきのかどまつ
博多小女郎	博多小女郎波枕	はかたこじょろうなみまくら

【出典略称一覧　二】

略称	出典	読み
勧善懲悪	勧善懲悪覗機関	かんぜんちょうあくのぞきがらくり
小袖曾我	小袖曾我薊色縫	こそでそがあざみのいろぬい
三人吉三	三人吉三廓初買	さんにんきちさくるわのはつがい
島衛	島衛月白浪	しまちどりつきのしらなみ
助六	助六所縁江戸桜	すけろくゆかりのえどざくら
雷伝記	源平雷伝記	げんぺいなるかみでんき
仏の原	けいせい仏の原	けいせいほとけのはら
壬生大念仏	傾城壬生大念仏	けいせいみぶだいねんぶつ
名歌徳	名歌徳三升玉垣	めいかのとくみますのたまがき
四谷怪談	東海道四谷怪談	とうかいどうよつやかいだん
黄、	黄表紙	きびょうし
狂、	狂言	きょうげん
金刀本平治	平治物語(金刀比羅本)	へいじものがたり(ことひらぼん)
金刀本保元	保元物語(金刀比羅本)	ほうげんものがたり(ことひらぼん)
金葉	金葉和歌集	きんようわかしゅう
け		
月清集	秋篠月清集	あきしのげっせいしゅう
源	源氏物語	げんじものがたり
こ		
後紀	日本後紀	にほんこうき
広本拾玉	拾玉集(広本)	しゅぎょくしゅう(こうほん)
幸若、	幸若舞曲	こうわかぶきょく
古今	古今和歌集	こきんわかしゅう
後拾遺	後拾遺和歌集	ごしゅういわかしゅう
後撰	後撰和歌集	ごせんわかしゅう

略称	出典	読み
滑、	滑稽本	こっけいぼん
七偏人	妙竹林話七偏人	みょうちくりんわしちへんじん
五人女	好色五人女	こうしょくごにんおんな
古本説話	古本説話集	こほんせつわしゅう
今昔	今昔物語集	こんじゃくものがたりしゅう
さ		
狭衣	狭衣物語	さごろもものがたり
更級	更級日記	さらしなにっき
散木	散木奇歌集	さんぼくきかしゅう
し		
詞花	詞花和歌集	しかわかしゅう
十巻本和名抄	倭名類聚鈔(十巻本)	わみょうるいじゅしょう(じっかんぼん)
洒、	洒落本	しゃれぼん
釈紀	釈日本紀	しゃくにほんぎ
拾遺	拾遺和歌集	しゅういわかしゅう
拾玉	拾玉集	しゅぎょくしゅう
浄、	浄瑠璃	じょうるり
朝顔話	生写朝顔話	しょううつしあさがおばなし
油地獄	女殺油地獄	おんなころしあぶらのじごく
生玉	生玉心中	いくたましんじゅう
井筒業平	井筒業平河内通	いづつなりひらかわちがよい
今宮	今宮の心中	いまみやのしんじゅう
妹背山	妹背山婦女庭訓	いもせやまおんなていきん
歌軍法	持統天皇歌軍法	じとうてんのううたぐんぽう
歌念仏	五十年忌歌念仏	ごじゅうねんきうたねぶつ
卯月紅葉	ひぢりめん卯月紅葉	ひぢりめんうづきのもみじ
浦島	浦島年代記	うらしまねんだいき
烏帽子折	源氏烏帽子折	げんじえぼしおり

【出典略称一覧　一】

出典略称一覧

▽本文解説中に引用した出典名のうち、略称を用いた作品を略称の五十音順に排列して掲げた。
▽ジャンル名の略称も併せて記し、浄、伎、…のように略称の後に読点を付した。
▽仮名草子・浮世草子・洒落本・滑稽本・黄表紙・人情本のうち、見出し項目にある作品については、ジャンル名(仮、浮、洒、など)を省いて掲げた。
▽本文中に引用した勅撰和歌集・準勅撰和歌集の部立は次のように略し、小字で掲げた。
　離別・別離→別　羇旅→旅　賀歌・慶賀→賀
▽「日本書紀」は神代紀上・神武紀などのように、また、「延喜式」は民部省式・神名式などのように、それぞれ巻名を掲げ、書名は省いた。
▽本文中に引用した「枕草子」の章段を示す数字は岩波書店版「日本古典文学大系」本によった。

	(略称)	(正称)	(正称の読み)
あ	天草本伊曾保	天草本伊曾保物語	あまくさぼんいそほものがたり
	天草本平家	天草本平家物語	あまくさぼんへいけものがたり
い	十六夜	十六夜日記	いざよいにっき
	伊勢	伊勢物語	いせものがたり
	一代男	好色一代男	こうしょくいちだいおとこ
	一代女	好色一代女	こうしょくいちだいおんな
	石清水	石清水物語	いわしみずものがたり
う	浮、	浮世草子	うきよぞうし
	三代男	好色三代男	こうしょくさんだいおとこ
	新永代蔵	日本新永代蔵	にっぽんしんえいたいぐら
	右京大夫集	建礼門院右京大夫集	けんれいもんいんのうきょうのだいぶしゅう
	雨月	雨月物語	うげつものがたり
	宇治拾遺	宇治拾遺物語	うじしゅういものがたり
	宇津保	宇津保物語	うつほものがたり
	運歩色葉	運歩色葉集	うんぽいろはしゅう
え	栄華	栄華物語	えいがものがたり
	永代蔵	日本永代蔵	にっぽんえいたいぐら
	延慶本平家	平家物語(延慶本)	へいけものがたり(えんきょうぼん)
お	桜陰比事	本朝桜陰比事	ほんちょうおういんひじ
	置土産	西鶴置土産	さいかくおきみやげ
	落窪	落窪物語	おちくぼものがたり
	折たく柴	折たく柴の記	おりたくしばのき
	織留	西鶴織留	さいかくおりどめ
か	仮、	仮名草子	かなぞうし
	伊曾保	伊曾保物語	いそほものがたり
	蜻蛉	蜻蛉日記	かげろうにっき
き	記	古事記	こじき
	伎、	歌舞伎	かぶき
	青砥稿	青砥稿花紅彩画	あおとぞうしはなのにしきえ
	吾嬬鑑	傾情吾嬬鑑	けいせいあずまかがみ
	上野初花	天衣紛上野初花	くもにまごううえののはつはな
	浮名横櫛	与話情浮名横櫛	よわなさけうきなのよこぐし
	韓人漢文	韓人漢文手管始	かんじんかんもんてくだのはじまり

漢字源のデータについて

■親字について

●収録の範囲

親字（見出しになっている漢字）は、JIS（日本工業規格）の「情報交換用漢字符号」（X-0208-1997）に掲載されている第一水準、第二水準の漢字6355字を収録しました。

●部首について

部首の分け方は『康熙字典』（1716年に完成した中国の漢字字書）に準じています。ただし、その漢字の成り立ちから判断して他の部首に入れた漢字もあります。また『康熙字典』では同じ部首であったが、形が異なるので二つにわけたものもあります。

（例　刀部と刂部、心部と忄部、手部と扌部）

●親字見出しについて

イ　１年、２年、３年、４年、５年、６年はその漢字が学年配当漢字（いわゆる学習漢字）であり、その学年に配当されていることを示しています。［常用漢字］［人名漢字］はそれぞれその漢字が学年配当漢字以外の常用漢字・人名用漢字であることを示しています。

ロ　常用音訓は、「常用漢字表」に示されている音訓を示しました。訓読みで…（三点リーダー）からあとは送り仮名を示しました。

ハ　音読み欄の（　）内は歴史的かなづかいをあらわし、漢・呉・慣などの文字は、漢音・呉音・慣用音などの区別を示しています。

ニ　訓読み欄の（　）内は歴史的かなづかいをあらわし、またその漢字が漢文訓読の際、サ変動詞・形容動詞・副詞に用いられるものは、その形を品詞の前に小さく示しました。

ホ　旧字体は、「常用漢字表」に示される以前の字体で、ＪＩＳ漢字中にあるもののみを示しました。「常用漢字表」に示された新字体が、二つ以上の旧字体の音と意味をもっている場合は、（Ａ）（Ｂ）で区別しました。

ヘ　異体字は、音と意味が同じで形が違う漢字を示しました。

●意味について

イ　親字の意味を❶❷❸…の順に記述しました。その際、その漢字の成り立ちに基づく原義（本来の意味）を第一として、順次、派生した意味に及ぶようにしました。

ロ　用法上から分類した品詞名を❶❷❸…の後に示しました。その際の品詞の分類は、漢語の文法で一般に使われるものによりました。

ハ　漢字本来の意味と異なった日本語特有の意味がある場合は、国 の記号をつけて、①②③…の順に記述しました。その際、品詞名は省略しました。

ニ　その漢字の意味に、同義（同じ意味）・類義（似た意味）・反義（反対の意味）または対義（対称の意味）の漢字がある場合はそれを 同　類　対 として示しました。

●解字 単語家族について

イ　漢字の成り立ちを 解字 で解説しました。その際、その漢字の六書リクショ（漢字の四つの造字法と二つの使用法）を冒頭に示しました。

ロ 漢字の成り立ちや、意味がさらによく理解できるように、単語家族の欄で同じ系統の漢字をまとめて解説しました。

●類義について

意味が似ている漢字の使い方の違いを類義の欄で解説しました。

●異字同訓について

訓が同じで、意味に違いがある漢字の用法を、国語審議会漢字部会資料によって解説しました。

●ＪＩＳコードについて

その漢字の JIS コードを区点コード、シフト JIS コード、JIS コードの順で示しました。

●ピンインについて

音読み欄に（　）で、その漢字の現代中国のペキン語による発音を、中国の「漢語ピンイン方案」によるローマ字綴りで示しました。

■熟語について

●収録の範囲

イ 意味の記述は原義に近い順に ①②③…としました。

ロ 日本語特有の意味がある場合は、国 の記号をつけて記述しました。

ハ その熟語が仏教語・俗語である場合は 仏 俗 の記号で示しました。 俗 には宋・元・明代の俗語から現代中国語まで含まれます。

ニ 同音の漢字による書きかえ（国語審議会漢字部会資料にもとづく）字が使用されている場合、書きかえ前の漢字を｛　｝でくくって示しました。（例 【画｛劃｝然】ｶｸｾﾞﾝ）

ホ その熟語と偏ﾍﾝや旁ﾂｸﾘが異なるだけで、同音同義の熟語がある場合は次のように示しました。<例>【偏旁】ﾍﾝﾎﾞｳ＝偏傍・扁旁。

ヘ 一字目が同じで、意味が同じ熟語は、意味の記述後に『　』をつけて示しました。

<例>【倫次】ﾘﾝｼﾞ……。『倫序ﾘﾝｼﾞｮ』

ト その熟語と同義（同じ意味）・類義（似た意味）・反義（反対の意味）または対義（対称の意味）の熟語がある場合は、それぞれ 同 類 対 として示しました。

●主要人名について

人名についての詳しい解説は、探しやすいように《熟語》の後方に人名と表してまとめて示しました。

●主要書物について

書物についての詳しい解説は、探しやすいように《熟語》の後方に 書 と表してまとめて示しました。

●故事成語について

熟語の中の故事成語は、故 と示しました。

カタカナ語辞典のデータについて

見出し語の表記

1 原則として平成3年内閣告示「外来語の表記」の趣旨にしたがいながら，新聞などで一般的によく使われている表記を用いた.

2 エ列やオ列の長音はそれぞれ「エー」「エイ」,「オー」「オウ」と2通りの表記法があるが，本辞典では原則として「エー」「オー」の表記を優先にしている．ただし，慣用として「エイ」や「オウ」が一般的なものは，それにしたがったものもある.
（例）**テイスティング**　**ウエート**
ボウリング（スポーツ）　**ボール・ペン**

3 原語がvのものは，「ヴ」を用いず「バ」行を用いた．ただし，商標や固有名詞のものは「ヴ」にしたがった.
（例）**ビレッジ**　**ルイ・ヴィトン**

4 原語のdi，tiには「ジ」「ディ」「チ」「ティ」の2通りの表記法があるが，慣例にしたがった.
（例）**ロマンチシズム**　**ティラミス**
ジレンマ　**ディレクトリー**

5 語末の長音は，理化学用語などでは省略されることが多いが，長音のままとした.
（例）**コンピューター**　**デコーダー**

6 複合語は，原語が分かれている場合にだけ・を置いた．原語がハイフンで結ばれた複合語や，1語になった複合語は語間に・を置かないこととした．また，省略がなされた形で使われている語は・を置かずに示した.
（例）**ジャパン・プレミアム** [Japan premium]
マウスパッド [mousepad]
バリアフリー [barrier-free]
プチブル [<petit bourgeois]

配列

1 配列は，カタカナ部分だけでなく，漢字・数字・アルファベットまでもカナに変えた読みで五十音順とした.

2 長音符（ー）の読みと・は省略して，配列した.
（例）**グリーン・コンシューマー**（ぐりんこんしゅま）
グリーンGDP（ぐりんじでぃぴ）
グリーン車（ぐりんしゃ）

3 同じ読みで長音符のある語とない語では，ないものを前に置いた．また，同じ読みで・がある語とない語では，ないものを前に置いた.

4 清音，濁音，半濁音の順番に配列した.
（例）**ハント**
ハンド
バント
バンド
バンドー
パント

5 原語の異なる同音語や，同じつづりでも語源の異なる語は別

見出し語とし，右肩に[1] [2] [3]…の数字を付けて区別した．順序は原語のアルファベット順にした．

（例）**コード**[1]［chord］　**ライム**[1]［lime］（柑橘類）
　　コード[2]［code］　**ライム**[2]［lime］（石灰）
　　コード[3]［cord］　**ライム**[3]［rhyme］

原語の表記

1 原語は見出し語の直後に［ ］にくくって入れた．

2 原語名を原語の直後に置いて示した．ただし，原語が英語のものはそれを表記していない．また，商標や地名など一部の固有名詞には，表記が英語以外のものでも原語名は省略した．

（例）**リラ**［lilas フランス］　**アンチテーゼ**［Antithese ドイツ］
　　ラビオリ［ravioli イタリア］　**グラス・ファイバー**［glass fiber］
　　レーベンブロイ［Löwenbräu］《商標》

3 原語の英語は，基本的にイギリス式つづりよりもアメリカ式つづりを採用した．また，つづり方が2つ以上あるものも，原則として1つを表記するにとどめた．

4 ギリシャ語，ロシア語，中国語，朝鮮語，アラビア語など，特殊な文字をもつ原語については，ローマ字化し，アクセント記号を省略して示した．また，サンスクリット語・ヒンドゥー語など例外的にアクセント記号を付したものもある．

（例）**ヘラクレス**［Herakles ギリシャ］　**イズベスチヤ**［Izvestiya ロシア］
　　ラーメン［lamian（拉麺）中国］　**カルビ**［kalbi 朝鮮］
　　シャリーア［Sharia アラビア］　**クシャトリア**［kṣatriya サンスクリット］

5 植物の属名など学名表記が一般的なものはラテン語で表した．

6 漢字・平仮名とカタカナが混じったもので，原語が特定できないものは，その部分をダッシュで省略した．

（例）**ミサイル療法**［missile —］

7 原語のないもの，示しようのないものは原語表記をしていないものがある．

8 商標に関しては，全部が大文字のものでも，本辞典では語頭のみ大文字で表記した．

（例）**ニフティー・サーブ**［Nifty Serve］

和製語

1 和製語のものは［ ］内の原語の後に「和」を入れた．

（例）**オーバースキル**［overskill 和］

2 原語が変化したものや省略されたものは，その語に「<」を用いて記し，和製語と同じ扱いとした．

（例）**ジルバ**［<jitterbug］　**パンク**［<puncture］

3 原語が和製語で，それがさらに変化したものは「<」と「和」の両方を用いた．

（例）**シャーペン**［<sharp pencil 和］

4 漢字や仮名の交じった語は，「和」を入れていない．

（例）**ミニマックスの原理**［minimax principle］
　　ピリン系薬剤［pyrin —］

5 複数の外国語からなる複合語については＋を用いて表した．

（例）**アルペン・スキー**［Alpen ドイツ＋ski 和］

6 原語はその外国語としては成立するが，意味が極めて日本独

自の内容で用いられているものなどには，本文中に「和製用法」の記述を入れた．
（例）**スカイライン**［skyline］① 空を背景とした……輪郭．② 山・高原などにつくったドライブウェー．◆ ② は和製用法．

本文中の語義と記号

1 語義に複数の意味があるときは，①②③…を用いて示した．
（例）**プレーヤー**［player］①《スポーツ》競技者．② 演奏者．演技者．③ CDやレコードなどの再生専用機．

2 補注と記号

＊ 同義のカタカナ語，略語・記号などを示した．
（例）**デビス・カップ**……*デ杯とも．
クロイツフェルト・ヤコブ病……*略語CJD．ヤコブ病とも．

表記が異なる語のうち，五十音順配列で見出し語の位置とごく近くにある語については，検索の便のため，* の記号のもとに太字で示した．また，見出し語に関連する語で，立項しなかったものは解説中に太字で示した．
（例）**ラザニア**……***ラザーニャ**とも．

▷ 用例を示した．
（例）**ゲット**……▷ ～する．
インタラクティブ……▷ ～TV，～な．

◆ 語源や類語解説，補足説明などを必要に応じて記述した．
（例）**エラン・ビタール**……◆ 哲学者 H. ベルグソンの用語．
ミーガン法……◆ 殺害された少女の名から．

⇨ 関連語・参照語を示した．
（例）**キャンター**……⇨ギャロップ．

⇨ 見出し語と同義であり，くわしい解説があることを示した．
（例）**グラブ**……⇨グローブ．

↔ 反対語，対語を示した．
（例）**ゲル**[1]……↔ゾル．

〖 〗原義や他の外国語での表記など，原語上の注記を与えた．
（例）**バナー広告**……〖banner は「旗」の意〗
ナース・コール……〖英語は nurse's bell〗

3 分野表記

必要に応じて《 》でくくり，特定分野などの表示をした．原則として一目でわかるように心がけたが，下記のように，いくつか略して表記したものがある．

宇……宇宙　気……気象　経……経済・経営
航……航空　鉱……鉱物　社……社会学
宗……宗教　心……心理　生化…生化学　俗……俗語
地……地学　天……天文学　電……電気
電算…コンピューター　美……美術　服……服飾
理……物理　アメフト……アメリカン・フットボール
フィギュア……フィギュア・スケート　造語……造語成分
…など

4 商標に関しては，多くを《商標》として記したが，主に商品名にとどめ，企業名などはその表記を省略した．

ローマ字/かな対応表

	あ	い	う	え	お
あ行	あ A	い I	う U	え E	お O
か行	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ行	さ SA	し SI (SHI)	す SU	せ SE	そ SO
た行	た TA	ち TI (CHI)	つ TU (TSU)	て TE	と TO
な行	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は行	は HA	ひ HI	ふ HU (FU)	へ HE	ほ HO
ま行	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や行	や YA		ゆ YU		よ YO
ら行	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ行	わ WA	ゐ WYI		ゑ WYE	を WO
ん	ん NN	「n」の次が母音（a，i，u，e，o）または、（y）以外のときは、「N」キーを１回押しただけでも、「ん」と表示します。			
が行	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ行	ざ ZA	じ ZI (JI)	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ行	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば行	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ行	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO

- 小さい字は直前に「X」または「L」を押します。
（例）小さい「ゃ」はXYAまたはLYA

きゃ行	きゃ KYA		きゅ KYU		きょ KYO
ぎゃ行	ぎゃ GYA		ぎゅ GYU		ぎょ GYO
しゃ行	しゃ SYA(SHA)		しゅ SYU(SHU)	しぇ SYE(SHE)	しょ SYO(SHO)
じゃ行	じゃ JYA (JA) ZYA	じぃ JYI	じゅ JYU (JU) ZYU	じぇ JYE (JE) ZYE	じょ JYO (JO) ZYO
ちゃ行	ちゃ TYA CYA(CHA)	ちぃ CYI	ちゅ TYU CYU(CHU)	ちぇ TYE CYE(CHE)	ちょ TYO CYO(CHO)
ぢゃ行	ぢゃ DYA		ぢゅ DYU		ぢょ DYO
てゃ行		てぃ THI	てゅ THU		
でゃ行		でぃ DHI	でゅ DHU		
にゃ行	にゃ NYA		にゅ NYU		にょ NYO
ひゃ行	ひゃ HYA		ひゅ HYU		ひょ HYO
ぴゃ行	ぴゃ PYA		ぴゅ PYU		ぴょ PYO
びゃ行	びゃ BYA		びゅ BYU		びょ BYO
ふぁ行	ふぁ FA	ふぃ FI		ふぇ FE	ふぉ FO
みゃ行	みゃ MYA		みゅ MYU		みょ MYO
りゃ行	りゃ RYA		りゅ RYU		りょ RYO
う゛ぁ行	う゛ぁ VA	う゛ぃ VI	う゛ VU	う゛ぇ VE	う゛ぉ VO
くぁ行	くぁ QA (KWA)	くぃ QI (KWI)		くぇ QE (KWE)	くぉ QO (KWO)
うぁ行		うぃ WHI(WI)		うぇ WHE (WE)	うぉ WHO
つぁ行	つぁ TSA	つぃ TSI		つぇ TSE	つぉ TSO
その他	ぐぁ GWA		とぅ　どぅ TWU　DWU ふゅ　う゛ゅ FYU　VYU	いぇ YE	

ここでは、故障かなと思う前に、お客様でご確認していただく事項について説明します。

故障かなと思う前に

ネットワーク電子辞書の具合が悪い時は、この表でチェックしてみましょう。それでも正常に動作しないときは、弊社「CP サービスセンター内『ネットワーク電子辞書サポートデスク』」にご相談ください。

症　状	原　因	直し方
表示文字が出ない 文字が正しく表示されない 正常に動作しない	電池残量が少ない	電池を充電してください。（☞ 31ページ）
	–	本機の裏にあるリセットスイッチ（丸い孔）を先の細い棒で押して、リセット操作を行ってください。（☞ 32ページ）
	–	カードが正しく装着されていることを確認してください。（☞ 46ページ）
表示文字が出ない、または見えにくい 画面が暗い 表示文字が尾をひく 検索中に表示文字が薄くなる	コントラストの調整が適切でない	コントラストを見やすい濃さに調整してください。（☞ 34ページ）
	電池残量が少ない	表示画面のマークを確認し、電池残量が少ない場合は充電してください。（☞ 31ページ）
電池の消耗が異常に早い 動作が不安定で表示に時間がかかる 動作停止	–	本機の裏にあるリセットスイッチ（丸い孔）を先の細い棒で押して、リセット操作を行ってください。（☞ 32ページ）
リセット操作をしていないのにリセット時の画面が表示される	電池残量が少ない	表示画面のマークを確認し、電池残量が少ない場合は充電します。
音声が聞こえない	リモコン・イヤホンの接続不良	リモコン・イヤホンを正しく確実にコネクタにつないでください。
	音量調整が適切でない	音量調整をしてください。（☞ 34ページ）
	電池残量が少ない	表示画面のマークを確認し、電池残量が少ない場合は充電してください。（☞ 31ページ）
	–	カードが正しく装着されていることを確認してください。（☞ 46ページ）

ここでは、本機の保証・修理等（無料修理規定含む）について説明します。

保証、修理等について

■保証について

1.　この製品には保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しします。必ずお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

2.　保証期間はお買上げの日より１年間です。保証期間内でも有料になることがありますので、内容を良くお読みください。

3.　本機のソフトウェアの記述内容を使用したことによる金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、弊社は一切その責任を負えません。

4.　権利者の許諾を得ることなく、本機のソフトウエアおよび取扱説明書の内容全部または一部を複製、および賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

5.　取扱説明書に記載されている正常な使用状態で本機に故障が生じた場合、弊社は本機の保証書に定められた条件に従って修理をいたします。ただし、本機の故障、誤操作等によりデータ等が正常に呼び出せない事によって発生した損害等につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、予めご了承ください。

■修理等について

1.　本機の具合が悪いときは、この説明書をもう１度お読みになってお調べください。それでも具合が悪いときは、お買上げ店または弊社「ＣＰサービスセンター内『ネットワーク電子辞書サポートデスク』」にご相談ください。ご相談の時はお買上げ日、製品名、型番、故障内容をできるだけ詳しくお知らせください。

＊　修理は、故障内容の詳しいメモ等を添えて、お買上げ店へ品名と保証書をご持参、または弊社「CP サービスセンター」にご郵送の上、お申付けください。

＊　弊社へ郵送される場合の郵便料金及び諸経費等はお客様のご負担となりますので予めご了承ください。郵送の際は適切な梱包の上、紛失等を防ぐため簡易書留のご利用をお薦めします。

2.　保証期間内の修理について
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

3.　保証期間経過後の修理について
お買上げ日、製品名、型番、故障内容等できるだけ詳しくお知らせください。修理によって機能等が維持できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。また、修理によって機能等が維持できない場合は、修理をお断りする場合があります。

修理等のご相談、お問い合わせは下記にお願いします。

〒272-0023　千葉県市川市南八幡 3-21-10
セイコーインスツル株式会社「CPサービスセンター内『ネットワーク電子辞書サポートデスク』」電話：0570 - 004696
[受付時間] 9:00〜12:00　13：00〜17：00月曜日〜金曜日（土・日・祝日を除く）

無料修理規定

1．　保証期間はお買上げの日より１年間です。

2．　正常な使用状態（取扱説明書の注意に従った使用状態）で保証期間内に故障した場合には、お買上げの販売店、または弊社が無料で修理させていただきます。

3.　保証期間内に故障して無料修理をお受けになられる場合には、お買上げの販売店へ製品と、この保証書をご持参または弊社「ＣＰサービスセンター」にご郵送の上、お申し付けください。

4.　弊社へご郵送される場合の郵便料金及び諸経費等はお客様のご負担となりますので予めご了承ください。
＊ご郵送の際には適切な梱包の上、紛失等を防ぐため簡易書留のご利用をお薦めします。

5.　ご贈答、ご転居等で、この保証書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、弊社「ＣＰサービスセンター」に製品と、この保証書をご郵送ください。

6.　保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。

(1) この保証書のご提示がない場合、お買上げの年月日・お客様名・お買上げ販売店名の記入がない場合、及びこの保証書の字句を書替えられた場合
(2) 他の機器から受けた障害、または不当な修理や改造による故障及び損傷
(3)お買上げ後の輸送、落下、電池の液漏れなどによる故障及び損傷
(4)お取扱い上の不注意（表示画面ガラス割れ等）による故障及び損傷
(5) 火災、地震、風水害、落雷等の天変地異、公害、異常電圧等による故障及び損傷
(6) 一般家庭以外での使用（例えば業務用）での故障及び損傷
(7) 付属品の消耗、液漏れ等による故障及び損傷
(8) ご使用中に生じたキズ、汚れ、磨耗などによる外観上の損傷
(9) ジュース、コーヒー等、液体の水濡れによる故障及び損傷

7.　この保証書は、日本国内においてのみ有効です。

8.　この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

＊　この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書でお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＊　日本国内で購入され、保証期間内に海外からの無料修理をお受けになられる場合にも、この保証書を添付の上、修理をお申し付けください。この保証書のご提示がない場合は、有料となりますので予めご了承ください。

＊　保証期間経過後の修理などについてのご不明な点がありましたら、お買上げの販売店、または弊社「ＣＰサービスセンター」にお問い合わせください。

保 証 書

This warranty is valid only in Japan.

持込修理

品　　名	ネットワーク電子辞書	型 番	DB-J990
保証期間	対象部分 **本体および付属品** お買上げの日から 1年		
お買上げ日	平成　　年　　月　　日		
お客様	住　所 電話番号 お名前　　　　　　様		
販売店			

企画・制作：セイコーインスツル 株式会社

販　　売　パーソナル機器事業部

〒261-8507 千葉県千葉市美浜区中瀬1-8